

神機合体

ゴッドガンナー

GODANNAR

公式ガイドブック





9784840226646



1920076024009

ISBN4-8402-2664-4

C0076 ¥2400E

発行/メディアワークス

定価：本体 2,400円

※消費税が別に加算されます









神威合体

ゴダーン

GODANNAR

公式ガイドブック



目次

CONTENTS

Chapter.01 Character Guide

キャラクターガイド03

キャラクター紹介04

メカニック紹介10

擬態獣紹介15

オープニング16

Chapter.02 Episode Guide

エピソードガイド (第1話~第7話)17

Chapter.03 Special Interview

スペシャルインタビュー33

主題歌インタビュー34

水木一郎

堀江美都子

串田アキラ

渡辺宙明

出演声優インタビュー42

近藤孝行

中原麻衣

久川綾

清水香里

かかずゆみ

皆川純子

スタッフコメント 47

長岡康史

川崎ヒロユキ

木村貴宏

まさひろ山根

反田誠二

秋恭摩

Chapter.04 Episode Guide

エピソードガイド (第8話~第13話) 49

エンディング62

セカンドシーズンへ63

Chapter.05 Data File

設定資料集65

キャラクター設定66

メカニック設定70

擬態獣設定85

美術設定88

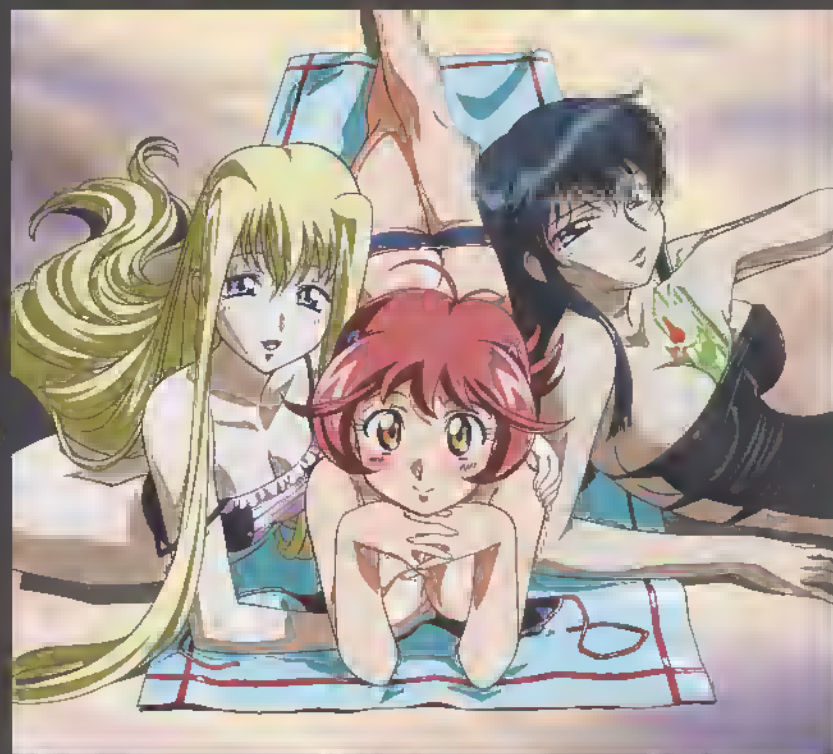
関連商品/イラストクレジット紹介93

キャスト&スタッフリスト94

キャラクターガイド



Chapter.01
Character Guide



キャラクター紹介
メカニック紹介
擬態獣紹介

キャラクター紹介

CHARACTER GUIDE

さむむり あんは

猿渡杏奈

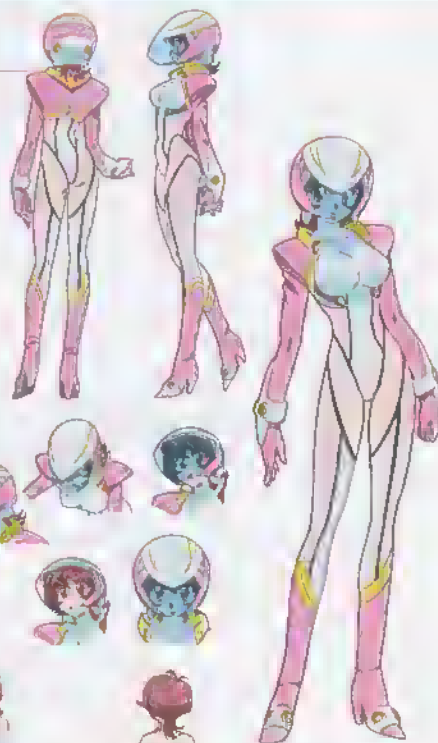
(演：中原麻衣)

●Age:17 ●Size:864/W53/H63
●Height:151cm ●Blood Type:B
●Birthday:2030.05.05

ネオオクスーのパイロット。旧姓は葵。結婚後、3話から猿渡姓を名乗る。パイロットになるのが夢で、母親から英才教育を受けていた。口癖は「おもしろい」。

パイロットスーツ

ゴオとおそろいの形でピンク。ほかの女性パイロットスーツと比べると、肌の露出は少ないほう。



体操服

学園指定の運動着。女子はブルマが基本。ジャージは制服と同じくピンク色。



5年前

12歳の杏奈。髪は毛は、現在よりも少し長め。リュックとキャスター付きスーツケースは、現場から避難するときに持っていたもの。



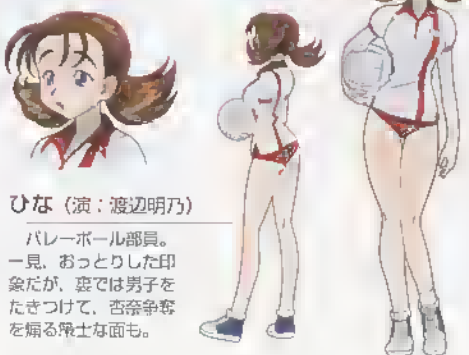
ウェディングドレス

ゴオとの結婚式で着ていた。わりと簡単なドレス。擬態獣との戦闘に巻き込まれて破れてしまった。



杏奈のクラスメート

杏奈が通う芽花園学園高校2年の同級生たち。男子10人、女子10人の20人クラス。とくに仲が良いのは、ひな、けい、さくらの3人。しかし、杏奈がゴオとの関係やパイロットのことを秘密にしているため、最近の杏奈の行動に不審を抱いている方もいる。



ひな (演：渡辺明乃)

バレーボール部員。一見、おっとりした印象だが、裏では男子をたきつけて、杏奈争奪を煽る鬼士な面も。

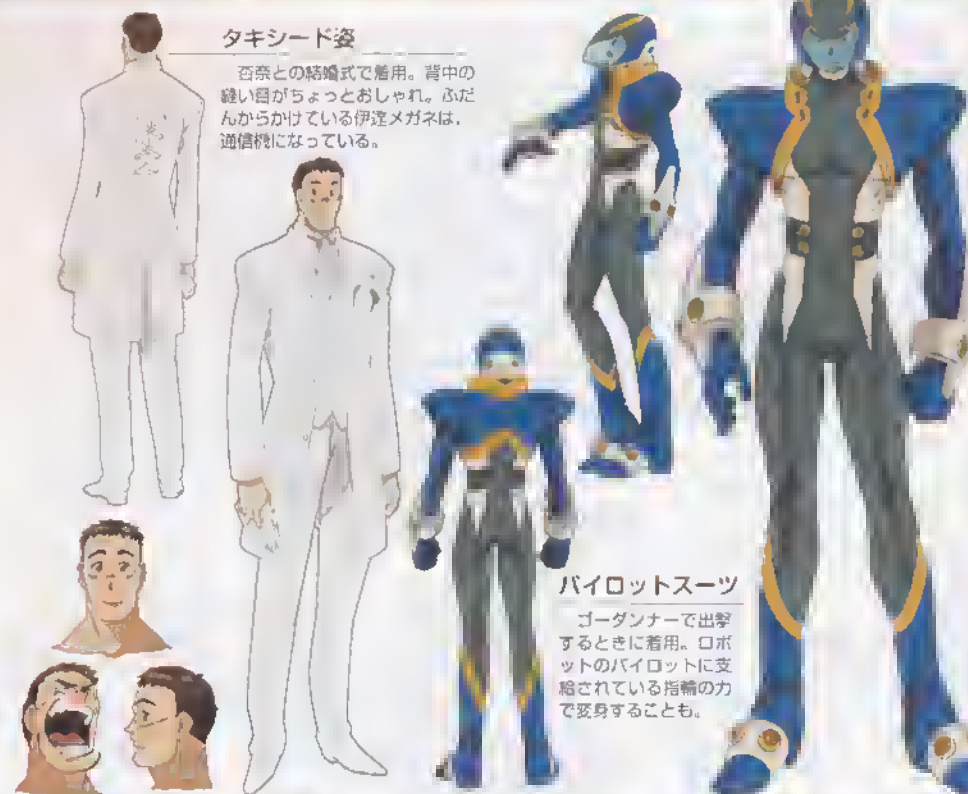
けい (演：皆川純子)

陸上部に所属。クールな性格で、思ったことをズケズケ言う。杏奈の秘密にも薄々気づいているようだが……。



タクシード姿

杏奈との結婚式で着用。背中の縫い目がちょっとおしゃれ。ふだんからかけている伊達メガネは、通信機になっている。



さるわり こる

猿渡ゴオ

(演: 近藤孝行)

●Age: 29 ●Weight: 99kg
●Height: 199cm ●Blood Type: A
●Birthday: 2018.05.19

ゴードンナーのパイロット。5年前の戦いを知らないクルーからは、「ただの愛人」と思われていたことも。杏奈から「ゴオちゃん」と呼ばれている。甘いものが好き。

パイロットスーツ

ゴードンナーで出撃するときに着用。ロボットのパイロットに支給されている指輪の力で変身することも。



さるわり しるる

藤村静流

(演: かかずゆみ)

ゴードンナーのパイロット。ゴオには、養成所時代に出会ったことから密かに好意を寄せている。「私を誰だと思っているの」が口癖。



さるわり しのぶ

猿渡忍

(演: 皆川純子)

●Age: 17 ●Weight: 53kg
●Height: 162cm ●Blood Type: O
●Birthday: 2030.02.02

ゴオの実弟で、ふたりの新編家産に居候中。杏奈と同じ高校に通う。学校では女子に人気があるが、実は今でも杏奈ひとすじ。



高校のかばん

芽花園学園高校指定のかばん。肩掛け、手提げの両用タイプ。杏奈は手提げタイプで登校していた。



男子生徒

ロボットサッカーで杏奈に勝てば交際できるというひなにそそのめられたかわいそうな人々。



さくら (演: 南里侑香)

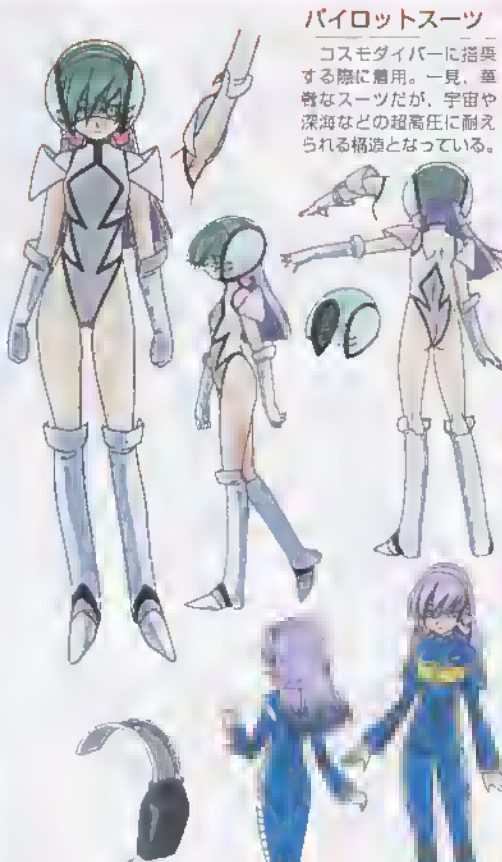
鼎宅部所属(?)。とても明るく、細かいことにこだわらない性格。しかし一番、杏奈のことを心配している大親友でもある。



あおい、まりに
葵霧子
(演 本田真央)

Age:35 ●Size:154cm ●Weight:52kg
Height:174cm ●Blood Type:B

宇宙の母。ダンパーベース所長で、所長室のトの研究室。クルーからは「博士」と呼ばれる。夫は佐々木。ヘビースモーカー。



コスモベース制服

コスモベース職員制服。オペレーターのルウは、任務中は頭にインカムを付けていた。

ルウ・ルー

(演:清水香里)

●Age:12 ●Size:128cm ●Weight:37kg
Height:124cm ●Blood Type:A
Birthday:2034.11.21

コスモダイバーのパイロット。コスモベース隊長ロウ・ルーのひとり娘で、司令セクションのオペレーター。母とは死別している。父の死後、ゴオたちと同居する。

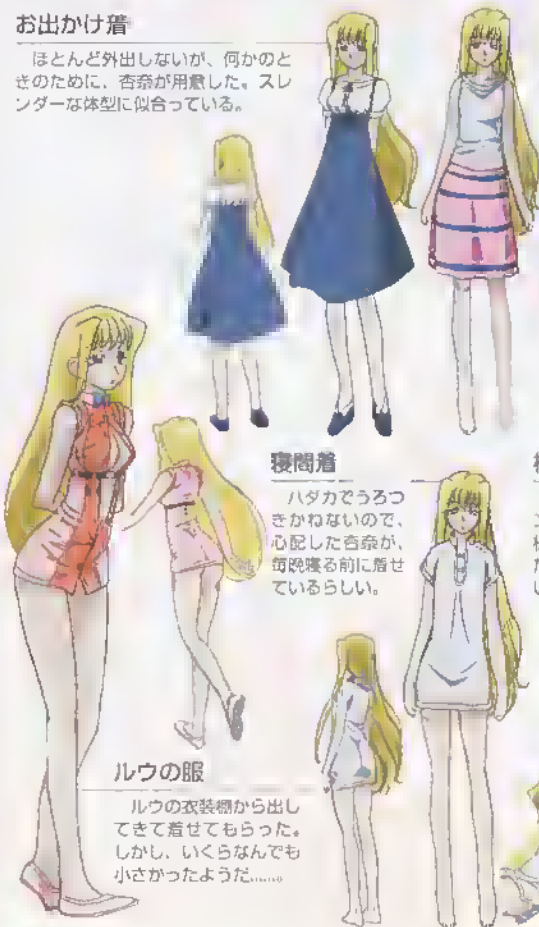


私服

地球に降りたルウは、外用も考えて、私服をそろえた。ちなみに、このワンピースは6話でミラが着たもの。

お出かけ着

ほとんど外出しないが、何かのときのために、杏奈が用意した。スレンダーな体型に似合っている。



私服

ゴオと杏奈の部屋で一緒に暮らすようになってからそろえた。杏奈が選んだようだ。

寝間着

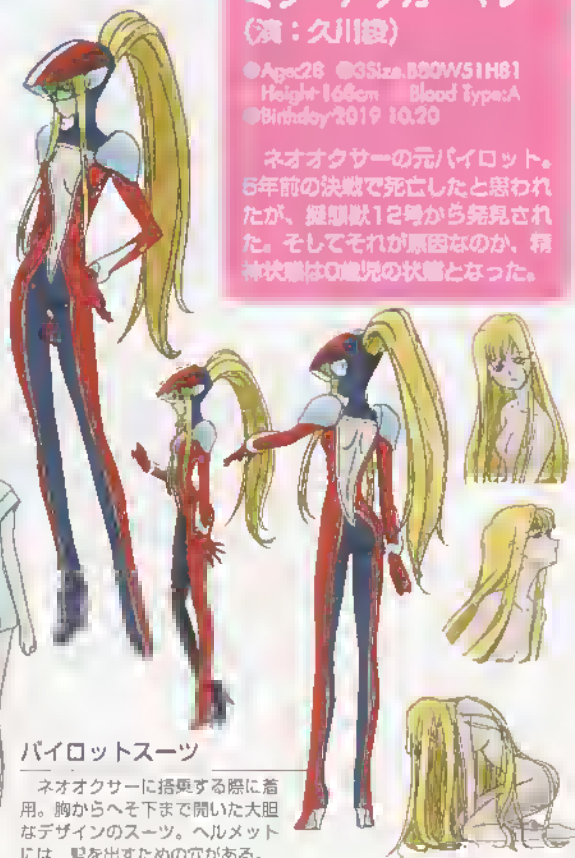
ハダカでうろつきかねないので、心配した杏奈が、毎晩寝る前に着せているらしい。

検査服

目覚めた後、ダンパーベースの病棟で隔離されていたときに着用していた検査服。

ルウの服

ルウの衣装棚から出してきて着せてもらった。しかし、いくらなんでも小さかったようだ……



ミラ・アッカーマン

(演:久川綾)

●Age:28 ●Size:160cm ●Weight:51kg
Height:160cm ●Blood Type:A
●Birthday:2019.10.20

ネオオクサーの元パイロット。5年前の決戦で死亡したと思われたが、機体12号から発見された。そしてそれが原因なのか、精神状態は0歳児の状態となった。

パイロットスーツ

ネオオクサーに搭乗する際に着用。胸からヘソ下まで開いた大胆なデザインのスーツ。ヘルメットには、髪を出すための穴がある。



もももも ももこ
桃園桃子
(演：桐登麻美子)

通称は「モモチー」。一応、ポケ役の22歳。1話では声が小さいとゴオに指摘されたことがある。178cmと長身。

オペレーターのインカム
ロボットのパイロットと直接、通信ができる。



こさくれ こなみ
笹暮小波
(演：渡辺明乃)

通称は「コナミ」(本名とアクセントが微妙に違う)。司令セクションのオペレーター。モモチーとのコンビではツッコミ役の23歳。



いっせ どうこ
柊 冬子
(演：細川順可)

通称は「とん子」。メカニッククルーの次女的存在の22歳。いつも芝居から察されているが、本人は、芝居をとっても尊敬している。



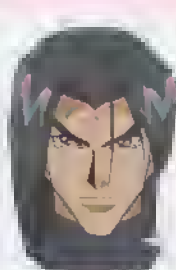
はやし
林
(演：加藤奈々絵)

メカニッククルーでは長女的存在の23歳。無知無識に取り込まれて入院していたとき、見舞いにきたお本と、そのお付き合いはじめた。



こうじ てつや
光司鉄也
(演：横山修之)

Gガンナーのパイロット。熱血ヒーロータイプの24歳。「OK」が口癖で、腕力は2.0。援隊隊との戦いで瀕死の重傷を負い入院。



かげまる
影丸
(演：山口太郎)

司令セクション隊長。32歳。実は霧子に対して密かに恋心を抱く。杏奈が霧子の娘とわかったとき、内心ではショックを受けた。



5年前

杏奈の懐に入るくらい小さかった。しかし妊娠するまでメスだとは気づかなかった。



びんびん
(演：皆川純子)

杏奈が飼っている猫。0歳、1歳で外へ出ることがない部屋猫。最近はおにぎりを持って来る。現在妊娠中で、近々出産予定。

パイロットスーツ

ロウがコスモダイバーに乗るときに着用。ルウのスーツとおそろい。制服は、ほかのクルーと少し色が違う。



ロウ・ルー
(演：小谷澤典典)

コスモダイバーのパイロットで、コスモベースの隊長。ルウの父親。宝暦戦18号から、クルーやルウを助けるために戦い、死亡。



↑「どうしたの? にいさん……」。ナイトが大切にしている。子ども時代のエリスとの美しい思い出。

ナイト・ヴァレンティン

(演: 緑川光)

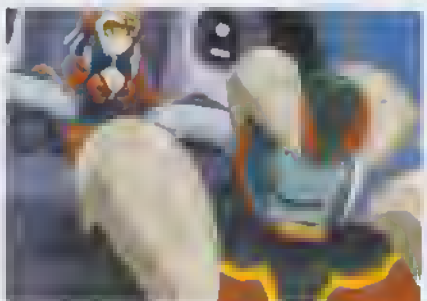
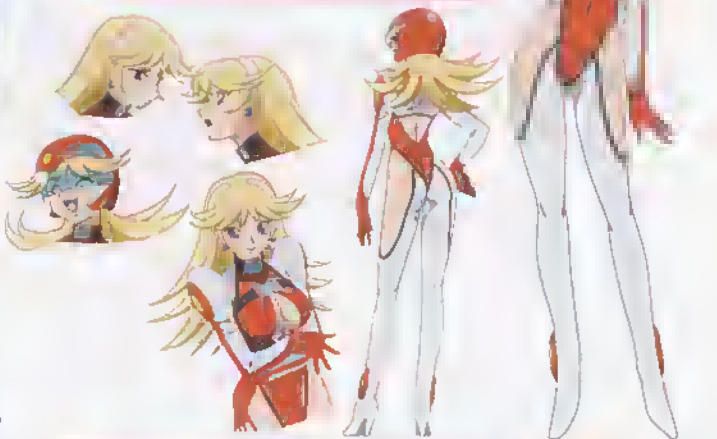
24歳のイギリス人。ユニオンベース所属。ドラグライナーのパイロット。女性好きで、「事魔王」と呼ばれるほど。しかし、すべては妹エリスへの一途な想いをカモフラージュするためのポーズ。



エリス・ヴァレンティン

(演: 田村ゆかり)

20歳のイギリス人。ユニオンベース所属。トラグライナー射撃担当。血のつながっていない兄、ナイトのことを密かに想っているが、兄の幸せを願い、妹であり続けようと努力している。



↑モウカクを猛獣使いのように操るシュクユウだが、モウカクはシュクユウを守っているつもりでいる。

モウカク

(演: 小杉十郎太)

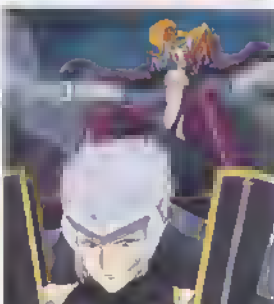
中島のダイノベース所属。30歳。ゴッドホーンのパイロット。ロボット乗りへの力自慢。本人はシュクユウの保護者のつもりらしいが、どう見ても操られているのはモウカクのほうだ。



シュクユウ

(演: 山崎和佳奈)

中島のダイノベース所属。24歳。ゴッドソックのパイロット。顔が良く、近未来道場のモウカクを真似たり思ったりして、うまく振っている。ゴッドダイナーやナビゲーター役。

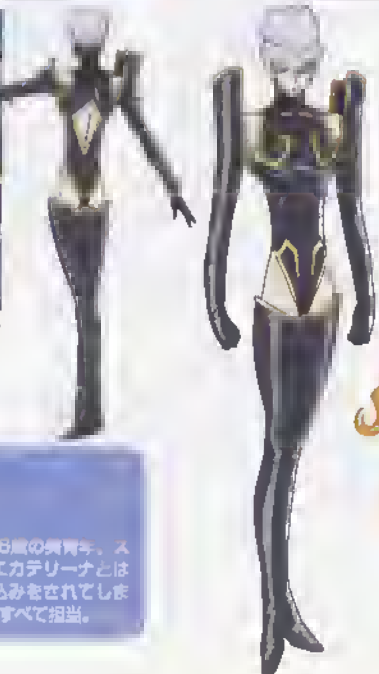


↑女王様のように振舞うエカテリーナと、それを無条件で受け入れるクラチョフ。名コンビだ。

クラチョフ

(演: 川田紳司)

ロシアのヴェガベース所属。28歳の男青年。スレイプウイングのパイロット。エカテリーナとは幼なじみだが、下僕として飼ひ込みをされている。戦闘中は、必殺技以外すべて担当。



エカテリーナ

(演: 山田真由)

ロシアのヴェガベース所属。28歳。ヴァルスビナーのパイロット。戦闘中も私生活も、自己中の女王様タイプ。大金持ちの娘である。しかし、決して悪いものイジメはしない。





シャドウ

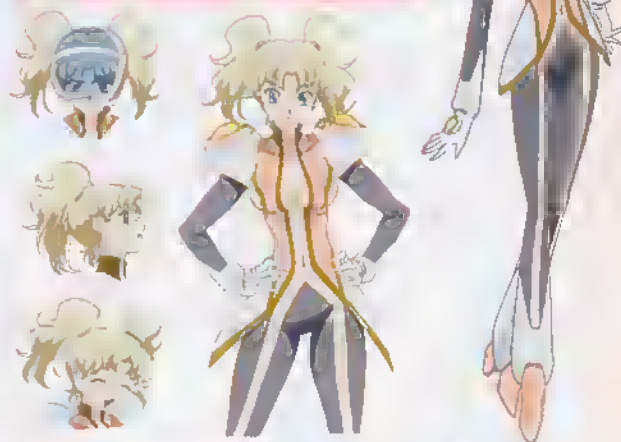
(演 早実田裕子)

北アメリカのシリコンベース所属。冷静な女性。ノエネシャドウのパイロ。クールな性格で、戦闘中でも冷静に戦うことはない。しかし、一瞬の隙にも手がつけられない。

ルナ

(演 川上とも子)

北アメリカのシリコンベース所属。24歳。ルナ・ウィングのパイロット。戦闘能力はシャドウと同クラス。おもに射撃を担当。シャドウに対しては、パートナー以上の気持を持っている。



芝草

(演 堀川仁)

チーフメカニックで父親的存在。人情や仕事ぶりから人望も厚く、「おやっさん」と呼ばれている。12歳になる息子がいる。



森本

(演 川田紳司)

メカニックグループで次男的存在。まっすぐな性格で、真し事のできないタイプ。林が好きで、3話でついに付き合うことに成功。



柳沢

(演 豊田圭宣)

メカニックグループで、三男坊の末っ子的存在。見た目とおりに鋭い性格で、ゴオが西条をだまして結婚したと信じている。



杉山

(演 小野大輔)

メカニックグループで長男的存在。ロボットに対する愛憎は一人前。クラブマリナーが気に入る。アニータという愛犬がいる。



剣

(演 大川透)

ブレイドガイナーに所属する謎のパイロット。コミッションーズから「メーजू・ゼロ」と認定された唯一の存在。かつてのパートナー、ローザの仇を探している。

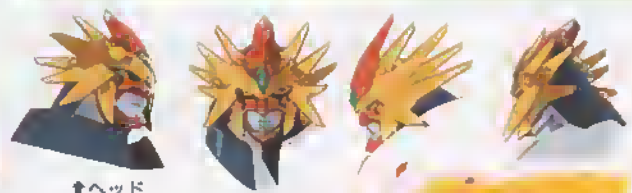
メカニック紹介

MECHANIC GUIDE



ゴードンナー ツインドライブモード

ゴードンナーとネオオクサーがプラズマドライブを合体。単にふたつのプラズマドライブを足したのではなく、それを遙かに凌ぐパワーを発揮。しかしエネルギーの消耗も激しい。全高40.8m。



↑ヘッド

必殺技モード

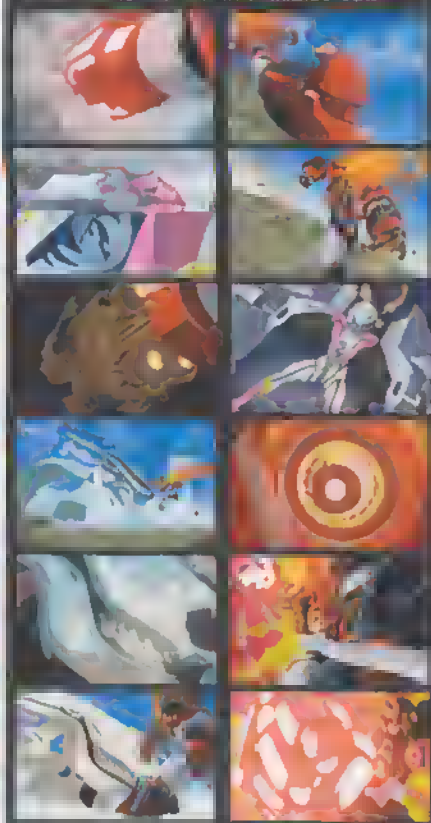
ハートブレイカーなどの必殺技を出すときは、全身に炎がみなぎり、炎がたてがみのように見える。



●3D胸部スケルトンモデル
プラズマドライブの位置がよくわかるよう、透けて見えるように描かれたCG。

ハートブレイカー!!

擬態態に突進してパンチを繰り出す。ネオオクサー側のコックピットのトリガーを引いて腕のリボルバーを打ち出し、擬態態を結晶化する技。



ソウルブレイカー!!

結晶化した擬態態にトドメをさす必殺技。高くジャンプしてからの飛び蹴りをブチ当てる技。脚部リボルバーによって擬態態を完全に破壊しつくす。



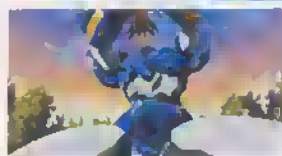
ダンナー、オクサー、出撃!!

各ロケットは、オペレーターの指示でハンガーアウトして出撃準備が完了。影丸の出撃命令によって、ジェットボーイでカタバリトから発進する。





↑リア



↑力仕事が得意なので、大木を引き抜いたりするのも得意。さらに交通整理に出動したこともあるらしい。



↑個々の武装を持っていないが、コアガンナー用のスナイパーショットを持って出撃したこともある。



↑フロント

ゴードンナー

難波ゴオが搭乗。シングルプラスマトライプを動力にする接近戦用ロボット。パンチやキックなどの肉弾戦が得意。全高39.6m。



↑サイド

↑ヘッド



コックビット

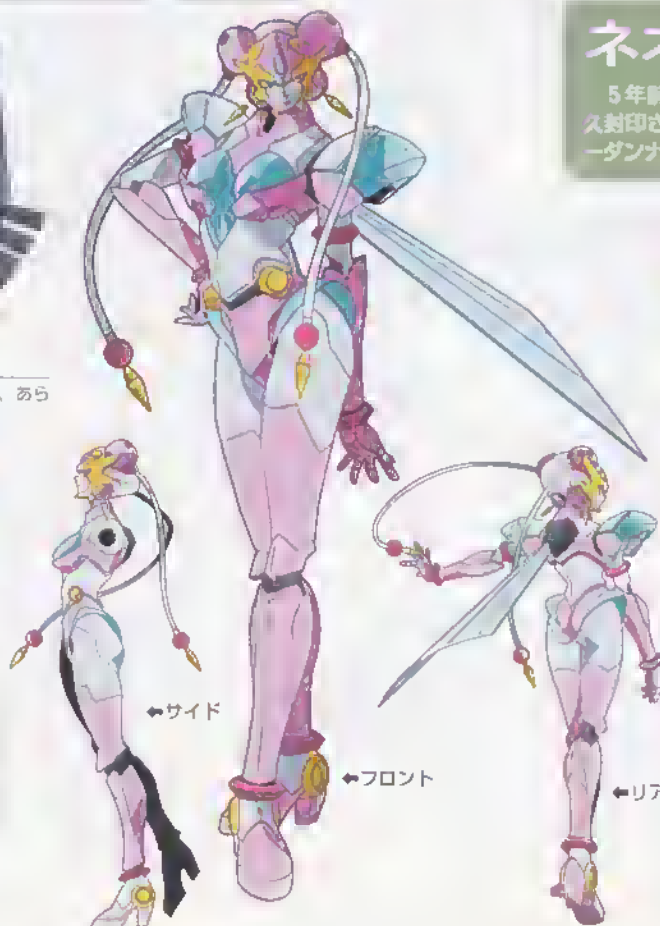
ゴードンナーをサポートするために、あらゆる戦闘データを解析できる。



↑バリアーとして使うエンジェルウオール。他にも健闘態を足止めするグラビティボンバーが得意技。



↑旧ダンナーベース格納庫にて。永久封印されていたネオオクサー。偶然見つけた杏奈に反応して再起動。



←サイド

↑フロント

←リア

ネオオクサー

5年前までミラ・アッカーマンが搭乗。永久封印されたが、杏奈が搭乗することに。ゴードンナーのサポートロボ。全高33.2m。



↑ヘッド

コアガンナー

4年前に配備された。マルチコンデンサーが原動力。静流が搭乗する。Gガンナーのコアユニットなので装甲が薄い。全高35.1m。



コックビット

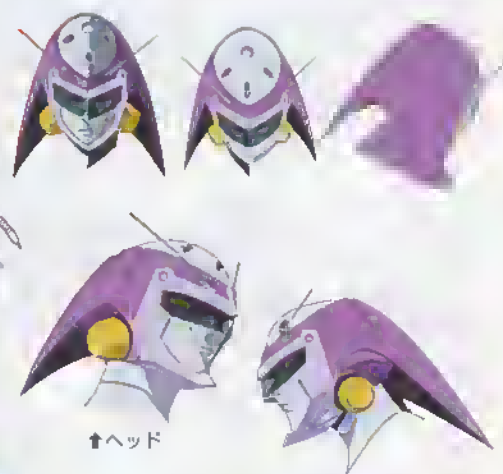
コックビットも、比較的最新のモデルなので、スナイパーエンジンやSSなどの追加式装用にスペースが確保できた。



サイド→

↑フロント

←リア



↑ヘッド

Gガンナー

コアガンナーにバトルユニットを換装した最新型戦闘用ロボットで光岡が搭乗。ストロングバスターにほとんどの機能を盛り込み、機動性が高い。全高42.6m。



↑フロント

↑リア

クラブマリナー

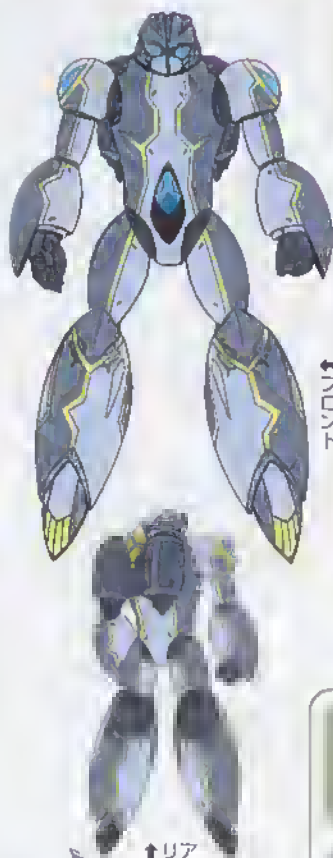
全高38m。5年前の試験時にマックスが乗っていた。しかしその後、試験中に発生されてダンパーベースを奪う。巨大な牙を備える中近距離用のロボット。



←ヘッド

↑フロント

リア→



↑フロント

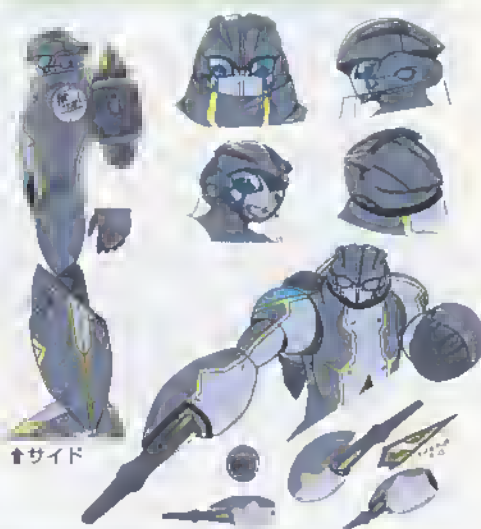
↑リア

シャトルモード

全長22m。高速移動するときや、大気圏に突入するときには、シャトルモードにチェンジ。コスモダイバー（親）との合体中はダイバーキャノンに。

コスモダイバー

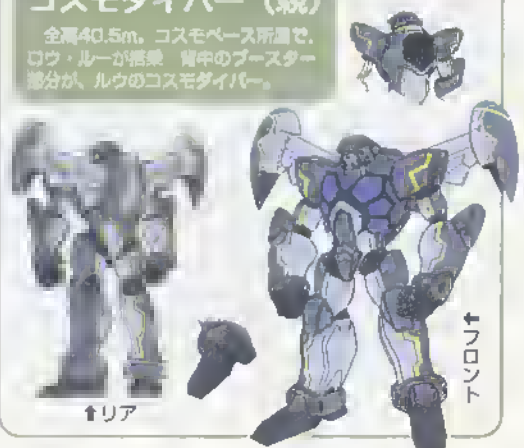
全高25m。コスモベース所蔵だったが、その母艦ダンパーベースに所属。ルウが搭乗。もともと宇宙戦用に開発されたため、地上では深海の活動もできる。



↑サイド

コスモダイバー（親）

全高40.5m。コスモベース所蔵で、ロウ・ルーが搭乗。背中のブースター部分が、ルウのコスモダイバー。



↑リア

↑フロント

ゴッドダイナー

ダイノベース所属のロボット。「試神一体、ゴッドダイナー」の掛け声でゴッドソニックとゴッドホーンが合体。ロングホーンを變形させた戦艦で戦う。全高56.8m



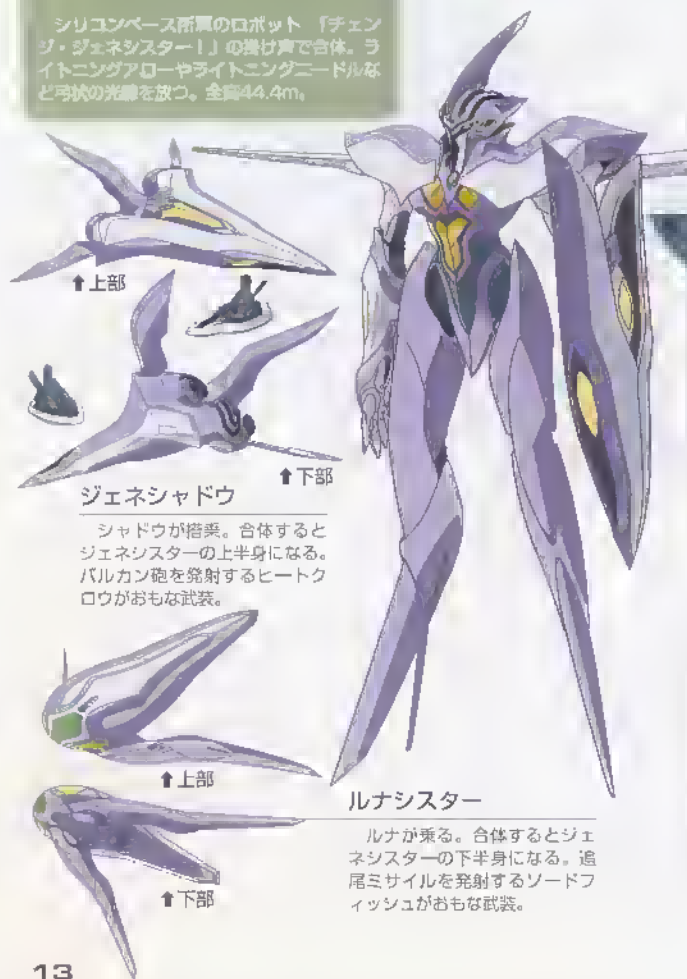
ヴァルスピナー

ヴェガベース所属のロボット。「ヴァルスピナー、スレイブオン」の掛け声で合体。胸部はキャノン砲で、腕し腕にもなる。ボットリッパーやブーメランで武装。全高38.8m。



ジェネシスター

シリコンベース所属のロボット「チェンジ・ジェネシスター!」の掛け声で合体。ライトニングアローやライトニングニードルなど弓状の光線を放つ。全高44.4m。



ドラグライナー

ユニオンベース所属の機体ロボット。ワイヤー付き鉤爪ドラゴンクローやスーパーノヴァ他、巨体を活かした多くの武器弾薬を搭載。全長137m。117.7m。





ジェットボーイ (赤)

無人だが高性能A1による得意技はショックウェーブ。戦闘補助ができる。赤はネオオクサー専用のジェットボーイ。

ジェットボーイ

サポート用のボーイ級ロボット。自力で空を飛べないロボットを空輸。ショックウェーブが唯一の武装。全長33m、全幅84.9m。

ジェットボーイ (青)

ジェットボーイはロボットに変形できる。無人で稼働するので、過酷な環境での作戦も可能。青はゴードンナー専用。

ジェットボーイ (黄)

ロボットとの連結は、ロボ形態での胸で行うため、いろいろなものを運搬できる。黄はコアガンナー専用。



そのほかメカニック紹介

擬態獣相手に大活躍する世界各国のベース所属の巨大ロボット以外にも、重要な役割で登場するメカを少しだけ紹介。



Gジャイロ

1話では、5年前の決戦の時に上空から人々の避難状況や、擬態獣の様子、各ロボットの状態を確認していた。



オープンカー

ゴオの愛車。1話では霧子を乗せてダンナーベースへ向かった。その後、2話でも登場。



Gアロー

1話で杏奈を避難させるために霧子が送り込んだ。2名の隊員が乗っていた。

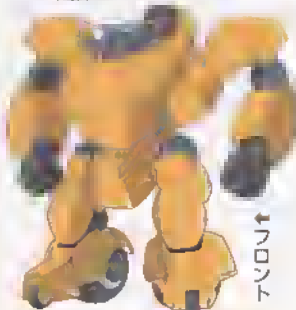


スクーターB

忍の愛車。1話では杏奈が乗って基地で転んだ。その後、2話にて学校のロボット置き場で大破した。



↓訓練ロボA



訓練ロボ

学校などで練習用に使用されるロボット。黄色は1話で杏奈が乗っていたもの。白は10話で、剣がレウの訓練用に調産。



↑リア

↓訓練ロボB



↑フロント



↑リア

擬態獣

MIMETIC BEAST

突如出現して人類を滅亡の危機に追い込んだ謎の生命体。地球上のさまざまなものに寄生し、擬態する。ほとんどの兵器が通用しなかったが、ロボットだけは対等に戦うことができた。



擬態獣

1話に登場。2042年に東京を襲い、クラブマリナーやネオオクサーを倒した。しかし、ゴードンナーによって倒された。

擬態獣12号

クラブマリナーに寄生したため、ダンナーベースを標的にして出現した擬態獣。体内にマックスとミラを抱えていた。



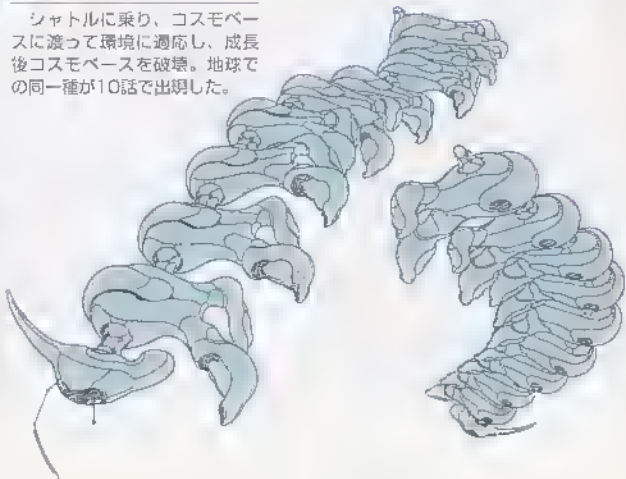
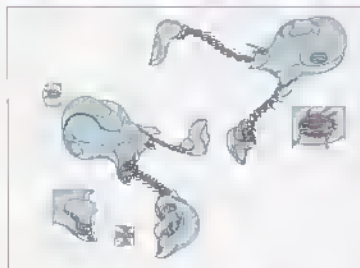
擬態獣16号

胴体中央の発光器官によって、損傷箇所を一瞬で修繕してしまう。生体散弾や針状触手でゴードンナーを苦しめた。



擬態獣18号

シャトルに乗り、コスモベースに渡って環境に適應し、成長後コスモベースを破壊。地球での同一種が10話で出現した。



オープニング・テーマ
神魂合体ゴードンナー!!

作詞：桑原永江 作曲／編曲：渡辺宙明
歌：串田アキラ

真つ赤なブラズマ
今 瓦礫の戦場(つち)に立つ
うなる巨体 神の化身
聖なる名は ゴー ゴードンナー

おお 永遠の平和を契りあい
おお 身も心も重ねて

☆鋼の拳(けん)で バンバン
邪悪な敵を ガンガガン
魂込め フルパワーで
ダダッ!ダダッ!ダダッ!
炎を上げて バンバン
ハートブレイカーだ ガンガガン
おぞけ震う この世の闇
ああ!焼き尽くすまで
愛に殉じよう
神魂合体ゴー ゴー ゴードンナー!!

冒いブラズマ
今 渦巻く風を切る
勇者に 力 与え
ひとつになる ゴー ゴードンナー
おお 呼び交わす お前と俺のスピリット
おお いま全てを賭けよう

不屈の意志で バンバン
暴れる獣 ガンガガン
ぶちかませよ 凄じエナジー
ダダッ!ダダッ!ダダッ!
決めるフィニッシュ バンバン
ソウルブレイカーだ ガンガガン
未来荒らす 狂気の巢が
ああ!息絶えるまで
愛は惜しまない
神魂合体ゴー ゴー ゴードンナー!!

おお 伝説よ奇跡よ願れよ
おお 道標(みちしるべ)は 絆さ
☆くりかえし



エピソードガイド



Chapter.02
Episode Guide



第1話～第7話

戦場のウエディングベル

2042年・東京。Gアローで避難した葵杏奈は、擬態獣によって虚空に投げ出された。絶対絶命のそのとき彼女を救った巨人は……。

17才になった葵杏奈は、5年前命を救ってくれた猿渡ゴオとの結婚式に臨んでいた。ゴオが誓いの言葉を述べようとしたとき、ダンナーベースの同僚、藤村静流から緊急連絡が入った。5年前、擬態獣との東京決戦で倒れたはずの仲間のロボット、クラブマリナーが擬態獣に寄生されて出現したのだ。

変わり果てた仲間のロボットの姿に、ゴオは杏奈の制止をふりきって飛び出していった。結婚式が台無しになった杏奈だが、彼女の行動力はゴオたちの想像を超えたものだった。ロボット乗りの妻として、何かをしなければという気持ちに突き動かされた杏奈は、教会の墓地を抜けてベースへ先回りしようと考えた。そのとき擬態獣と、ベースから迎撃出動し

たGガンナーの戦闘によって、封印されていた旧ダンナーベース格納庫が出現。偶然、そこに落ち込んだ杏奈は、1体の巨大ロボット、ネオオクサーを発見する。そして、擬態獣と、Gガンナー救出に駆けつけたゴオのゴードンナーとの戦いを目の当たりにし、自分がネオオクサーに乗って夫を助けることを決意。母でもある実務子の計らいによって封印を解かれたネオオクサーで出撃する。ネオオクサーに杏奈が乗っていることで動揺するゴオだったが、ネオオクサーとの合体を決意。ついに復活したゴードンナー・ツインドライブモードの破壊力は、一撃で擬態獣を倒し、寄生されたクラブマリナーを安らかな眠りにつかせたはずだったのだが……。



第1話

大いに盛り上がったはずなのに、それが原因で……



◆嫁ぎゆく娘・杏奈に、母親・麗子は、結婚は戦いだと教えた。

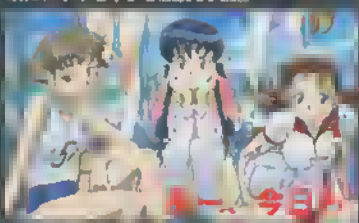
結婚は戦いだ。
相手に撃たせず
自分が撃つ!



待ってるよ
女じゃないの!

◆最初にガツンとやるべく、麗と飛び出す杏奈。

◆いつまでもカレシを作らない杏奈に、ヤキモキする悪友3人娘。



今日、
真実をつたが

自分で
戦いたのよ

◆◆擬態獣12号に苦戦するゴオ。そこへネオオクサーに乗った杏奈が駆けつけて……。

このバカサン
があ!!

◆ゴードンナーの戦いを見つめる、12歳の杏奈と麗子のひんじん。

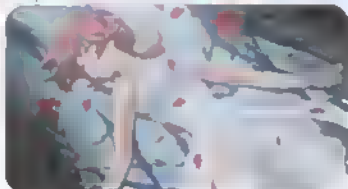
◆5年前、Gアローから墮り落とされた杏奈を救ったのはゴオだった。

サービスカット

いきなりのお風呂シーン！ そのほか、今後の展開に含みを持たせるムフフなシーン満載。



◆涼んでいく娘と最後のバスタイム。入浴しながらもタバコを吸う露子ママ。



◆爆風でいろいろ破けてしまった杏奈。はじめてこんなデザインだったような素晴らしさワ

◆ギリギリのところでは心な「部分」が見えない!! でもなかなか……



◆あらゆる暴風でダイナミックな静流姐さん。「 Cockピットのローアングルが一帯似合うパイロット選手権」があったら、絶対に優勝間違いなしだろう。



GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター

1話ではゲスト扱いのルウ親子。関係ないが、杏奈を助けた隊員も案外カッコいいぞ。



◆ロウ・ルー

1話で少しだけ登場するコスモベース隊長。ルウの父親ということはまだ明かされていない。



◆ルウ・ルー
まじめに任務に就くルウ。父・ロウに対しては、公私混同しない良い子。



◆レスキュー隊員

Gアローで杏奈を救出に来た。なかなかヒーローっぽい活躍を見せるのだが……



◆擬態獣12号

クラブマリナーに寄生。太平洋上に突如出現し、ダンナーベースを目指す。



◆擬態獣

胃腸で杏奈を襲う長い首を持った擬態獣。一般に3体のロボットを倒してしまった。

今週の森本&林

この段階ではまだ、ただの同僚だったようだ。もちろん後の森本の言動や行動を考えると、密かに林をチェックしていたことは確実。しかし今回、彼の欲望に火を付けた事件が起こった。「ただの変人」猿渡ゴオさんが、とってもカワイイ幼な素をめとったのだ！ あの人にできるなら俺だって！ 誰でもそう考



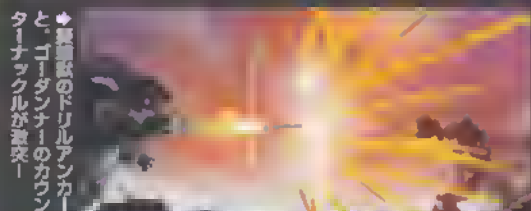
えるのは無理はないだろう。

◆芝居に「おやっさん」とあだ名を付けて喜ぶ林さん。本人は気付かないが、確かにフェロモン出しまくりかも。

次週予告

ゴオ

「天に星、地に花、人に愛。人はひとりでは戦えないなんじゃこりゃ？」



◆擬態獣のドリルアタッカーと、ゴータンナーのカウンターアタッカーが激突！



◆必殺のソウルブレイカーで、擬態獣12号にトドメを刺した。

◆擬態獣に寄生されていたクラブマリナーの中から、死んだはずのミラの姿が……



お前が守ったこの街を、お前が守りたかった人々を、お前の手に掛けさせばしない!!

炎のバージンロード

杏奈の協力で擬態獣との戦いに勝利。だが5年前の悲劇が脳裏から消えないゴオは、杏奈がパイロットになることに賛成できない。

杏奈をロボットのパイロットにしたいくないゴオは、彼女に過酷なテストを受けさせていた。しかし驚異的な運動能力を持つ杏奈は、次々に試験を突破、ゴオの予想を遥かに超える結果を出していた。

霧子は、ゴオが杏奈と出会ったことも、ネオオクスアーに乗ったことも、すべて運命だとゴオを諭すが、ゴオにとって杏奈をパイロットにすることは、5年前にミラを失った哀しみの再現に思っていた。そんな考えをよそに、杏奈はパイロットテストの最終段階である射撃シミュレーションの、最高レベルSをクリアするため、普段の学校生活に加えて、膨大なメニューの訓練、そしてダンナーベース内で始まった新婚生活に追われる日々を繰り返していた。

ある日、ついに杏奈は精魂尽き果てて、ネギを片手にダウンしてしまう。その姿を見たゴオは翌朝、杏奈にパイロットには出来ないと言及する。はじめからパイロットにする気もないのにテストを受けさせていたゴオに腹を立てた杏奈は、やり切れない思いを抱いたまま学校へ向かった。

そんななか、回収されたクラブマリナーの残骸から擬態獣が復活。ダンナーベースの備品とメカニッククルーの林を飲み込んだまま、街へ出てしまった。大暴れする擬態獣。杏奈は、衝動を抑えきれず擬態獣に立ち向かう。忍とともに、学校へ擬態獣を誘い込む杏奈。しかし、ようやく訓練ロボット倉庫にたどり着いた杏奈を擬態獣が襲った……。

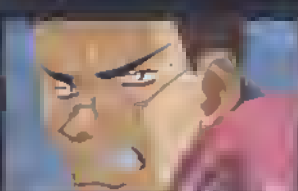


第2話

パイロットミリン&名乗り



おつかひゴオちゃん
◆ダンナーベースのクルーみんなが杏奈の真似して「ゴオちゃん」♡



◆みんなにからかわれて、「疲れてねえよ……」。腹が真ッ赤のゴオ。



◆◆ゴオに突きつけられたパイロットテスト。合格するために奮闘中



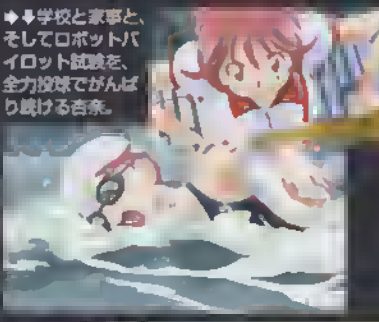
◆実は光司でさえクリアできない、シミュレーターのレベルS。



◆「これ以上いると怒が芽生えちゃうでしょ」静流の戯言に、けっこう本気の光司くん。

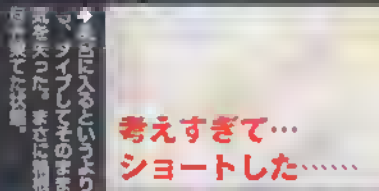


◆並外れた運動能力で、ゴオが突きつけた難関を次々に突破する杏奈だった。

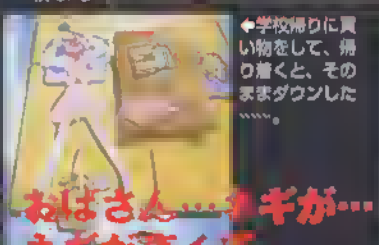


◆◆学校と家事と、そしてロボットパイロット試験を、全力投球でがんばり続ける杏奈。

頭で考えない、
心で感じるの！



考えすぎて…
ショートした……



おばさん…ネギが…
ネギが高くて…
私、できない……

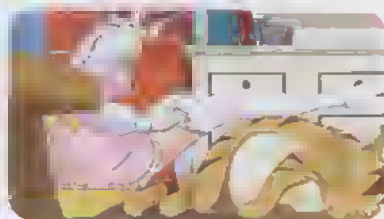
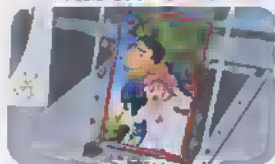
◆学校帰りに買い物をし、帰ると、そのままダウンした……。

サービスカット



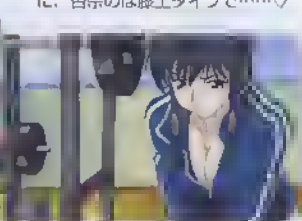
ハダカだけでもなく大胆なパイロットスーツ
だけでもない! この“職人技”を見よ!!

◆前回の戦闘後に撮影。
破れウェディングドレス
の記念写真って……。



◆女の子がソックスを履いている
様子というの、なかなか。とく
に、杏奈のは膝上タイプで……♡

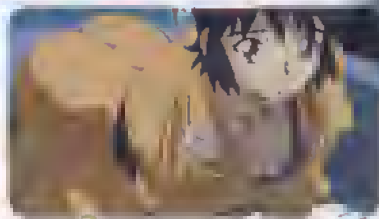
◆杏奈の妄想、ゴ
オとイチャイチャす
る新妻杏奈。



◆杏奈を特訓する“教官”の静流。そ
れにしても、そんなに前を開けるな
んで、大胆な構図にクラクラ〜♡



◆◆ダンナーベースでは、メ
カニック娘たちもナイスバス
ト! バストとお尻のライン
が正比例だね♡



今週の森本&林

ついに森本が動いた! ゴオたちの結婚に触発された林さん
との会話で、すっかりその気になったのだ。さっそく林との密
会をセッティング。しかし、突如復活した擬態獣に林さんが目
の前で喰われてしまったぞ! どうする森本?!



◆◆念願叶って、大好
きな林さんに抱きつか
れた森本くん。だけど
目の前に擬態獣さえい
なければねえ……。

次週予告

杏奈

「ねえ、ゴオちゃん ここはどこ? ここは地の果て?
ここは戦場? ここは、私たちのいる世界……。」

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター

今回は、どこかで見たような人と、とても同
じ人に見えない人。そして薄皮まんじゅう。



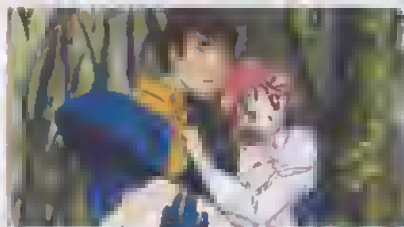
◆校長

杏奈とゴオの結婚のことを聞き、校内
では秘密と宣言する校長。このヒゲ、
どこかで見たことあるような……?



◆ミスターTって
誰? ヒゲの校長
もしくはヒゲの神
父が怪しいが?

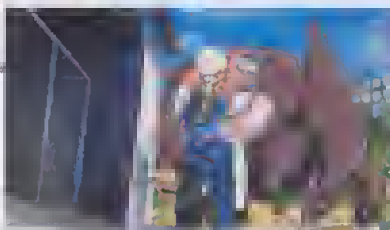
◆ミラの襲撃する
ゴオをそっと見
守る校長。なぜそ
こに?



◆杏奈が妄想するゴオ
杏奈が、夢の中で見るゴオ
は、現在のゴオではなく、
「昔のカッコよかった頃」
のゴオ。あんまりだよ。

◆擬態獣13号

自分を倒した杏奈を追って
学校までやってきた擬態獣。
その中身は、ダンナーベー
スの備品と、林さんだ!



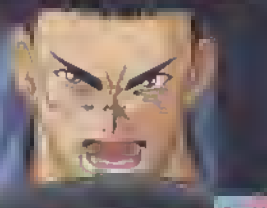
◆基地内に出現した擬態
獣。その体内には、人間
が取り込まれていて……
動揺を隠せない森本。



◆林が擬態獣に取り
込まれたときに、そ
ばにいた森本。



◆「Bエリア全域に
避難勧告!」冷静に
指示を発する彰弘。



◆擬態獣12号に、完全に
トドメを刺せなかったこ
とを知ったゴオの苦悩。

◆学校の訓練ロボで、擬
態獣に立ち向かおうと
した杏奈だったが……。



ようするに、大きいアンコの
薄皮まんじゅうってことかい?

俺は……俺はまだ……お前に……

バトルロイヤル・ハネムーン

「ゴードンナーで学校に駆けつけたゴオ。だがそこには、杏奈の姿はなかった。ゴオは、自分が犯していた過ちによりやくきつした。」

全長1000mを超える、巨大な擬態獣7号が南シナ海沖に出現、メガフロートを目指して移動していた。ヴェガベースのヴァルスビナー、シリコンベイスのジェネシスター、ダイノベイスのゴッドダイナーは、共同で7号に戦いを挑む。しかし、あまりにも巨大な敵に対して、有効な一撃を与えることができず、7号の侵攻を食い止めることができない。そこへ遅れて到着したユニオンベースのドラグライナーが、スーパーノヴァを発射。ようやく7号の動きを止めることができた。だが凄まじい破壊力のスーパーノヴァを、安易に発射したドラグライナーのナイトに対して、ゴッドダイナーのモウカクが猛反発。さらにシリコンベイス・チームのルナの調査に

よって、7号が生きていることも判明したため、ナイトとモウカクの間には、険悪なムードが漂った。そんななか、ゴオが現れ、仲間たちに新妻の杏奈を紹介した。杏奈のパイロットデビューである。

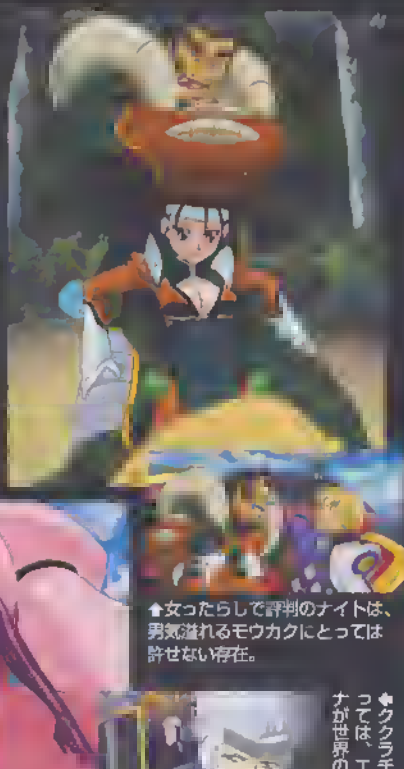
突如、7号が活動を再開。パイロットたちは次々に出撃していく。それを見た杏奈にゴオは、これが自分たちパイロットの世界だと告げる。そして正式に結婚の誓いを宣言したゴオは、杏奈とともにパイロットスーツに変身し、ゴードンナーとネオオクスアールで出撃。仲間のパイロットたちの協力を得て、7号を殲滅した。戦いが終わって、杏奈はエカテリーナから名前を聞かれ、彼らの仲間入りしたことを実感したのだった。



第3話

ハイライトシーン&名セリフ集

てめえは今日から子分だ、パン買ってこい



◆ルナやシャドウほか、世界のパイロットが召集するロボットたちが集合。大迫力だ。

◆どんな小さな可能性でも、それで人を救えるならあきらめない。

◆ゴオの背中を見上げながら、杏奈も戦士としての自覚を持った。

◆「痛いじゃないわ。早死にするタイプ♥」ニッコリしながら怖いことをザラリと言う。

◆女ったらしで評判のナイトは、勇気溢れるモウカクにとっては許せない存在。

◆クラチヨフにとっては、エカテリーナが世界のすべて。

何があろうとあきらめない、強いお前だからこそ、俺はいついかなる決心をしたんだ

杏奈、よく見るんだ。これが…俺たちのいる世界だ

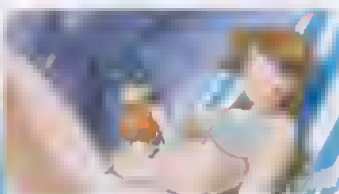
◆「あたし死なないよ、おばあちゃんになっても、ずっとゴオちゃんと一緒！」

サービスカット

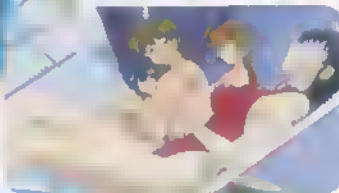
Service Cut

ナイスなスーツに身を包んだ世界のパイロットも捨て難いが、やはり見どころは……。

◆オペレーターの午後のアンニュイなひととき？
大胆過ぎます桃子さん♡

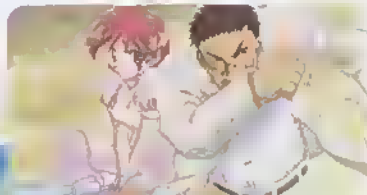


◆当然、静流も水着姿を披露。しかも余裕のハイレグツワップースタイル。



◆いろんな意味で珍しいカット。うれしい谷間を強調し放題の水着。そして、おろした髪のコナミさん。

◆ジェネシャドウの発進で大きくめくれ上がった杏奈のスカート。真っ白な下着が新妻らしさを演出？



◆必死にスカートを押さえているように見えるが、実は真剣なシーン。



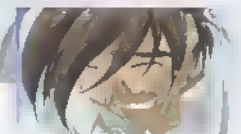
今週の森本&林

3話で、早くも大進展!! まさかこんなに早くふたりがっ! とは誰もが思ったことだろう。自分のことを心配して、ボロボロ涙を流す男を見て、心が揺らぐのは母性本能ってやつですか? 林さんの寝巻き姿も含めて、要チェックシーンであった。



◆「森本……」ボロボロ泣きしている森本にかけられる言葉が見つからない林さん。こんなとき、言葉はいらない。

◆責任を痛感しつつ、林の無事な姿に涙が止まらなくなった、男・森本。



次週予告

静流

「見て、ゴオ……いまさら可愛い女にはなれないけどあなたの言ったことはずっと守ってる。これが私……精いっぱい私の本当の私……。」

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター

史上最大の擬態獣を迎え撃つために、世界各国のロボット乗りたちが全員集合した。



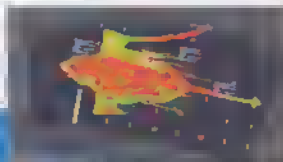
◆擬態獣7号
その巨大さのために、早くから存在は知られていたが、今回のメガフロート侵攻によってはじめて迎撃作戦が行われた。

◆擬態獣7号本体

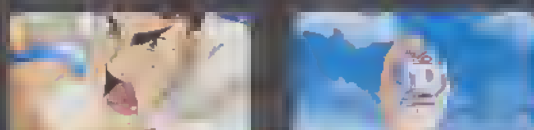
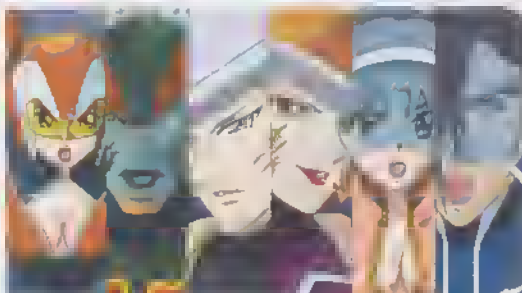
無敵と思われた巨艦はすべてフェイク(偽者)。本体は通常サイズの擬態獣ではない。



◆神経組織の解析結果から、弱点の頭部を、尾部に擬態していたことがわかった。



◆世界のパイロット
巨大な擬態獣の出現により、かけつめた優秀なパイロットたちが。



◆「ゴーツ、ファイト!!」ゴオはステルスリングをかざす。

◆杏奈の覚悟を聞いたゴオは、誓いの指輪をプレゼントした。

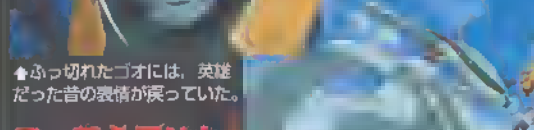


◆指輪の力で、タキシードからパイロットスーツに変身中のゴオ。

◆◆「ゴーツ、ファイト!!」指輪の力でパイロットスーツに変身する杏奈。



◆仲間たちの協力で、すばやい擬態獣の本体にソウルプレイヤーを放つ!



◆ふっ切れたゴオには、英雄だった昔の表情が戻っていた。

フ……敵う男はな……
俺とらね……

静流ゴオは勇者を愛とし、
生涯変わらない愛を誓う!

静流、再び

訓練生時代の静流は、訓練以外に興味を持たず、誰も寄せ付けな
い雰囲気少女だった。ただひとり狼渡ゴオを除いては……。

オアシスベースを壊滅させた強敵・擬態獣16号
が、日本海沖の地下1200mから出現した。ゴ
ダンナーとネオオクサーは緊急出撃。しかし些細な
油断から、ネオオクサーの眼前でゴダンナーが16
号の触手に貫かれてしまった。16号を取り逃し、ゴ
オまでもが重傷を負ってしまうという大敗北。静流
は杏奈を激しく責めた。そんななか、杏奈は、静流
がトレーダーに接触したことを知り、静流を引きと
めようとする。静流とゴオが立つ場所に、自分も立
ちたいのだと打ち明ける杏奈。静流は、杏奈が自分
と同じ不安を抱いていたことを知り、ベースを去る
ことはないと言って、杏奈を安心させた。

載作業が完了。ネオオクサーとコアガンナーによる、
対16号作戦が始まった。腹の発光器官によって損傷
箇所を修復する16号に対して、オクサーがYP爆弾
で発光器官を破壊。ガンナーがスナイパーでドドメ
を刺すという2段階の作戦だった。しかし16号と
の激闘の中、オクサーが設置したYP爆弾は不発。
しかも16号の生体散弾によってスナイパーのOSが
エラーしてしまった。自分のミスで作戦が失敗した
と悔やむ杏奈の耳に、ゴオの励ましが入ってきた。
そして静流も、あきらめない杏奈の姿に奮起し、ス
ナイパーのマニキュアル発射に挑む。昔に聞いたゴオ
のアドバイスに従って、トリガーを引く静流。見事
に的を射抜いた静流の顔は、満足そうだった。



それだったら…ダンナーが私たちの
おうちみたいなものかもよ！

◆なかなかふたりの時
間が持たなくて、スト
レスが溜まって……。

◆林が森本のために作った愛情
弁当。なんか光ってる!!

これは水晶の梅和え
プロヴァンス風？

◆ゴオの言葉に顔を赤ら
める、ウブな静流♥

↑ゴオの決めつけ
るような発言にキ
レた杏奈。本当に
キレるのが早い。

◆静流がベース
を去るという噂
を確かめるため、
杏奈は静流に迫
った。

◆杏奈に平手打ち
をかます静流……。

◆本当に怒られたら
怖い杏奈……。

◆訓練生時代の静流。
まだ初々しさというか、
みずみずしさが溢れてい
る。表情は怖いけど……。

◆身体をくっつけるようにし
て指導するゴオ。セクハラ？

どかないと撃つわよ

第4話

ハイトリッピン&名セリフ集

そいつに自分の気持ちをぶつけるつもりで
狙いをつけるんだよ。バキューン！
なんつって



サービスカット

やっぱり、なんといっても静流さん? でも、さくらに「萌え」を感じた方も多かった?



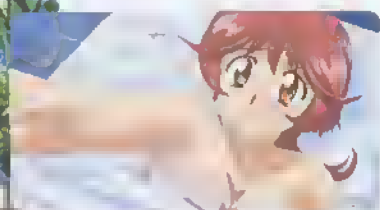
◆自室でひとり考え込む。ちなみに、ベッドに座った瞬間を見逃すな!



◆さくらを必死でとどめる忍。見えそうで見えない!!



◆ゆったりと、湯船に疲れた身体を沈める静流。湯気やら。お湯やら……。いろんなものがジャマだっ!



◆医務室のベッドの杏奈。キャミソールの肩紐が、ちょっとズレるという、玄人好みのカット。

◆静流の様子を偵察中。この、ちょこんとしゃがんだ姿が、またファンを増やしたことだろう。

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター

今回は、静流の私生活が垣間見られた。それにしても、世界にはいろんなロボがいる。



◆トレーダー
静流をヘッドハンティングしようとする、どこかのベースのトレーダー。勧誘員調?

◆ベース近くのレストランで静流と宴会中のトレーダー。

◆静流の友人
友達との話題は、男のことが、子どものこと。戦いに明け暮れる静流とは、住む世界が違いすぎて……。



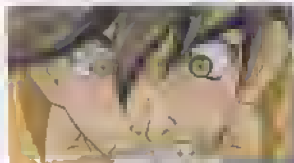
◆擬態獣16号
オアシススペースを破壊させた。全身が兵器のような擬態獣。

◆デザートボーイ
全長27.4m。砂漠地帯用、オアシススペースのボーイ級ロボット。



今週の森本&林

前回、ついに林さんの心が動いて、さらにふたりの仲は急接近。お見舞いのお礼と称して、キラキラ特殊効果で光る『水晶豚の梅和えブロヴァンス風』弁当を手渡し。だがドサクサに紛れて杏奈が持ち去ってしまった。果たして回収できたのか?



◆林から手作り愛情弁当を差し出され、今にも目が飛び出しそう。



◆ヒロインの杏奈でさえ、こんなキラキラ特殊効果はなかなか使ってもらえないのに……。

次週予告

ゴオ「俺はゴオ!」
忍「ぼく、忍!」
杏奈「兄弟なのに全然似てないでしょう? どこで遇っちゃったのかしらね。」
「オイオイ。」
忍「剣にするなよ兄さん。」
ゴオ「あと10年もすりゃあ、お

前も俺そっくりになるんだよお。」
忍「やめてよ不吉な!」
ゴオ「なんだとお!」
ルウ「私のコスモダイバーはこ?」
ゴオ・忍・杏奈「ええ?」

◆手動でスナイパーを撃つ静流。「私を誰だと思ってるの!!」

◆擬態獣の発光器官を隠かせるために、3発発射。

◆見事に手動でスナイパーを的中させ、任務を終了した静流。自信と満足に溢れた表情。

◆ゴオのアドバイスによって、ふっ切れた昔の静流。しかしそのとき、すでにゴオはミラと……。



バキューン! なんつって!

今さら可愛い女にはなれないけど……
あなたの言ったことは……守ってる。
これがあるままの私……

擬態獣18号がコスモベースの破壊をはじめた。日

ウ、ルー隊長は、クルーにベースからの脱出を指示。自らは、ひとり娘のルウ・ルーを伴いコスモダイバーで出撃。だがルウは娘の乗るブースター部分を分離し地球へ送り出す。父と戦うことを望むルウの叫びを聞きながら、ルウは18号に立ち向かっていった。その後、地球に落下したルウのコスモダイバーはダンナーベースに収容される。杏奈は、ひとりぼっちになってしまったルウを思い猿渡家に引き取った。

一方宇宙では、コメットベースのレスキュー隊が消息を絶った。18号はまだ活動が続けていたのだ。しかもコスモベースはダメージのために軌道を離れ地球に落下しはじめていた。このままでは地上でも

大きな被害が予想される。事態を避けるにはコスモ

ベースへ直接乗り込むしかない。そこで霧子が考えたのは、ジェットボーイをベーススター代わりにして、コスモダイバーを宇宙へ打ち出すというものだ。

しかしそのためには、ルウの協力が必要。ルウは自分も一緒に行くことでゴオがコスモダイバーに垂ることを承諾した。コスモベースにたどり着いたゴオたちは、18号と刺し違えて死んだ口ウの姿を発見する。しかし18号は生きていた。地球へ降下しようとする18号を追って、コスモダイバーも大気圏に突入。ゴオは操縦桿を握るルウの手に、自分の手を添える。そしてルウの父の仇に向かってダイバーショットのトリガーを引いたのだった。



第5站

ハ
ラ
ト
シ
ン
&
名
上
リ
集

◆宇宙へは戻れない
ことを諦す獅子。

◆母のいないリウにとって、父は、自分の生きる世界そのもの。
私のコスモダイバーはどきどき

↑宇宙へは戻れない
ことを諭す響子。

ルウを抱く霧子は、再生したミラのことにも想いを馳せていた。

◆ジェットボーイが宇宙を飛べないことに、不満をつのらせるゴオ。

➡暗い表情のルウ
のために、必要以
上に明るく振舞う
漫才3人組。

なんでロケットボーイになんか
なんでロケットボーイになんか

なんでジェットマンじゃなかったんか？
なんでロケットボーイにしなかったんスガ？

ゴキブリが船に乗って
世界中に広がった
のと同じに……ですか？

→ひとりで戦おうとする父に、自分も残ると叫ぶルウ。

◆コストメンバーから、脱出力プロセスで緊急避難する

◆生きて帰ると、ルウに約束するロウ。しかしその表情にはある決意が。

↓ヘッドロックなのか、胸に顔を押し当てているのか……？

サービスカット

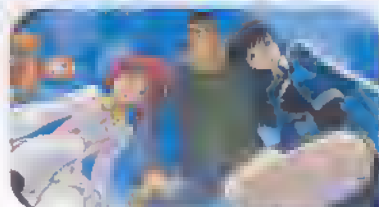


相変わらずの大胆カット大盛振る舞い。しかし今回は、何といっても霧子ママがスゴイ！

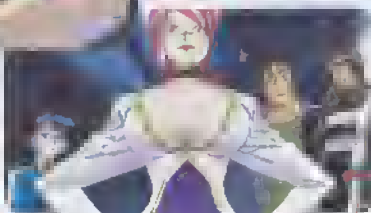
◆もはや「ゴードナー!!!」名物のひとつにまで昇格したさくらのお尻。静流派とさくら派に分裂しそうな勢い。



◆左から、けい、ひな、さくら、杏奈。ふだんは目立たないけいちゃん、ここぞとばかりに大胆です。



◆杏奈のパンツと、静流のふともも。どちらに目が行くかで、たぶん自分の属性診断ができそうな超ローアングル。



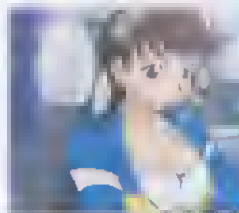
◆今回のメインイベント！大きく胸を張ってボタンを飛ばす霧子ママ。さりげなく、影丸が反応するのが可愛い。

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター いよいよセミレギュラーの泉ちゃんが登場！やっぱり、ナース萌えて重要でしょう。

◆泉ちゃん

霧子たちにルウが医務室で襲われていることを、全速力で報告。テキパキさんなのだ。



◆さやか
コスモベース司令セクションのオペレーター。ルウの同僚。ボーイッシュな女の子。

◆ローラ
コスモベース司令セクションのオペレーター。ルウの同僚。メガネっ娘だ！



◆ハルおじさん
交番要員とともにコスモシャトルでやってきた。時間にはルーズな、おおらかなお人。

◆擬態獣18号
宇宙育ちの擬態獣。大気圏突入能力まで備えた、影丸にはゴキブリ扱いされた。



今週の森本&林

気がつけば、ダンナーベース公認カップルとなっていた森本&林。どんなときでも寄り添っている微笑ましいショットが増えた。しかし、まだまだふたりは中学生のような、プラトニックな関係。果たして、森本はさらに深い関係を目指すのか!!



◆シリアスに、ルウを慰める芝草の足元から生えてきたふたり。これじゃ、恋人同士というよりも……。

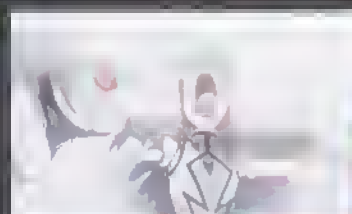
◆上空の対決を固唾をのんで見守るふたり。かたく抱き合って、物語の主人公にでもなったつもりか!!



次週予告

杏奈 「ゴオちゃん、その誰？」
忍 「元カノ〜」
森本 「わあ、マジッスか？」
杏奈 「いいもん、いいもん、昔のことだから！」
森本 「マジッスか？」
杏奈 「ええー！ 今も愛してるさ!」

森本 「マジッスか?」
杏奈 「ゴオちゃん! ホントなの?」
ゴオ 「そ……」
忍 「ホントさあ!」
杏奈 「マジッスか?」
ゴオ 「あ……」



◆父へのありったけの想いを込めてトリガーを引く。



◆自分の手で決着をつけるときが来た。

◆大気中で赤く燃え上がりながら、ダイバーショットを発射!

誰かが想いを伝えてくれるまでは、人にホントの死は来ない……



父のためにここまで来た! ただ泣くためか!

◆ゴオが強い続けていたからか……。ミラがついに目を覚ました……。

◆「今日から俺が、キミのおとうさんだ。」カッコつけた代償は?



おつかれで……お疲れ……!

夢の終わり

5年前の戦いで死んだはずのミラ、アッカーマン。しかし彼女は、擬態獣12号の体内から発見され、霧子によって密かに保護されていた。

クラブマリナーのパイロットだったマックスの存在を、霧子は秘密にしていたが、ついにその姿をゴオに見せた。しかし彼が本人だという確証はないという。さらに霧子は、ゴオに衝撃の事実を明かした。同じく死んだと思っていたミラの、生きている姿を見せたのだ。しかし彼女は、ゴオの姿に怯えてしまう。なんとミラは5年の間に記憶だけではなく、言葉が話せないほど幼児退化していたのだ。ミラの姿を見てからのゴオは、ボンヤリしていることが多くなった。何を聞いてもうわの空。そんな様子に妻の杏奈は不審を抱く。そしてゴオの背後に、女性の影を感じとった杏奈は、ルウを味方に引き入れて、ゴオと霧子の監視を始めるのだった。自分の知らない

いダンナーベースの一面があることを突き止めた杏奈は、隙を突いて潜入。そこでついにゴオのかつての悪人、ミラと対面してしまう。しかし霧子は、元ネオオクサーのパイロットという事実だけを杏奈に伝え、現在のパイロットである杏奈にシヨックを与えないために隠していたと嘘をつくのだった。

杏奈はミラも猿渡家で引き取ることにし、優しく再教育をはじめた。そんなある日、ミラの不思議な力で目覚めたマックスは、コアガンナーを強奪。ミラを連れてダンナーベースの破壊を始めてしまう。自分からミラを奪ったゴオを許さないというマックス。そんなマックスの言葉で、かつてミラとゴオが恋人同士だったことを知ってしまった杏奈は……。



第6話

ファイナルイグニッション

パイロットシリン&名セリフ集

「ゴオは決死の叫びでミラを止めようとする。」

★妻ならでは、女の動に焦るが、なんとかゴマカした。

ねえゴオちゃん……
なんか隠してない？

で……誰？

◆自分が知らないゴオの一面を知る杏奈。
◆ルウを引き込んでいろいろ探る。

◆学校でも、携帯電話からゴオと霧子の動静を探る。

◆ミラを引き取った杏奈は、ミラの再教育に一生懸命だった。

◆静流は訓練生資格手に譲渡中。

◆コアガンナーはエネルギーを消耗し尽くし、ネオオクサーを強制分離。

◆ゴオを守るため、ミラは自分の身を犠牲にすることを決意。

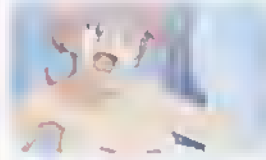
◆過去の戦いを語る。

また家族が増えたと……思っていた

サービスカット

Service Cut

ついに、静流姐さんの天下にミラが参戦！
ますます、このコーナーから目が離せない。



◆忍クンの前でオールヌード。忍の災難（幸画）の始まり。

◆湯気に煙る3美少女の裸体。ルウの襟乳も要チェックだ!!



◆ルウの服を無理やり着るミラ。おかしいと思わないのか。でもありがとう、ルウ。



◆お風呂場から駆け出す。これだけなら忍くんも安心だったのに。

◆霧子ママのお尻。とても17歳の娘がいる母親とは思えない。

◆今回のいちおし。裏顔の忍くんに萌えろー!

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター

ゴオの昔の同僚マックスが登場。それから未来のパイロットたちは美男・美女だらけだ。



◆若きパイロットたち
静流の話からすると、5年前は子どもだった、パイロット訓練学校の学生たち。

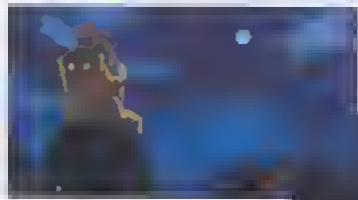


◆マックス
クラブマリナーのパイロット。
5年前の東京決戦で死亡したはずだった。



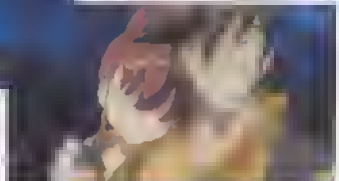
今週の森本&林

着々と段階を踏んでいくふたり。森本が、案外、計画的に物事を進めるタイプだということが分かった。林さんも、すっかりそんな森本ペースに乗せられてしまったようで、すでに窓に夢見る乙女モード全開中。さあ森本くん、次の段階へGO!



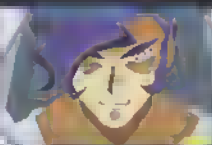
◆終業後、海辺ヘデートに出かけた。肩を寄せ合ってる恋人モード。もはや誰も止められないのか!?

◆「こんな夜は、眠るのがもったいないッス」。すっかり、安心しきった林さんに最大のピンチが迫る!?



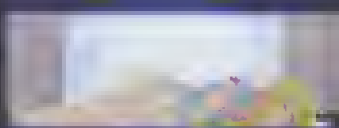
次週予告

杏奈「パーカ、パーカ、パーカ、ゴオちゃんのパカー!!
カノジョって何? 恋人って何!? 付き合ってたって、なにい?
もう……わけわかんないよ……。
ゴオちゃんなんか死んじゃえ!!」
忍「死んじゃえ〜」
ゴオ「お前が言うな!」



◆ゴオへの恨みを並べたてるマックス。

◆マックスを起すとき、ミラは、そのまま倒れてしまった。



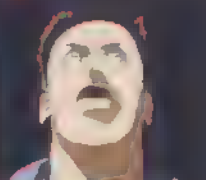
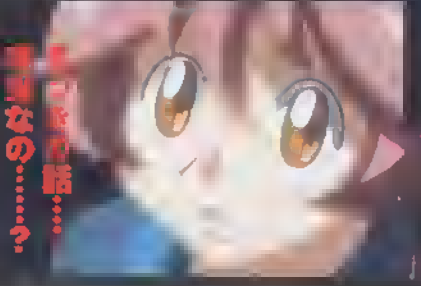
◆ミラを撃ったマックスは、コアガンナーで出撃。

◆乗り手が違えば、表情まで変わってしまう?



ミラとお前は、互いに愛し合っていた!!

◆マックスとゴオの会話で、ゴオとミラとの過去を知ってしまった杏奈。大ショック!!



◆マックスの、ミラへの秘めた想いにショックを受けるゴオ。

追憶一死ス

コアガンナーを奪取したマックスは、ダンナーベースの破壊をはじめた。しかし杏奈は、ミラとゴオのことで頭が混乱していた。

ゴオはミラとの関係についての杏奈の問いかけに、答えが見つからないまま、ゴードンナーで出撃していった。霧子は、ミラのこと、ゴオに嘘を強要したのは自分であり、それは杏奈の幸せを願つてのことだと告げる。コアガンナーの注意をひきつけることに成功したゴオだが、ミラが乗っているため、有効な攻撃手段が見つけられずに苦戦していた。やがてゴオとマックスの会話から、杏奈は5年前にミラとゴオの間で何が起つたのか、その真実を初めて知つた。

杏奈は混乱しながらも、ゴオを助けるためにネオオクサーで出撃する。しかしミラが中にいる限り戦うことができない。そこで静流がコアガンナーに潜入し、ミラを救出することになった。そしてゴオと

杏奈は「ゴードンナーTDMのカウンターナックルで、コアガンナーのスナイパーエンジンからの攻撃を防ぎながら、静流の潜入作戦の機会をうかがう。スナイパーを撃ち尽くしたコアガンナーは、それでも自滅覚悟で抵抗を続ける。マックスはさらに、通信でもミラを「殺した」ゴオを責め続ける。杏奈は、ミラが生きていることを認めようとしなないふたりに、「生きている」と言い放つ。ミラに語りかける杏奈。そしてミラは意識を取り戻した。

そのとき、マックスの身体が醜く変貌しはじめた。コアガンナーに潜入した静流は、その異様な光景に呆怖する。なおもコアガンナーを攻撃しようとするが、ルウの援護射撃で、ようやく沈黙したのだった。



第7話

ハートシーン&名セリフ集

久々に血が通りますよ！

➡激走するジープからガンナーの背中を狙う。

↓実は、影丸も熱い男
だったのだ！

↑とん子が開けっ放しにしていた、背中のサブジョイントブロックから進入。

◆マックスは、どうしてもゴオに勝てない自分に苛立つ。

↓杏奈の声で目覚め、涙を流し、微笑み返すミウ。

↑5年前、ミラが身を挺してゴオを救った事実を知った杏奈は……。

◆混乱する杏奈。それでも身体が勝手に、ゴオとともに闘うことを選ぶ。

↑コアガンナーに直接
乗り込むため、影丸と
諒流はジープで戦場へ
と向かった。

↓「一生懸命生きてるんだよ!」。ミラのために泣く、杏奈の涙……。

前のカノジョって何よ！
突然復活って何よ！
記憶ソーシツって何よ！
私にナイシヨって何よ！
バカバカバカ！
ゴオちんなんか撃たれて
死んじゃえ!!

なぜなんだミラーツ!!

サービスカット



コアガンナーとゴードンナーとの息詰まる戦闘ばかりのエピソードなのだが……。

◆ミラの胸は他のキャラに比べると少々、小ぶり。だが彼女には、それを補って余りあるステキな足が……

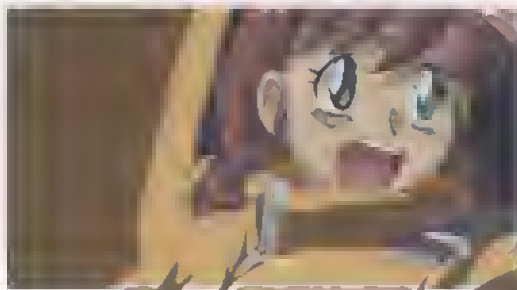


◆はつて怪しいシーンではないのだが、時と場所さえ違っていれば、じゅうぶん犯罪な感じ。



今週の森本&林

ついに森本が勝負に出た!! シーンとしては前回の続きだけど、眠るのがもったいないとか抜かして、野外でナニをしているんだ、キミたちは!? という展開。しかし、まさにこれから……というときに、コアガンナーが暴れはじめた! 残念でした。



◆森本に押し倒されて絶体絶命状態の林。でも着衣の乱れは見えないのでひと安心。というか、森本的にはコアガンナー怖いところろ?

次週予告

モモチー「博士、タンナーベールに機影接近！」

霧子「敵か？」

コナミ「ドラグライナーです。」

杏奈「ドラグライナー？」

ゴオ「この前、一緒に寝たやつだ。」

杏奈「パイロットのお兄さんか」

ツコよかったあ。」

林「マジっすかあ？」

林「どのくらい、どのくらい？」

静流「死にかけのゴオくらい。」

忍「微妙……。」

ゴオ「デメェ!」

忍「電撃ショック!」

ゴオ「うぁああ!!」

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター

仲間のロボットが敵に回ると、どれほど手強いことが。再び起きないことを祈りたい。

◆SS搭載コアガンナー

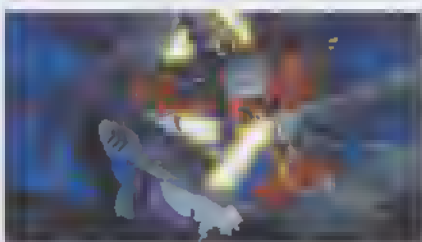
Gガンナーが動けないため、単独での運用を余儀なくされたコアガンナーの最終武装。全身に武器を搭載したため、以前のような身軽さはないが、スナイパーエンジンを合わせて遠近両用戦用となった。



◆コアガンナー追加装備その1。必殺必中のスナイパーエンジン。



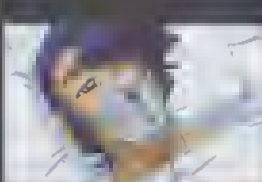
◆上半身から弾薬を連射するスパイラル・スティンガー。通称SS。



◆接近戦が得意なゴードンナーTDMでさえ、近距離からのSS連射には、なすすべがなく撃たれるままだった。

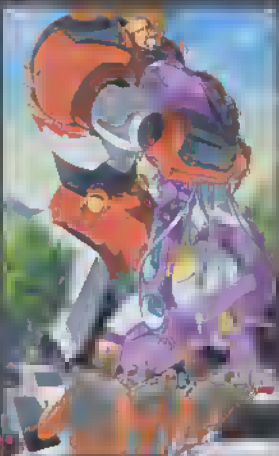


◆まるで、涙を流しているような表情のコアガンナー。



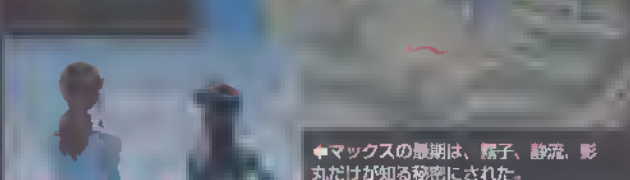
◆力を使い果たし、崩れ落ちるように倒れていくコアガンナーを支えるゴードンナー。

◆怒りや悲しみが溢れたように安らかなマックスの表情だが……



お前も、いつかこうなる……俺と同じように……。気をつける……

◆収容先の研究所から送られてきた、醜く変貌したマックスの姿。そして、マックスは死んだ。



◆マックスの最期は、霧子、静流、影丸だけが知る秘密にされた。

……ゴオ……

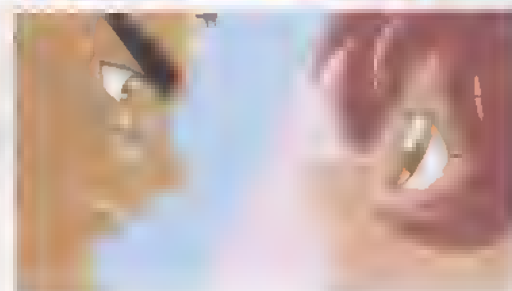
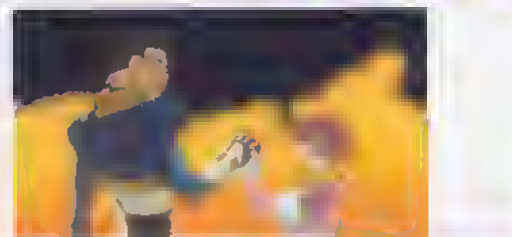
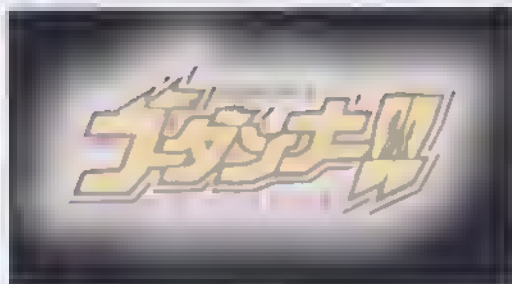
BパートOPENING

後半開始前に挿入される。ネオオクサーのお尻が回ると、ゴードンナーが現れる。2体が合体するとツインドライブモードに変わるということを表現している。



アイキャッチ集

基本的に放映時にCMの前後で入るのがアイキャッチ。『神魂合体ゴードンナー!!』では、A・Bパートのそれぞれに挿入されている。そこで、放映では一瞬のアイキャッチを特別公開。



AパートEND

前半のAパート終了時に挿入される。タイトルロゴのビックリマークの人型が、ゴオと杏奈に変わり、手を握り合い顔を見つめ合う。結婚式の誓いのシーンのような。

スペシャルインタビュー



Chapter.03
Special Interview



主題歌・歌手インタビュー
音楽監督インタビュー
出演声優インタビュー
スタッフコメント

『歌で表現したいな』

エンディングテーマ『塹壕の棺』へサンゴウノヒツギ

水木一郎氏 インタビュー



PROFILE

(みずきしちろう) 1月7日生まれ。イエローバード所属。
1968年『君にささげる僕の歌』でデビュー。1971年『原始少年リュウ』の主題歌に始まり、数々のアニメ・特撮ソングを歌い続け、持ち歌は1,000曲をこえる。1999年には前人未踏の『24時間1,000曲ライブ』を達成。新たな挑戦は続く。
主な主題歌での代表作：
『超人バロム・1』（ぼくらのバロム1ほか）
『マジンガーZ』（マジンガーZほか）
『バビル2世』（バビル2世ほか）
『がんばれ!ロボコン』（がんばれ!ロボコンほか）
『超電磁ロボコン・パトラーV』（コン・パトラーVのテーマほか）
『仮面ライダー』（燃えろ! 仮面ライダーほか）
『真ゲッターロボ対ネオゲッターロボ』（STORMほか）
『セブライマン』（セブライマンの歌）ほか多数。
公式HP◆<http://www.mizuki-spirits.com/>

堀江と俺のデュエットというカタチで魂が入る!

今回、堀江美都子さんのデュエットが決まったときの感想からお願いします。

ミッチとはたくさんデュエットやってるんでね、とくに心配なかったんだけど、彼女は最初に歌詞を見て「どうしよう!」って、感じたと思うんです。歌詞が「血」とか「殺戮」とか刺激的だからね。でもメロディアスな宙明節のバラードなので、絶対良い歌になる!って思いましたね。ディナーショーでも歌ったんだけど「これ聴けて良かった」っていうファンの人々が圧倒的に多かった。楽曲としてすごく重みが出て、コンサート自体が締まっ

たような感じになった。

でも、「一番最初にタイトルを聞いたときは「何? シンコン合体!」っていうような感じが正直、ありましたね。まさか『神の魂』とはねえ。『新婚』とかけてるのは明らかだけど。でも、出てくる女の子の絵がちよっと色っぽくて、「え!」もしかしたらマズイんじゃない? 「これ」って一瞬、不安がよぎりましたね。ところが、実際始まったら、もうスッゲー良い内容。スゴイのに当たったよね。多分、これクチコミでどんどん拡がっていくアニメじゃないかな、と思いましたね。もちろん、楽曲もすごく良いし。最初はどんなものになるか、確信が持てなかったけど、レコーディングが終わったときには、ふたり

とも「やっぱりやって良かったね」って。それから何ヶ月か経つてますけど、歌詞に対しての違和感もなくなりましたね。ミッチーにも「そろそろ、こういうメッセージ性の強い曲を歌ってもいい年齢だよ俺たち」っていう話をしたんですよ。4月からのセカンドシリーズでは、僕たちがオープニングをデュエットで歌うんですけど、これがアップテンポの宙明節。俺もミッチも、また新たな魂を入れてレコーディングするから、きつと良いテーマソングになるよ。

エンディングに関して言えば、堀江さんが水木さんを力でねじ伏せているような歌い方になっている感じを受けました。あの子ね、完成度っていうものを、もの

アニメ界のアニキが、主題歌のこと、宙明節のこと、ヒーローのことを激白!!

すごく考えるんです。俺の場合、男なんで、どうしてもそこまで考えないんですよ。決まっていればいいじゃないんだけど(笑)。「楽しくレコーディングしようぜ! ミッチー!」みたいな感じだね。ミッチは非常に性格的に真面目なんで、俺が兄のように、包んであげるような感じで、場を盛り上げる。それにミッチも応えてるような感じですね。

『マジンガーZ』を凌ぐものはないですね(笑)

水木さんにとっての宙明先生の音楽は、どのような位置を占めていますか?

偉大な作曲家ですし……。普通ね、作曲家っていうのはだいたい外国曲の影響を受けるものなんです。でも宙明先生の場合は、全部、オリジナルなんです。たとえば『秘密戦隊ゴレンジャー』の「パンバラバンバンバン」っていうのはどこから取ったっていうと、どこからも取ってないんですよ。完全にオリジナルの宙明節なんです。

こういう風に歌えば良いっていう、参考になるような歌や音楽がないということですかね?

ないですね。僕らもどうやって歌えばいいという決まりがあるわけじゃないし。でも、やってる間に、宙明さん独自の持ってる、アレンジのカッコよさと、メロディーが持っている哀愁の良さっていうのがわかってきて。歌い出したら自分に合った声になってるし、堀江も同じ。お互いに合わせてみたら「なんか良い味になったよね」っていうような感じで

『本当のヒーローを、俺は』



★メッセージ性がものすごく強い『聖痕の棺』の一見残酷ともいえる歌詞には、さすがの水木アニキも、最初はとまどったそう。

(笑)。たぶん、ささきいさおさんが歌うと、違うメロディーになり、串田アキラさんだと、また違うメロディーになっていく。でも『哀愁』に関して言わせてもらおうと、宙明節の中では、多分、僕たちが一番多く、哀愁メロディーを持っているんじゃないかな。もちろん、激しい歌も歌ってますけど。特に哀愁のあるメロディーが、俺の場合は多いかな。

— これまでで、宙明節で一番、胸に迫った曲はどれになりますか？
たくさんありますね。デュエットなら『破邪大星ダンガイオー』のエンディングとか、『マグネロボ ガ・キーン』のエンディングとか。堀江の歌う挿入歌なんかも、いい歌があるね。あと俺が好きなのは、『時空戦士スビルパン』のエンディング。あれもバラードですけどね。あれは好んで、なるべく歌いたいなと思っていてる歌です。オープニングなら『マジンガーZ』を凌ぐものは、ちょっとないですね(笑)。

— アニソンは音楽的にもジャンルが幅広いですが、

です。歌手として、こんなにもいいジャンルはないなと思ったのは20代前半の頃で、たくさん歌っていく中で、コミカルな歌や、こぶしを使うとか、バリエーションも増えてきた頃です。これは純粋に音楽として、ポップスとか歌謡曲とくらべても遜色ない。この世界にいると何でも歌えるじゃん！ って(笑)。たとえば演歌っぽいアニメソングがあったり、ロックの曲があったり、サンバやテクノ……なんたつてある。作曲家にとっても音楽家にとっても、アニメの世界では自由自在に、縛られないで曲が書けるわけです。制約がない。だからこそ、ものすごい良いものが出来たりするんですよ。

ほんとに哀愁のあるバラードが好きなんです

— 水木さんにとって「ヒーローソング」とはどんなものですか？

最初にレコーディングをしたときからそうですけど、ヒーローは、ただカッコイイだけのものじゃないんですよ。「俺は戦ってるからカッコイイ」んじゃないって、「できることなら戦いたくないけど、愛する地球のために、愛する人たちのために戦うんだよ」っていう正義心で行くわけです。歌うときにそういう気持ちを出してあげると、ほんとの「ヒーロー」像に近づく。ヒーローっていうのはやっぱり、そういう魂でぶつかっていくからこそ、ちよつと影があつて、哀愁が漂う……。それがほんとの「ヒーロー」じゃないのかな。俺は、それを歌で表現できればいいな。だいたいの人は俺が「エイヤー！ トー！ トワ！」って、やってるのが好きだと思ってるんですけど、ほんとに哀愁のあるバラードが好きなんですよ。それだけだと皆さん物足りないようなので(笑)。「トオー!!」とかやって雄叫

んで。ただ、雄叫びばかりのなかに、バラードがずっと入ると、またその雄叫びが生きたりする。そういう意味でも、俺はバラードが好きですね。

— その点でも宙明先生の曲は展開的にもすごいんですね。

メジャーコード展開したのは、先生が初めてじゃないですかね。最初マイナーコードで入って、途中でメジャーにバターンと切り換える作曲法。すごい作曲家です。それから『仮面ライダー』などの音楽を手がけられた菊池俊輔先生……。あの時代の先生たちが、最初にそういうものを取り入れてきましたね。それからスキヤットは、やっぱり宙明先生ですね。最初のころは、歌詞にスキヤットの部分がなかったらしいんですよ。だけど宙明先生は自分のメロディーを書くときに、このメロディーに何か入れたらいいなって思いついて。それでスキヤットを入れて大成功した。

「鋼鉄ジーグ」なんて、あれスキヤット取っちゃったらほんと何にも無いですよ。はは(笑)。「腕が飛び出す、足が飛び出す鋼鉄ジーグ」で終わっちゃう(笑)。こういうものって、後からやる人はどうしてもマネになっちゃいますよね。

「水木一郎」になるにはロボになりきって歌え!!

— ここでカラオケなどで「水木一郎」になりきって歌うときのコツがありましたら教えてください。

オープニングはもちろん、主人公のヒーローの気持ちを考えて歌うのが鉄則です。でもエンディングという、自分なりの、映画を見終わった余韻みたいな感じを歌えば、一番良いのかなって思いますね。

— では「マジンガーZ」で、ここをこうすれば、より「水木一郎」っぽくなるっていう裏技ってありますか？

やっぱり、素直に歌うのが一番いいけど……。「水木一郎」っぽく歌うには「魂」を入れるというか、アツく歌えば一番いいんだ。そのアツさはどう出すかって言われると、一言で言うのは難しいですけど(笑)。やっぱり、想像力をフルに働かせて、ヒーローになりきって歌うのが一番ですね。それも口ポットアニメの場合は、操縦する主人公よりも、口ポットそのものになりきる。日常を忘れて、なりきって歌え！ っていう感じですね。

— それではこのエンディング『聖痕の棺』はどうですか？

低音から一番高いところまで、声域をいっぱい使ってますよね。「セックスアピールがある」みたいな、「艶のある声」が出せたらベストかな。思いっきり高い声を出して、「ああーとうしうー、ギリギリ」みたいな。それから、下から低い声を出してムードを出す。曲の持つものの哀しさを出すには、そんなところを意識するといいかもしれないね。

— やっぱ難しいですね(笑)。それでは最後に、セカンドシーズンに向けての抱負や、読者へのメッセージをお願いします。

セカンドシーズンで、オープニングを堀江美都子と一緒にデュエットするのを、ものすごく楽しみにしています。また僕たちの新しい「子ども」ができたよ、みたいな。夫婦でも「新婚」でもないんだけど(笑)。絵もすごくきれいで、声優さんもすごくさわやかな、良い作品で、楽しみです。次も、石丸博也さんにまた出てもらいたいなって(笑)。彼のようなベテランがバリバリ頑張っているって、俺も励みになるしね。うん。今、「ヒーロー不在」って言われている時代に、「ゴードンナー!!」のような新しい世代の作品が、ずっと王道でいってくると、うれしいです。皆さんも、ぜひセカンドシーズンに期待してください。

— ありがとうございます。

したっていいことです』

エンディングテーマ『塙の棺へサンゴウノヒツギ』

堀江美都子氏インタビュー

アニソン界の女王ミッチーが主題歌、水木一郎、人生、健康法について語った!!



PROFILE

〈ほりえみつこ〉3月8日生まれ。エディット所属。
1969年『紅三四郎』主題歌でデビュー。以後、アニメ主題歌を中心に歌手、声優と幅広く活躍。
主な主題歌での代表作：
『マグネロボ ガ・キーン』〈たなかえ! ガ・キーン〉
『キャンディキャンディ』〈キャンディ・キャンディほか〉
『秘密戦隊ゴレンジャー』〈進め! ゴレンジャー〉
『超電磁マシーン ボルテスV』〈ボルテスVの歌〉
『仮面ライダーストロンガー』
〈きょうもたかろストロンガー〉
『ひみつのアッコちゃん』〈ひみつのアッコちゃん〉ほか多数。
声優としての代表作：
『ひみつのアッコちゃん』〈アッコ役〉
『愛少女ポリアンナ物語』〈ポリアンナ役〉ほか多数。
公式HP◆<http://www.micchi.net/>

自信を持って、聞いていただきたい曲です

最初に、エンディングを歌うことになった経緯からお聞かせください

スーパーロボットもので、内容的にも男性と女性の夫婦の物語ということもあって、エンディングはデュエットになりました。ロボットものでデュエットとすれば、水木一郎さんと堀江かなと(笑)。

宙明先生とは曲についてお話しされたのですか?

いえいえ、全然おまかせです。ふたりのことは知り尽くしているので(笑)。

『塙の棺』は、いつレコーディングさ

れたのですか?

2003年の夏だったような気がします。コロムビアの第1スタジオで。ノースリーブ着てたような気がするから。

一緒にレコーディングされたんですか?

普通は、ふたりで歌う場合、それぞれ別の日に録ったりするんですけど、水木さんが、「一緒にやなきゃだ」とか言って(笑)。それも、たとえば一緒に歌っても、後でバラバラに入れたりすることがあるんですけど、「一緒に一緒にやなきゃダメ」という感じで(笑)。

レコーディング中の水木さんとの楽しいエピソードなどはありますか?

水木さんはあまり細かいこと気にしないというか、大らかですね。すごく素直で「ここ

やりなおしてください」とっていうと、「はい」って。私の方が「こだわりタイプ」なので(笑)。「このマイク、今日違うと思うまい」とって、マイク変えてもらったり(笑)。

マイクの調子が悪かったんですか?

その日の、自分の声や歌い方で「こういう声に聞こえてくるはずないなあ」とって思うと、マイクを変えてもらったりするんですよ。それで、思いどおりの声が出ると「あ!これだ」と思います。って。そのへんは、いつもうるさいんですけど(笑)。それをひとしきりやるまで待っていただいて、それで歌い始めるという感じです。

じゃあ、水木さんは逆のタイプですか? 水木さんは「どれでもおんなじ」みたい

な感じですか(笑)。あの全てをねじふせる声なんです(笑)。何でも大丈夫なんですよ。そのくらい個性的な声ですから。
作詞の桑原永江さんや渡辺先生からは、特別な指示などはありませんでしたか?
宙明先生は、いつも細かく指示をしてくださいます。桑原さんからは別に何もなかったです(笑)。でも、歌詞が普段使わないような言葉や、斬新な言葉が多かったんで、「ちょっと歌詞について気にしてるんですけど...」みたいなことをお伝えしたりしました。水木さんも歌詞の「血」とか、いろんなところをチェックして、気になっていたらいいんですよ。でも歌って、メロディーに乗せてしまつと、思ってるほどは歌詞が強烈には聞こえないな、と思いました。

完成した曲の感想はいかがですか?

歌詞を最初見たとき、字面だけの内容だと、ちょっと抵抗があったんです。自分のイメージもあるし...。ということ、ちょっと悩んだんですけど。でも、何でも挑戦してから決めようと思って。歌詞もメロディーに合うように言葉を、うまくはめてもらして。すこいなあって思いました。それで歌ってみたら、「気にしたほどじゃないね」とって。レコーディングも、すく早く、上手いききました。きつと相殺されたんでしょうね。私の声と、全てをねじふせるような水木さんの声で。それで歌詞の、ちょっと怖いイメージがなくなつたのかもしれないですね。

みんなが抱えている「堀江美都子」とは、ちょっと違うイメージがもしもせんね。

『最初のテレビっ子が歌い出』



◆暗い殺伐としたイメージの歌詞は、堀江さんにとっても大きな挑戦となった。だが、そんなリスクもあってこそ、この名曲が誕生したのだ。

私の場合は、本当にいろんな種類の、いろんなジャンルの曲を歌うので、男の人みたいに声が「ひと色」ではないんですよ。いろんな曲が歌えて楽しいし、いろんな自分が出せるんです。「ゴードンナー!!」の歌い方の「自分」っていうのも、すごく好きなほうの「自分」なんです。声もこう、太い声を使いますし、そういう意味でもすごく、レコーディングが楽しかったですね。自分としても、すごくベストコンディションで歌ってるので、かなり好きな声になって。自分では「出来上がったなあ」と思っています。自信を持って、聞いていただきたい曲ですね。

「ところで堀江さんにとっての「スーパーロボット」とは、どんなものですか? やっぱりいろいろ自分がいる中の「ひとりの形」ですね。堀江美都子には、なくてはならないもの……。ただ、その可愛いアニメ主題歌だけを歌う歌手だったら、多分「こまで、ずっと歌っていないと思うんです。勇ましい部分や、たくましい部分、強い部分も出

してきたから、今まで歌えてきたと思うんですよ。それを、形作っているのはロボットアニメだし、そういう意味では自分の中でも、すごく冒険もできるし、思いっきり歌えるし、すごく好きなところですね。

座右の銘は「明日が好き」 っていう言葉です!

そんな堀江さんにとって、アニメとはどんな存在ですか?

世代的に、私は一番最初のテレビっ子だと思います。ちょうど、物心ついたころに日本のアニメが始まって。モノクロのころからテレビの前で頬杖ついて、寝っ転がって、夕方に見てたわけですよ。その最初のテレビっ子が歌い出したっていう事です。本当に、アニメは、自分の生きてきた横に、必ずあったものですね。ライフワークっていうのもないんだけど、いまだに、楽しみながら歌えるっていうことでしょうか。普通、仕事って自分の趣味とは別で、「つまらない」「きついな」だと思っんです。でも私の場合は、仕事も、楽しみも、趣味も、全部が入っちゃっているって感じですね。

「これまでの中で、一番印象に残っている歌は何ですか?」

自分の生きる上での座右の銘みたいなものにもなってるんですけど「明日が好き」っていう言葉、「キャンディ、キャンディ」のエンディング曲ですね。可愛い曲で、大切に自分のテーマソングみたいにしてるんですけど……。そういえば、歌った曲が形としてレコードやCD、そういう形として残っているという意味では、私が日本で一番多いみたいですよ。アニメの歌のほかにも、オリジナル曲や学校教育ものの曲や、いろんなものを歌っているんです。美空ひばりさんが残された楽曲数を越えたんだそうですよ(笑)。

「ところで、「ゴードンナー!!」のセカン

ドシーズンでは、オープニングを歌われるそうですね。

ええ。水木さんは去年の暮れに「新しいの、ふたりに歌うんだよね」なんて言ってたんですよ。「え? なんの話?」って聞いたたら、「ゴードンナー、新しくなるの」って言うから「へえ」って(笑)。

4月からのセカンドシーズンも、おふたりのデュエットが聞けるわけですね。

離れないのねえ、きつと(笑)。今年も、ずっと一緒にじゃないですか。付き合っているのは、34、5年になるんじゃないかな。自分自身、34、5年になるんじゃないかな。「スパロボ」が始まってからは一年中一緒に(笑)。4月29日の「スーパーロボット魂2004 春の陣」で主題歌を歌うんでしようね、きつと。水木さんは、多分そのつもりでいると思う(笑)。ただ、宙明先生がいっても、堀江に合わせたキーで曲を作ってくたさるんで、水木さん的には、いつも出だしが低くて可哀相なんです。音が低いんだよね……。って。それで、後半のハモリで高いところを歌わされたりすると、水木さんが「ハモれない……」(笑)。水木さんと私の場合は、私は自由に歌わせてもらって、水木さんは「しよーがないな」っていう感じで合わせてくれるみたい(笑)。逆に、ささきいとおさんと一緒に歌うときは、いさおさんがメインでバーンと歌って、私がちょっとお手伝いをするって感じです。いつの間にか、そういう役割が出来ているんです。

ギャップを自分で楽しんで います(笑)

「ところで、『悪魔の棺』を「堀江美都子」になりきって歌うコツはありますか?

難しいですね。いつも言ってるのは、アニメの歌はイントロのうちになりきる!! だから、自分が戦場で勇ましく戦っている女戦士だ! ってイントロの間になりきって、

歌のあたamarca、太くてどっしりした声で歌ってほしい。女の人だから、ナヨッという感じじゃなく、ほんとに「ジャンヌ・ダルク」のような、ガシッとした感じで、「凛々しく」歌いあげるっていうことでしょうか。

「美声を保ち続ける秘訣や、普段から心がけていることはありますか?」

喉は、すごく気をつけています。一年の半分近くはマスクをしていますし、寝るときもマスクしていたり。あとは、加湿器をガンガンに入れて……。いつも部屋がすごい結露状態なんです(笑)。湿度計が温度計より、デカイぐらい。湿度は、必ず一年中同じくらいに保てるようにコントロールしています。うがいもしようちゅうしてますね。お水でうがいするだけでも、全然違うんです。クセみたいなものですね。あと、冬は首にスカーフ巻いて寝るの。タオルとか。だから家にいる時の姿勢は絶対、他人には見せられない、すごい格好をしている。でもステージに出ると、ホットパンツみたいな(笑)。そのギャップを自分で楽しんでいて。歌謡曲の歌手の方とは違って、ほどよく自由で、ほどよくスリリングで、ほどよくメジャーで、とってもバランス良く生きてるなっていう気がするんですよ。とくに普段は、まったくスッピンだから、だれにもわからないです(笑)。そういう心地良さみたいなものがあるんですよ。そのかわり、いざ自分を持ってくれているファンの方が待つステージに出たときは輝きまーす! みたいな感じですね。

最後にセカンドシーズンの抱負と読者へのメッセージをお願いします。

楽しみですね。すごい派手な曲だって言ってますから、やっぱり、バラードを歌った後ですから、オープニングにまわったらガンガン行きたいですよ(笑)。

楽しみにしています。ありがとござい

気分が良いですよ!』

オープニングテーマ『神魂合体ゴードンナー!!』

串田アキラ氏 インタビュー

絶叫アニソンの勇者が主題歌、ライブ、アニメ、そしてバラードを語る!!



PROFILE

(くしたあきら) 10月17日生まれ。スノーキー所属。
1969年『からっぽの青春』でデビュー。以後、特撮ヒーロー・アニメソング界のバイオニアとして、リードし続ける。

主な主題歌での代表作:

『太陽戦隊サンバルカン』(太陽戦隊サンバルカンほか)
『宇宙刑事ギャバン』(星空のメッセージほか)
『戦闘メカ ザブングル』(疾風ザブングルほか)
『キン肉マン』(キン肉マン Go Fight!ほか)
『宇宙刑事シャリバン』(宇宙刑事シャリバンほか)
『宇宙刑事シャイダー』(宇宙刑事シャイダーほか)
『機動刑事ジバン』(機動刑事ジバンほか)
『爆電戦隊アバレンジャー』
(We are the One ~僕らはひとつ~ほか)
ほか多数。

公式HP◆<http://www.snowkey.net/Qu-cy/>

インパクトのあるアニメだから強くなきゃって

最初に、オープニング主題歌を歌うことになった経緯からお聞かせください。

ディレクターさんから、こういう曲があるんだけど……という話からでした。最初はビックリしました。音の響きだと何かすごいアレですね、「シンコンガッタイ」って(笑)。文字が頭になかったから(笑)。その後「神魂合体ゴードンナー!!」って、知ったんですけど、それから作曲が渡辺宙明さんということを知って「チャンスをおいいただけるな」と。

曲を聞いた時の印象はいかがでしたか? いただいたのは譜面とデモテープだったと

思います。やっぱり、懐かしいと……。「あー、やっぱり宙明さんだな」と感じました。

曲に対して、ご自身のイメージもあつたとは思いますが、渡辺先生からはどんな指示がありましたか?

そうですね。特にこうだっていうのはないんですけど、とにかく、インパクトのあるアニメだから、やっぱり強くなきゃっていうか、そんなイメージでした。こういう声だからドラカンといきますけど、いつにも増して、「ゴー! ゴー! ゴー!」でいったんじやないかな(笑)。宙明さんからの特別な指示はなかったように思います。でも、ひとり勘違いして歌ってる時もありますけど(笑)。

特にここを聴かせよう、と意識した部分などはありましたか?

そうですね。自分自身ではこう、「行け! 行け!」っていう感じはありますからね。やっぱりパワーがなきゃ絶対ためたなっていうのは注意しました。

ポイントは歌詞の最後の部分ですか?

「ゴー! ゴー! ゴー! ゴー!!」ですよ。一番のポイントになると思います。

今度のエンディングは、少し哀愁出てくるのかな

セカンドシーズンはエンディングということで、「串田さんにピッタリの曲」と渡辺先生がおっしゃってたんですが……。

絶対これでいける、みたいな(笑)。だから、



◆串田さんの原点は、哀愁あふれるソウル・ミュージック。レイ・チャールズやテンペレーションズといった方々が好きだそう。



◆主題歌マキシシングル・串田さんが歌うOPと、EDを収録。(発売…コロムビアミュージックエンタテインメント)

『絶叫型は歌い終わったとき』



◆「串田アキラ」で歌うには「サビ前の節、節で、気合入れてやる!!」という気持ち」だそう。結局は楽しく唄うことがいちばん大切とのこと。

「す」く楽しみます。あと、今度のエンディングは、少し哀愁出てくるのかなってという気がするんですけど。

—串田さんにとつての渡辺先生の曲とはどういうものですか？

そうですね、ほとんど宙明さんの作曲じゃないですか、僕の歌ってる曲は(笑)。宙明さんの曲だから、こういう風に出るかなとか(笑)。そういうのが、ちょっとわかってくるんですよ。コードや曲展開になると「ああ、こうなってくるんだな」っていうのがわかります。「やっぱりこうだな」って。

—歌いやすいですか？

昔は、与えられた感じそのまま宙明さんの方から「串田くんの好きな曲のどんなの？」って聞かれるんです。だからリズム&ブルースが好きだって言ったり……。そういう話します。だから次に進んだ時にすぐわかるんですよね、「だいたい、こんな風にやってくるのかな」って。

『ギャバン』の時に初めて「ああ! これだよ!」

—歌われているのは、絶叫系の曲が多いですよ(笑)。

そうですね。今まで多かったですね。

—絶叫タイプの曲はほかの曲にくらべて歌いやすいですか？

実際にソロのライブで、そればかり続くと、かなりハードになりますね。イベントでほかに歌う人が何人かいて、その中で歌うときは、やっぱりその絶叫型というのは、お客さんのボルテージを思いっきり上げられるじゃないですか。だから歌い終わったときに気分が良いですよ。

—ソロライブで、絶叫系連続だとなかなか辛いですね。

でもやりましたよ。ある程度、普通のライブをやってますね。「普通のライブ」って変ですけど(笑)。19時くらいから21時半くらいまでやって、そのあと24時から朝までやって。そういうのやりましたね。それ2年間で2回くらいですかね、それやって、普通のライブもやったんですけど。まあ絶叫系もやるんですけど、どっかでベース配分しちゃう。そういうのはバンドの編成は変わっても、僕だけ変わらないで「朝までライブ」やりました。主題歌関係になってくるとね、ほとんどそういう「ゴオー!」っていう感じになってくるんですけど。

—お客さんのほうも期待して聴くわけですからね。「宇宙刑事ギャバン」の歌で急に力抜かれてもね(笑)。

そうですね(笑)。体力ありますね。

—途中で、少し力の抜けるバラードなどの持ち歌が少ないですよ(笑)。「宇宙刑事ギャバン」のエンディング・テーマ「星空のメッセージ」がそうですね。でもその後、また



◆アニソソ界をリードし続ける渡辺明氏(右)が音楽監督。主題歌は水木一郎氏、堀江美都子氏、串田アキラ氏が参加と、まさにドリームチーム!!

「ガアーン!」っていう歌がいきますからね(笑)。

—バラードは歌い方が変わりますか？全然違いますね。「星空」の時もやっぱり哀愁がありましたから。ジーンとしてもらえるんじゃないかなって気がしますし。

—これまで歌ってきた中で、一番印象に残っている曲は何ですか？はじめてアニメや特撮ヒーローものに入ったときは、ほんとうに大変でした。自分の気持ちが切り替えられなくて。というか全然わかんなくて。それで、最初に歌ったのが「太陽戦隊サンバルカン」だったんですけど、その時は何もわからず、ただ必死になって歌ってたっていう感じでした。強いて言えば「宇宙刑事ギャバン」ですね。「ギャバン」のとき初めて「ああ! これだよ!」っていうのがあったから、自分の中ではずっと残ってますね。そこからだいぶ自分なりに解ってきたっていう感じですね。

—そのあとは楽しんで歌えましたか？そうですね。カタチっていうか、形態の違ういろんな曲がありますけど。こういう風に取組んだら良いのか、っていうのが考えやすくなったですね。言われたことが少しずつわかってきたのはそのころ。それまでわからなかったですよ(笑)。「カッコよく歌ってくれ」って、その「カッコよさ」が、どういう風な「カッコいい」なのかかわかんなかった(笑)。だから、ただ譜面と資料もらって、そのまま歌えば良いってことじゃないんですね。作品の特徴を出したり、曲のイメージもありますから。振り返ってみると、「カッコいい」ってこういうことかって後でわかったって感じでしたね。

—作品そのものが主題歌に引きずられることもありますよね。—

—そういえば、「ギャバン」のとき、初めて出演俳優さんが来てくれて。そのときは気合が入りましたね。すごいカッコいい人が来るな、って。「よし! やったる!」っていう感じですね(笑)。

—小さい子は、ヒーローを演じてる俳優さんが歌っていると思えますからね。

—そうですね。だから歌っていると「今度、宇宙刑事と会えるんですよ!」とか言われますね(笑)。

—毎回、宇宙刑事に会って歌っていると聞かれていますね(笑)。

—そんな感じはありますけど。でも夢があったいいですよ。だから小さい子を裏切っちゃいかな、と思って。そこがおもしろいですよ。

—最後にセカンドシーズンに向けての、意気込みなど、メッセージをお願いします。

—前作はオープニングで、セカンドシーズンはエンディングですけど。目いっぱい、自分の気持ちを出して、歌います。えー、みなさんついてきてください!

—ありがとございました。

渡辺宙明氏 インタビュー

「アニメ音楽界の巨匠が、主題歌、宙明節、自らのルーツを語り尽くす!!」

今回のエンディングは、宙明節なしで作りました

「神魂合体ゴードンナー!!」の音楽を担当された経緯からお願います。

連続テレビアニメは、10年ぐらいやってなかったんです。そこへアニメーターの方たちが私でと。コロムビアもそれをOKして。アニメのスタッフの人たちは、だいたい私のファンの方が多いというか、特にメカ作画監督の、まさひろ山根さんが私の音楽が好きで、ほかのロボット描いている時でも、私の音楽を聴きながら描いているらしいんですね。

主題歌が今回、串田アキラさん・水木一郎さん・堀江美都子さんですが、人選は渡辺先生がされたんでしょうか?

いや、エンディングだけは堀江美都子に歌わせたいと決めてたらしいんですね。それで、オープニングは串田さんということで。たぐさんいい仕事してますしね。パンチがあつて、まず間違いない。じゃあ水木さんは堀江さんとデュエットにしよう。

作曲するにあたり歌われる方々のイメージは考えていましたか?

オープニングは串田さんだったら、こういう感じがピッタリだとイメージして書きました。エンディングは堀江さんらしいものでと注文が出たんです。『ビュナスAの歌』っていうのが『グレートマジンガー』の挿入歌にありまして、あんな感じでした。

オープニングのボイントはどこですか?全部ボイントになるんですけどね。Aメロ、

Bメロ、Cメロで出来てはいるんですけど、Aメロの部分も、いわゆる今までの私のやり方と入れながら、かなり変えているということ。それから、Bメロの部分は、メイジャーに転調するんですけど、そこでちょっと違ったコード進行を使っているという。さらに、コード進行のところも、Bメロは、今までのやり方のように、メイジャー転調するんだけど違う。Cの部分も、最後に盛り上がるやりかたで、得意なフレーズを使うんだけど、さらに盛り上がるように持っていく。それから最後に、「ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ」となってますね。それは歌詞がね、最後に「神魂合体ゴードンナー!!」と入れられるようなメロディーにしてくれと言うんで、

「神魂合体ゴードンナー!!」じゃアレだから、「神魂合体ゴードンナー!!」と入れられ、「ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ・ゴ」という風に持ってたんですね。その「ゴ・ゴ・ゴ」のところは別に「ゴ」じゃなくて「ゆけ」って言うてもらってもいいんですけどね。作詞家が「ゴ・ゴ・ゴ」と入れてきちゃったんでね。

まさに「宙明節」ですね。

若い作詞家は、昔の歌も作詞家はその詞を書いたと思ってるんだよね。そうじゃないんだよ、私が勝手にやっている場合があるんですけどね。たとえば「グレートマジンガー」の「タッシュー タッシュー タン・タン・タ・タン」。もとの詞はね、「タッシュー タッシュー スクラブル・タッシュー」なんです。それだけだとメロディーがちょっと足りない。だから「タン・タン」になりま

した。

「タン・タン」は、渡辺先生が作られたんですか?

そういうことなんです。「秘密戦隊ゴレンジャー」でも、もとの詞は「誰がつけたか俺達は、秘密戦隊ゴレンジャー」。歯切れよくやりたいと思ってね。「だれが、つ・け、たか、お・れ、ち・は・は・は」これでいけるんだけど間があいちゃうから、「だれが、オ・オ・ツ」ってやった方がこよくなる。そういうことが、自分じゃ得意だったんです(笑)。

歌詞まで含めて「宙明節」なんです。

かけ声は後でつけた場合が多いですね。隙間をそれでうめていく(笑)。

それではエンディングのボイントはどこになりますか?

よく堀江さんと水木さんとコンサートをやることありまして。デュエットの曲が非常に少なく、「マグネロボ ガ・キーン!!」とか「破邪大星ダンガイオー」とか、それくらいしか曲が無いので、今回はデュエットの曲にしてほしいと。それで、水木さんには主にハーモニーにまわってもらった。もちろん交代でAメロ・Aメロ、Bメロ・Cメロという形式があった場合に、繰り返し部分は水木さんが歌う。2番は逆に歌う。最後はハモ。という風に作ったんです。

私の場合「宙明節」というくらいに、何かどこか共通点がある、クセのあるメロディーが多いし、またそれをやらないと聴くほうも満足できない。まったく別の傾向の曲にしてしまっただけだろというので、それで

いつも苦心するんですけども。今回のエンディングは、そういうのは無しで作りました。常に自分の思い通りの曲は作っていますが、今回は特に思い通りの曲が出来たと思います。反対に、オープニングの曲作りというのは、材料がだいたい決まっています。そのなかで新鮮味を出さなければならぬ。そうじゃないと「まてよ、これ。一回使ったことあるんじゃないかな」って。そういうことはよくあるんですよ(笑)。

あるとき「映画音楽の作曲家になりたい」って

渡辺先生が目指した音楽や、尊敬する作曲家はいらっしゃいますか?

戦前だった中学生時代、アメリカ映画が流行っていたときがあったんですね。「こういう映画音楽っていいな」って。私は、まだその当時は音楽家になろうなんて思ってもいなかったです。そのときはハーモニーを吹いていたんですけど、あるとき「あ、作曲家になりたいな」「映画音楽の作曲家になりたいな」っていうことを考えて。それから終戦を迎えて、大学行っている時に親父が死んだ。こりや大変だということ、勉強中だったけど、中部日本放送に行って、ラジオドラマの作曲の仕事を始めました。だから、そのときに目指した作曲家っていうのは特にないですね。アニメの仕事始めたのは、だいぶ後になるわけでした。その頃には、いいなあと思う作曲家が何人かいました。たとえば、エンニオ・モリコーネ。それからフロ・シフリン、

『乞うご期待、是非聴いていただ』

PROFILE

8月19日生まれ。東京大学心理学科卒業。クラシックの作曲を園伊玖磨・緒井三郎の両氏に、ジャズの作曲を渡辺貞夫氏に師事。CBC（中部日本放送）のラジオドラマ『アトムボーイ』の音楽でプロデビュー。1966年、中川信夫監督の『人形佐七捕物帖 妖艶六死美人』で、初の映画音楽を手がける。6人のギター奏者による斬新な音楽が評判を呼び、以後、新東宝の看板のひとつでもある怪談映画や時代劇、活劇など、正攻法のクラシックからジャズまで作品に併せた幅広いアプローチで多数の作品に音楽を提供する。そのほか日活、東映、大映といった大手各社から独立プロの作品にも参加、山本薩夫監督の『忍びの者』の音楽では、仏教の声明を取り入れ、毎日映画コンクール音楽賞にノミネートされる。

また、映画音楽と併行して70年代後半よりテレビドラマの音楽にも進出、130本続々大ヒット作品となった『忍者部隊月光』や、山本薩夫監督『ある男の記録』で注目を集める。70年代は、テレビドラマを活躍の中心に据えるようになり、72年『人形人間キカイダー』と『マシンガンZ』に参加、ブラスロックのテイストを取り入れたパンチの効いた音楽で一躍脚光を浴びる。以後、パワフルなプラスの響き、パンチの効いたリズムを持ち味として『秘密戦隊ゴレンジャー』～『大戦隊ゴーグルV』までの戦隊シリーズや、『イナズマン』『アクマイザー3』『大鉄人17』『スパイダーマン』など、第一人者として、その手腕を遺憾なく発揮。82年には『宇宙刑事ギャバン』の音楽を手掛け、ストリングスを大編に取り入れたサウンドで新境地を開拓する。以後『宇宙刑事シャリバン』～『時空戦士スピルバン』までのメタルヒーロー路線の音楽を制作。80年代後半からは、『破邪大星ダンガイオー』といったOVAにも進出、続いてゲーム音楽などにも積極的に参加するなど幅広いメディアで活躍。まさに戦後のメディアとともに歩んできた作曲家。公式HP◆http://homepage2.nifty.com/tomo-tomo-room/CHUMEI_HP_TOP.html

クインシー・ジョーンズ、フランシス・レイですね。

—アニメ音楽の仕事をはじめた1960年代、70年代の頃の音楽が中心ですね。

ええ、そうそうそう、それからその前の時期にね『忍者部隊月光』っていうのがあって。ベンチャーズとか、ロックっていうのがまだ比較的新しい音楽っていうか。ロックは戦後すぐに入ってきたわけじゃなくて、だいたい経ってからでしょ？ で、その前にジャズが流行ったことがありますがね。そんな時代でした。それで、『忍者部隊月光』のプロデューサーも監督も、ベンチャーズが好きでね。『トンタン、トンタン、トンタン、トンタン、トン』っていう感じのエレキギターの音が、で、古いギターアンプだと、リバーヴとかかけると、ちょうどおいしい音になるんですよ（笑）。で、『忍者部隊月光』ではちょっとそういう趣向もあったかな、と思えますけど。次に、『人形人間キカイダー』をやらせていただいたときには、ロック的なものもとり入れた感じになりましたね。

生活の音楽が少なくないという気がしているんです

—今回の『コーダンナー』で、書かれた曲が意外な場面に使われたというようなことはありますか？

ありますね。まずね、最初の打ち合わせのときっていうのは、普通の場合、企画書と台本が2、3冊しか出来てないことがありますがね。絵コンテじゃ見にくくてよくわからないし、企画書のストーリーもね、人物が描いてあって、この人物はこういう人物だと、それに簡単なストーリーがちょっとだけ書いてあるけど、わかりにくい。それで、もっと簡単なストーリーを書いてもらって。それは非常に助かりましたね。あと『誰々のテーマ』っていうのも、どういうシーンで使われるんだということをおかなく、とんでもないことになったり。やつぱり、そのシーンを思い浮かべながらやっていかないと。一曲でどこでも使えるわけじゃない。その人物だって悲しみもあれば喜びもあるし、危機

もあるわけですから、どこでも使うやり方をとってもらいたくない場合が多い。やつぱり特定のものとない。

たとえば『剣のテーマ』なんかは、本編で一回も使われてないんですね、剣は10話以降に出てくるでしょ？ でもCDの解説者が間違えて、『剣のテーマ』を『影丸のテーマ』と書いてたんです（笑）。これは訂正してくれなきゃね。あとここに書いてある『影丸のテーマ』っていうのは間違いない。『剣』ですと、どこかで訂正してもらわないと困りますね（笑）。

剣の主な活躍は、セカンドシーズンだと思うのですが。

『剣のテーマ』は、『バババババババババババババババ』って、なんかそういう口笛で吹いているような方が良さそうなのをね、ブルー・ジーな感じのテナーサクソフでやっているとね。『それはちょっと合わないんじゃないかな』って（笑）。アニメ全体のテンポが、ものすごく早いですからね。

実際に作品をご覧になって追加で作曲したいシーンはありますか？

たとえば生活のシーンで、やや軽い部分もずいぶんあるでしょ？ 軽い曲もある程度作ったんだけど、なんか曲が足りない感じが、『愛のメロディ』で、バイオリンソロでやっていると、ふたりが追いかけてこないと、ここに使っちゃってからの、これはちょっと違うんじゃないかな（笑）。やつぱり、そういうシーンの追加が必要かなと。それ以外の中心的なシーンでこれは書かなきゃいけないというのは、今のところ無いですね。

—ところでセカンドシーズンの主題歌やBGMはどのような感じになりますか？

オープニングはね、堀江美都子さんの歌になってますから、ファーストシーズンのような、すごい迫りよりも、ひと味違った感じですが、最後の盛り上げはファーストシ



◆オリジナルサウンドトラック。発売：コロムビアミュージックエンタテインメント。最新作『宙明サウンド』が聴ける。

ーズンくらいありますけど。具体的には女性の声を中心ですから。私自身としてはね、良いと思うし、満足しています。エンディングは、良いメロディを忘れて作り直した。串田さんが歌うと良いだろうなという。乞うご期待と、自分で言うとおかしいですけど、是非聴いていただきたーいものが出来た。BGMは、ファーストシーズンでちょっと足りない部分を補うという感じ。生活の音楽がちょっと少ないかなあという感じがしてきただけ。生活の中でコミックな部分が出てきたり、いろいろあるんです。見ていて、もっと音楽があつたほうがいいという感じがありますね。

—セカンドシーズンでは、ますます音楽にも、乞うご期待ですね。

ミラのテーマとかいろいろありますけど、アレをもう少し手直ししてね、それで、ほかの場面でも使えるように長いものにするということはあるのかなあ、と思ってみたりしますけど。

—楽しみにしています。ありがとうございます。

出演声優ファーストシーズン おつかれさまでしたインタビュー!!

多分、そのたまたまが頼りなかったっていう事でしようか……

「ファーストシーズンを振り返っての感想をお願いします。」

あつと言う間だったっていうのと、けっこうドロドロしたところで終わっちゃってるので、この先どういう風に展開していくのかっていうのが。あと、予告がチラッと流れたと思うんですけど、ゴオが、なんか、髪がのびて「ボロツ」となってたんで、どうなるのかなあと。

「ゴオは、ファーストシーズンは、結局、出演声優陣から評判悪いまま終わったんですかね？」

いやあ、もう、ほんとうにガタ落ちというか……。では、初めてこの役をもらった時の思い出はありますか？

監督がおっしゃるには、その、オーディション現場を見られていて、僕がちょっと頼りない感じがしたと。頼りなさかゴオには必要だと思っていただろう。ゴオが持っている頼りない部分というのを「近藤くんがいんじやないかな」と思ってた（43Pに続く）



◆いくら記憶喪失で幼児退行中とはいえ、元カノとこんなことするのはね……。後半、評判ガタ落ちになったわけだ。



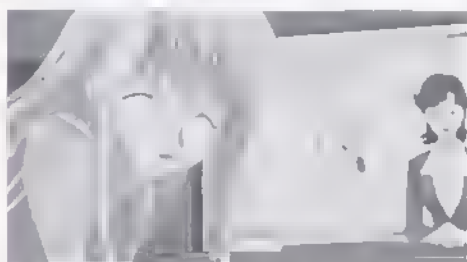
◆霧子に杏奈との結婚を申し込むときには、こんなに可愛く土下座して、ちょっと男らしくったゴオちゃんだけ……。



◆結婚式当日の、まさに式のその瞬間から、だんな（ゴオ）は妻（杏奈）以外の女性（霧子）からの呼び出しを喰らってしまう。



◆ミラがやってきたことで、どこか家庭内に違和感を感じる杏奈。しかし、それは最も恐るべき形で現実化する。



◆屈託のない天使のような笑顔のミラ。それでも、このころはまだ、狼渡家も幸せだった……。



◆5年前、ゴオを守るために自らの身を捨てた決心をしたミラの眼差し。こんなとき、杏奈ならどうしただろうか……？

近藤孝行

(猿渡ゴオ役)

中原麻衣

(猿渡杏奈役)

久川 綾

(ミラ・アッカーマン役)

結局「なーんだ！ 昔の彼女も乗ってるの！」みたいな感じで(笑)

「ファーストシーズンを振り返っての感想をお願いします。」

やっぱり、最終話を見ていて、「あー、なんでこうなっちゃったんだろう」って思ってた(笑)。杏奈ちゃんの気持ちを盛り上げて、盛り上げて、盛り上げて、「よし、これから私たちがやっていくわー」ってなったのに、最終的には、結局「なーんだ！ 昔の彼女も乗ってるの！」みたいな感じで(笑)。それで、最後に予告編というのが付いてたんですけど、「ゴオオクサー発進！」みたいなセリフがあったので、「ゴオオクサー」って何だろうと思って……。新しい口ポットだとすると、私のネオオクサーは？ 私はもう乗せてもらえないの？ みたいな(笑)。そこで少し落ち込んで……すく切なくなっていました(笑)。

「すく切地獄な見方をすると、西京って結局、成長しなかったってことですね。ずっとゴオの背中に見守られて、助けてもらって……。」(43Pに続く)

杏奈ちゃんがショックを受けるほどゴオと息を合わせたいと

「ファーストシーズンを振り返っての感想をお願いします。」

まず1話目に出番があつて、その後、ずいぶんお休みだったので(笑)、それがちょっと……。『いつなんだろう、いつ出番が来るんだろう』って、待ち焦がれていたんですね。「やっと出番があるー！」って思ったら、「あー、うー」でしか表現できない、赤ちゃんのような状態で(笑)。セリフらしいセリフが、最終回で、初めて必殺技をまともに使ったっていう……。自分の中では、そのセリフもすくく短くて、物足りなく、でも与えられた課題は難しかったので、すくく消化不良(笑)、もっと演技がかったっていうのが正直なところなんです。

「ミラの活躍はセカンドシーズンを待つ期待ですね。一枚目のCDドラマで、やっとまともなシーンが(笑)。人間らしい事をしゃべってたので、セカンドシーズンを楽しみにしています。」

赤んぼうのように、小さい子っぽく(43Pに続く)

『神魂合体ゴードンナール!!』ファーストシーズン、全13話を全力投球してきた声優のみなさんに、想い出の数々を語ってもらった。

『個人的にはやっぱり、杏奈や忍とケンカしているところが好きですかね』



PROFILE: 近藤孝行 (こんどうたかゆき)
6月5日生まれ。東京俳優生活協同組合所属。主
な代表作: 『遊☆戯☆王デュエルモンスターズ』
(本田ヒロト役)、『テニスの王子様』(大石秀一郎
役)ほか

セカンドシーズンが始まる前に
『ゴードンナー!!』仕様にしようよ

「オの名場面といえはどこでしょうか? 印象に残
っている話がありますか?」

インパクトがあったのは、1話の杏奈と合体したくな
いっていうか、杏奈を戦わせたくないっていうシーンで
すね。葛藤しながらも、「バカちゃん!!」と言われながら
「うおおお!!」って雄叫びを一発あげて、合体してしま
う。ああいうところは、すごくインパクトがありまし
たね。あと個人的にはやっぱり、杏奈や忍とケンカして
いるところが好きですかね。

全13話の中で、好きなエピソードはどれですか?
8話ですかね。あれですよね。忍がおもいっきり、す
ごい岩を落とってくるんですよ。「バスコーン!!」っ
て。2階くらいから。「殺す気か!!」って。「こめん
て(笑)。ああいうシーンは見ていてももしろいです
ね。シリアスなのでは、やっぱり、12話の静流さんが死
んじゃうところ。なんか俺がだらしなげに……、
みたいなところですね。そこが一番印象に残っています。
では、4月からのセカンドシーズンに向けて、抱負
と意気込みをお願いします。

ファーストシーズンが終わってから、セカンドシ
ーズンまで、演技のモードを「ゴードンナー!!」仕様に戻す
というか、もともと喉がそんなに強くないので……。セ
カンドシーズンが始まる前に、声をちゃんと「ゴードン
ナー!!」仕様にしておこうと思います。あとは、脚本が
来るのを楽しみにして待つて、それを一生懸命やるだけ
という感じです。

——ありがとうございます。

『ゴオが最初よりも好きだから、ハラが立つというか。』



PROFILE: 中原麻衣 (なかはらまい)
2月23日生まれ。アイムエンタープライズ所属。
主な代表作: 『美鳥の日々』(春日野美鳥役)、『おねがい☆ツインズ』(宮藤深衣奈役)、『光と水
のダフネ』(水樹マイア役)ほか。

喜怒哀楽がはっきりしていて、ふつ
うの女の子なところが好きですね

作品の「ス」はどことだと思えますか?

動いている絵もメチャクチャカッコいいですね。あと、
パイロットスーツ。ボッキュー。ボン!!って感じで
スゴいですね(笑)。

杏奈の好きなところや、嫌いなところはどこでしょ
うか?

杏奈の好きなところは難しいんですけど、大人っぽか
ったり、子どもっぽかったりするので、どこがいい部分
なのかっていうのはわかんないんですけど。歳相応って
いうか……。強くもあり、弱くもあり、何か喜怒哀楽が
はっきりしていて、ふつうの女の子なところは好きです
ね。演じていて、もどかしいところは、いっぱいありま
すけど(笑)。でも、それは杏奈のせいではなくて、ゴオ
のせいなんです(笑)。ゴオが最初よりも好きだから、ハラ
が立つというか。だから杏奈の嫌いなところはないです。
ゴオ、しっかりしろって思いますね。

では、4月からのセカンドシーズンに向けて、抱負
と意気込みをお願いします。

ファーストシーズンの最終回で、予告がついていたと
思うんですけど、私たちがこの先どうなるんだろう?
というのがすごく楽しみです。まず「ゴオオクサー」っ
て何だろう? っていうのと、ルウの「私をにぎって」
というセリフも、すごく気になるし(笑)。なので、ぜひ
新しい展開を期待していただきたい。ゴオに対してのメ
ッセージは、フラフラすんなよ(笑)。もっと杏奈を見
て下さい(笑)。

——ありがとうございます。

『心意気はたくさんあるので、みなさん楽しみにしてください!』



PROFILE: 久川 綾 (ひさかわあや)
11月12日生まれ。青二プロダクション所属。主
な代表作: 『美少女戦士セーラームーン』(水野
亜美役)、『ああっ女神さまっ』(スクルド役)、『
カードキャプターさくら』(ケルベロス役)

強くてケナゲな女性だなというこ
ろが、すごく好きですね

好きなところや嫌いなところは難しいですね。

うん(笑)。最初に彼女が戦死のようなかたちを遂げ
ちゃったときに、「こは私が引き受けるから、とにかく
く、あなたがトドメを……。」っていう、その、彼女の
覚悟とか、「一瞬ですけども、やっぱりそれを見ると、
『死の前か』っていう意味では、すごく強く、ケナゲ
な女性だなーっていうのは、なんだかすっごく好きなん
です。

——一体どういう心理状況で、いかつい男を、スラッ
とした金髪のキレイなミフがそこまで愛したのかなって
いうのも興味深いですよね。

そっか、まあでも、それはなんか最初っからもう、そ
ういうものとしてという演技でのインプットの仕方だっ
たので、でも、ちょっと静流さんが亡くなったたりした時
に、「好きだったんだ」とかって言うって、「なんで、ゴオ
はそこまで主役なのか?」って、それは、私のなかで
も疑問として(笑)。それで、私は最初っから恋人だった
というのが……。うん、どうしてですかね(笑)。

では、4月からのセカンドシーズンに向けて、抱負
と意気込みをお願いします。

心意気は、もったくさんあって、とにかく、あの、彼
女が何を考え、何をどういうつもりでいるのかと、それ
から、実はどういう人で、何者なのかっていう部分も多
分、明らかに思うので、そのあたりは、私のなか
でも楽しみにしています。なので、ぜひ、みなさん、そ
れを楽しみにしていただければと。がんばります。

——ありがとうございます。

清水香里

(ルウ・ルー役)

ルウの好きなところは、若いのに、しっかりして、芯を持っているところ。ファーストシーズンを振り返っての感想をお願いします。

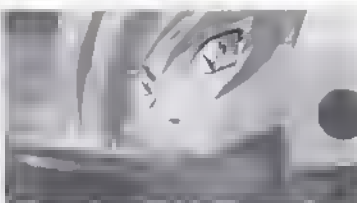
ルウにしても杏奈にしても、「えっ！そこまで終わっちゃうの!?」っていう展開で終わってしまっていて、ホント続きがどうなっていくのだろうと……。あと、予告でルウは「わたしをにぎって!!」って言ってたので(笑)。その真相を、実はちょっと聞いたんですけど、どんな感じになるのかも気になります。

ルウの最初の印象はいかがでしたか？

実はオーディションでは、ちがう役を受けてまして、それがダメでして、「あーダメだった!!」と思ったら、その後で「テープを送ってください。」って言われて、ルウのセリフを読んで送ったら「決まりました!!」っていう感じだったんです。

ルウって、けっこう情がこもりますよね。

あっっっっ！そうですね、そういうところが似てるのかなあ(笑)。ルウの好きなところは、一番若いのにしっかりして、芯を持っているじゃないですか。お父さんが死んじゃったけど、そのカタキを討つためにロボットの操縦を早く覚えようとしてがんばっているところとか、ほんとすごいし、いいなと思います。嫌いなところは、頑固すぎるんですかね(笑)。子どもですからね、ホント子どもなんです。強くなりたいっていうのはわかるけど……。「今は我慢しなきゃいけないとこだよ!!」って思いながら、演じてたりしますね。(46Pに続く)



◆コスモベースで父ロウ・ルーと一緒に、司令セシジョンのオペレーターをしていたころのルウ。



◆剣との出会いは、ルウにとっても大きな転機となった。果たして彼女にとっての剣とはどんな存在なのか？



◆ふだんは表情豊かとはいえないルウだが、父の仇を目にしたときには、激しい感情をほとばしらす。



◆昔のゴオにセクハラされている静流(笑)。「顔が怖い!!」って言われたら、素直に怒ったほうが良かった。



◆こんなに可愛らしくなたときには、ときすでに遅し。憧れのゴオには、全霊美人のカノジョが……。



◆なんとか自分の気持ちを伝えたとときには、すでに瀕死の状態で。しかしこの後、復活。がんばれ！静流!!



◆「結婚してください」というセリフは、完全にマジだったのに、「おもしろい」で済まされて、哀れ……。



◆ナイスバディの美人に囲まれているのに、誰も恋のことを、男として認識していないと哀れ……。



◆静流姉さんは、ゴオとの恋がダメな感じなので、飯想的に恋を弟扱いしてるよね……。哀れ……。

かかずゆみ

(藤村静流役)

演出の方に「ちよっと死ぬから!!」って、笑いながら言われて(笑)

ファーストシーズンを振り返っての感想をお願いします。

まさか最終回前に、静流があんな運命になるとは思わずに一生懸命、強く演じてきたので、強い女性ならではの結果に、ビックリしましたね。演出の方には「ちよっと死ぬから!!」って笑いながら言われて。意味がわからなくて(笑)。それでまたあのセリフ(私を誰だと思ってるのよ!!)で戻ってきたのが静流らしいなど。

——この役を初めてもらったときの、オーディションなどでのエピソードはありますか？

私はテープオーディションだったので、静流が戦ったりしているときのセリフでも、前後の細かい設定がない状態でした。「こんな感じでいいのかな?」と不安なままのオーディションだったのですが、静流に決まったと聞いて、すごく嬉しかったです。その後すぐに、イベントがあつて、長岡康史監督と一緒にステージに出て、何もわからないまま、何を話したらいいんだろうと。こんなにオモシロイ作品だった、あるとき知っていたら、もっとアピールしてましたよ!!(笑)

——静流は難しい役ですよ。ゴオにとっての彼女でもないし、愛さんでもないし。

静流は、いつでもゴオのことが好きなので、だから、ゴオを応援というか、いつでも味方してると思うんですけど、客観的に「女性として見たときは、杏奈ちゃん切ない!!」って思っちゃいますね。(46Pに続く)

皆川純子

(猿渡忍役)

セカンドシーズンは、皆川純子的には『忍ダンナ』になってほしい!!

——ファーストシーズンを振り返っての感想をお願いします。

忍はですね、全13話見ると、戦いとかシリアスな部分に關係なく、ギャグ担当だったんですけれど。予告で、「僕、兄さんみたいになりたい!!」って言ってたので、とうとう忍っちも動くのか? っていう予感がします。全体の話が「なんだ、どうなっちゃうんだコレ!!」っていう、気になる終わりかたでしたし、忍的にも、「おやおや? ちよっと一度むげちゃうのかな?」っていう感じだったので、楽しみにしています。

——忍の場合はファーストシーズン後半に、活躍キアラという感じですかね? 最終話でかなり出て。この際、お兄さん押しつけて……。

ええ。皆川純子的にはそういう気持ちなんですけど(笑)。「忍ダンナ」になってほしい。

——この役を初めてもらったときの、オーディションなどでのエピソードはありますか？

最終回で流れた「兄さん……僕は、最果ての地に……」。あそこが、オーディションの部分だったんです。で、「北の国から」の純君風に演じました(笑)。それでマネージャーから「決まったよ!!」ってメールをもらったんですけど、ついでに近藤くんも主役決まったって言われて。それで近藤くんは「よかったじゃん!!」って言ったから、「ほんとっスか? ほんとっスか?」って。でも、私から伝えちゃったのか……。(46Pに続く)



◆「結婚してください」というセリフは、完全にマジだったのに、「おもしろい」で済まされて、哀れ……。



◆ナイスバディの美人に囲まれているのに、誰も恋のことを、男として認識していないと哀れ……。



◆静流姉さんは、ゴオとの恋がダメな感じなので、飯想的に恋を弟扱いしてるよね……。哀れ……。



PROFILE: 清水香里 (しみずかおり)
5月21日生まれ。フリー。主な代表作:『serial experiments lain』(岩倉玲音役)、『ブギーポップは笑わない』(ブギーポップ役)、『ストラトス・フォー』(土井静羽役) ほか。

『12歳から大人になって、成長をして、にぎられます!!』

剣と出会って、ルウが強くなったな
っていう気がしました

まわりが子どもとして扱えるのも問題ですね。そうですね。多分、ルウ的には、きっと対等に見えても、早くロボット操縦を覚えたいんたと思ってるけど。でも、CDドラマのほうで、ズル買いたっていうか、ロボットの操縦マニュアルをルウが見てたときに、森本と林が温泉に行く計画を立てているのを見つけちゃって、ほんと、ロボット乗りしか見ちゃいけないものをふたりに見せてもらったりとか。そういうところはなんか、実は、計算高い頭のいい子なんだなって。

印象に残るシーンやエピソードはありますか?

お父さんが死んじゃうシーンで、「私も行くー!!」って。それで死んじゃったお父さんを見た時のシーンは、印象に残ってます。その後、剣と出会って……。すごい年齢差もあるし、不思議な感じだけど、なんかすく、ルウが剣を慕ってるんだなってわかるシーンがあって、あのあたりでルウが強くなったっていう気がしました。

『汚れた正義感』をやっているときですね?

マリア様の前で会うシーンとか印象に残ってますね。「レオン」風にかんばってます。

そんな雰囲気でも、打ち合わせていたんですか?

剣役の大川透さんとは打ち合わせていないんですけど、監督からは、「レオン」風だよ!! って笑。

では、4月からのセカンドシーズンに向けて、抱負と意気込みをお願いします。

きつとセカンドシーズンになったら、ルウも精神的にも大人になっていくと思うので、それにもとない、香里も一緒に成長していきたいなと思います。

ありがとうございます。

『好きなところは、戦っているときのかっこよさですね』

友達以上恋人未満の幼なじみで、
ちょっと懐かしい感じですね

「ゴオちゃんっかりしろよ」って(笑)。

一途に思っ気持ちは、女性として理解できますか?そこは割り切れる人と、割り切れない人がいると思うんですけど。静流の場合は割り切って、ゴオに対する気持ちを出さずに、「友情」というか、仲間として支えていくんだらうなあと感じます。

杏奈よりも「ゴオ」のことをよくわかってるというところ、静流は、ちょっとだけ優越感を持っていますよね。

一緒に育ってきた幼なじみみたいで。幼なじみって、ふつうの友達とも違う、恋人とも違う、絆っていうか。異性の幼なじみってそういうのがあったりするから、そういう気持ちじゃないかなって思いますね。友達以上恋人未満……。この響きちょっと懐かしい(笑)。そんな感じだと思っています。

静流の好きなところはどこですか?
好きなところは、静流の戦っているときのかっこよさですね。目がキツとする強い女性。中身はわからないですけど。あと、ゴオへの気持ちは割り切っているようにみせて、意外と繊細だったりするところも(笑)。

では、4月からのセカンドシーズンに向けて、抱負と意気込みをお願いします。

静流も復活したことで、セカンドシーズンにもいるな、と安心したところで、また、お話のおもしろさ、ストーリーのテンポの良さほか、私たちも楽しみにしているところが、たくさんあります。皆さんも、今まで以上に、もっと期待していただいて、間違いないと思います!!

ありがとうございます。



PROFILE: かかゆみ
6月18日生まれ。元氣プロジェクト所属。主な代表作:『ラスター・プリンセス』(春歌役)、『ダイバーゼンス・イヴ』(紅葉みさき役)、『ストラトス・フォー』(本庄美風役) ほか。

『忍は忍なりにノリ良くがんばっています』

「こいつ腹黒えー」っていう
ところが名シーンでしょうか

忍はキャラ的に「おいしい」役ですね。

おいしいですね。すごく楽しませてもらってます。忍以外にも、びんびんとか、実は兼役があるので、私もすごく楽しみに演じてます。

忍という「ゴオ」を何回か確信的に殺そうと……。本気ですから(笑)。杏奈ちゃんを手に入れるためなら……。

予告でせめて早く「ゴオ」を殺してませんか?はい、電気ショック!!(笑)

忍のことはキャラ的にお気に入りですか?

彼は深く掘り下げられていないので、どこが好きか嫌いか言えないんですけど、ただ単に彼のノリが好きだし、嫌いなのところも、今のところ見当たらないうすね。

「ベスト・オブ・忍」シーンというところですか?杏奈ちゃんの裸を見ちゃった時の忍ですか(笑)。「きー!!!」っていう叫びですね。あと「ふっ」で、鼻で笑う。「こいつ腹黒えー」っていうところが名シーンでしょう。いちばんみんなの身体を見てるからね!ミラのも、杏奈も見てる。そこがおいしいですね。何やってんだっていう(笑)。皆川純子として考えると、やっぱり静流のシーンが一番好きですね。あとは、誰が誰とラブモード? みたいな推理がおもしろいですね。カッブリングが多いんですね。

では、4月からのセカンドシーズンに向けて、抱負と意気込みをお願いします。

りっぱな口ポ乗りになるべく日々精進します(笑)。ホントに口ポ乗るかどうかは謎ですけどね。でもまあ、忍は忍なりにノリ良くがんばっています!!



PROFILE: 皆川純子 (みながわじゅんこ)
11月22日生まれ。東京俳優生活協同組合所属。主な代表作:『デニスの王子様』(経前リョーマ役)、『hack//〜黄昏の腕輪伝説〜』(シューゴ役)、『無人惑星サヴァイブ』(シンゴ役) ほか。



メインスタッフへ



直撃!インタビュー!!

『神魂合体ゴダンナー!!』を世に送り出した最強スタッフに、ファーストシーズンの思い出や、すでに制作真っ最中のセカンドシーズンの見どころなどを直撃!!

PROFILE:

(ながおかやすちか) 1959年12月14日生まれ。
代表作: 『新キューティーハニー』『アイドル・プロジェクト』『星界の紋章』『星界の戦記』(いずれも監督) ほか多数。



★個人的にはとくに大きな胸にこだわりのないとのこと。でも、酒井若菜さんは好きだそう。



★監督いちおしの美少女ママ。女手ひとつで古巣を育て上げた、自立した強い母親の典型。

監督

長岡康史

『神魂合体ゴダンナー!!』のテーマはズバリ「家族」です!!

この作品に参加することになった経緯は? 知り合いのプロデューサーのご指名で企画書をもらったのがきっかけです。

この作品のテーマはズバリ、何ですか?

「家族」です。

作品を演出する上で気をつけていることはありますか?

作家性を出せるだけ出さないこと。照れないことです。

女性キャラのミニや大きな胸は監督のご指示ですか?

生きる男たちに言葉はいりません! 電波で、すべて通じ合えます!!

好きなキャラクターは?

響子お母さんです。自立した女性が好きなんで。

お気に入りのロボットは?

描きやすいのでコスモダイバー。ちなみにコスモダイバーの目の下の水色のラインは、涙のイメージです。

お気に入りの機體は? 一着、付き合っている。

セカンドシーズンはどんな展開になるのでしょうか?

よりバラエティー色が強くなるでしょう。そしてアクションも多くなります。

読者にメッセージをお願いします。

Hですみません……。クレームはすべて私にお願いします。

PROFILE:

(かわさきひろゆき) 1965年11月17日生まれ。
代表作: 『元氣爆発ガンバルガー』、『勇者警察ジェイテッカー』、『黄金勇者ゴルドラン』(いずれもシリーズ構成・脚本) ほか多数。



★川崎さんがお気に入りのロボット、エカテリーナ様のヴァルスビナー。



★虫系・機體は地上の機體は嫌い。虫のちやうどワラに憑いて出てきた。

シリーズ構成・脚本

川崎ヒロユキ

グランドフィナーレまでハイテンションでがんばるので、よろしく!!

この作品に参加することになった経緯は? 当初は「お手伝い」でしたが、気がつけば「シリーズ構成」でした。

キャラクターのセリフを考える上での注意点などは?

どんなに短くても、そのキャラクターがしゃべっているという独自性を気にしています。

もっとも苦心したエピソードなどはありますか?

どの話数も難しいです。監督の中にある「物語」を掘り出す作業なので……。

胸やお尻が揺れる演出を、脚本で意識されましたか?

フィルムで初めて観て驚きました。シナリオでは特に意識しておりません。

好きなキャラクターは?

藤村静流さん。成長の度合いが著しいから。

好きなロボットは?

お気に入りの機體は?

ルウのカタキの「イモムカデラー」(仮名つ)が思いつき。

ここを見ろ! というような見どころはありますか?

自分のシナリオではないのですが、やっぱり1話。

読者へメッセージをお願いします。

グランドフィナーレ(ラスト)までハイテンションでがんばりますので、どうぞよろしく!



PROFILE:

(きむらたかひろ) 1964年5月19日生まれ。
代表作:『勇者王ガオガイガー』、『ベターマン』、『BRIGADOON まりんとメラン』
(いずれもキャラクターデザイン)

キャラクターデザイン 木村貴宏

—この作品に参加された経緯は?

この企画に誘われたとき、監督に長岡さん、メカに山根さんが内定していて、そのスタッフなら面白いものになると確信して、苦勞されたキャラはあります。

—猿渡杏奈はコビない表情と尻。ルウ・ルーはコビない表情と微笑。ミラ・アッカーマンは今後の課題です。

—女の子のミニスカや大きな胸は監督の指示ですか。

—もちろんです。常に机の向こうから電波が飛んできます。

—好きなロボットは?

—ゴッドダイナー。足がかわいい。

—好きな擬態獣は?

—12話に登場したクリオネみたいなやつ。トラジマがかわいい。

—ここをしろ!というところは?

—5話のボタンが弾けた霧子に反応する影丸。9話の夢から覚めたときに欲情している杏奈。10話で剣に投げ飛ばされたあと、服を直すルウ。

—最後に読者へメッセージを。

『ダンナマン』の活躍に二期待を!



PROFILE:

(まさひろやまね) 1966年4月18日生まれ。代表作:『勇者シリーズ』、『ベターマン』、『BRIGADOON まりんとメラン』
ほか多数。(いずれもメカ作監)

メカニックキャプテン まさひろ山根

—この作品に参加された経緯は?

某プロデューサーに主役メカのデザインをしてみないと誘われて、興味があったので参加しました。

—メカデザインのコンセプトは?

—節の見えないデザインですね。強いていうなら東映ロボットシリーズのようなカッコ良さ。さらにいうならアオシマのプラモデルシリーズを意識しました。アトランジャーとか(笑)。

—監督からの指示などは?

—ゴードンナーはカッコ良く。女性ロボは胸を大きくといわれました(笑)。

—お気に入りのロボットはありますか?

—全部! ヒーローロボ愛ですから!!

—描きづらいロボットはありますか?

—ない! ゴードンナー愛ですから!!

—デザイン上のポイントは何ですか?

—ゴードンナーは頭。ネオオクサーは尻。ゴードンナーTDMは頭の炎。

—ここをしろ!というところは?

—13話ラストの戦闘シーン、1話コナミ(笹暮小波)の「あつ……休むって」のシーン、7話の静流の尻。

—最後に読者へメッセージを。

—セカンドシーズンではロボット同士の対戦があるので、それをカッコ良く描くことが抱負です。ゴードンナーとGゼロガンナーなどの新型ロボも登場します。お楽しみに!!



PROFILE:

(たんだせいじ) 1965年生まれ。代表作:『メトロポリス』、OVA『ファイナルファンタジー』(メカニックデザイン) ほか多数。

擬態獣デザイン 反田誠二

—この作品に参加された経緯は?

プロデューサーの黄樹式悠(A.S.T.A.)さんから話をいただきました。

—担当された擬態獣をお願いします。

—3話と5話に登場する擬態獣を担当しました。また戦闘シーンについてのアイデアを出させていただき、一部採用されたものもあります。

—デザインするにあたって、監督からの指示などはありましたか?

—かなり自由にやらせていただいたのですが、5話のデザイン作業の際、「明確な顔」としての形状が必要だ」という指示に従ってディテールを充実した記憶があります。

—お気に入りの擬態獣はありますか?

—1話冒頭の擬態獣。長く伸びる形状が画面上で映えていました。

—好きなキャラはありますか?

—好きなメカはありますか?

—好きな女性キャラクターは?

—13話のゴードンナーTDM。動きによって表現されたキャラクターが鮮烈でした。

—ここをしろ!という見どころはありますか?

—やはり全エピソードの全シーンを……

—最後に読者へメッセージを。

—どうか楽しみにお待ちください。



PROFILE:

(あききょうま) 1962年3月9日生まれ。漫画家としても活躍中。代表作:『超神娘ダンガイザー』(デザイン) ほか多数。

擬態獣デザイン 秋 恭摩

—この作品に参加された経緯は?

プロデューサーの黄樹さんに召喚されて、担当された擬態獣をお願いします。

—2話、8話、そして10話以降の擬態獣。デザインするにあたって、監督からの指示はありましたか?

—監督のラフがある場合と、こちらからラフを出して選んでもらう場合があります。間に進行さんをはさんで、電話とファックス文通で作業を進めました。

—お気に入りの擬態獣はありますか?

—12話のクリオネっぽくてでかいの。黄色に黒縞だともっと笑いが取れたかも(OK出るかわからないけど)。本物のクリオネの捕食シーンを見てから、一度とこかで使いたかった。

—苦手な擬態獣はありますか?

—13話の融合獣。胸部は展開するは、後頭部は展開するは、設定枚数も増えしまし大変でした。しかし、それを動かす人のことを考えると、たいしたことではないですけど……。

—好きなキャラはありますか?

—霧子ママ。

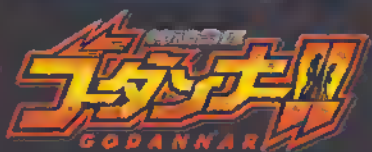
—好きなロボットはありますか?

—ゴードンナーツインドライブモード。頭部から出る炎が良い。

—セカンドシーズンの抱負をお願いします。

—新しい擬態獣がいっぱい出ます!

エピソードガイド



Chapter 04
Episode Guide



第8話～第13話
エンディング
セカンドシーズンへ

華麗なる撃墜王

ユニオンベースのドラグライナーは、飛行する擬態獣と空中戦をしていた。撃墜できると確信したその瞬間、悪夢が兄妹を襲う！

マックスの事件によって、被害を受けたダンナーベースとコアガンナー。その修理で、メンテナンスクルーたちは不眠不休の作業を続けていた。そこに、飛行獣を追っていたドラグライナーから、緊急着陸要請が入った。こうして、ドラグライナーのパイロットのナイトとエリスがやってきたのだ。

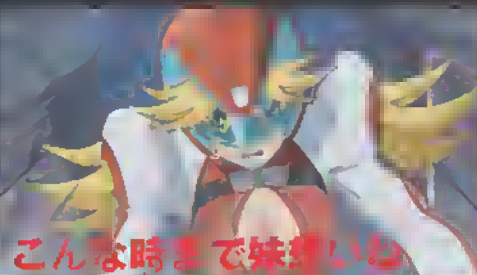
ナイトは、さっそく「撃墜王」のあだ名通り、手当たり次第、女の子に声をかけまくる。ベース間協定により、ドラグライナーを修理しなければならぬメカニッククルー男子は面白くなかった。しかし、ナンパするナイトの真意は、義妹エリスへの想いを表に出さないようにするためのポーズだったのだ。ある夜、海岸へ出たナイトはミラと出会う。ミラ

の不思議な魅力に、ナイトはエリスとミラを混同し、意識しないままミラに口づけしようとしてしまう。

それを杏奈とゴオが発見。ゴオはナイトに殴りかかった。そんなゴオの剣幕に、一抹の不安を感じた杏奈だったが、そのとき、ダンナーベースに飛行獣出現の報が入る。出撃するドラグライナー。そしてメカニッククルーによって、ドラグライナーのエンジンにコピートしたジェットボーイを装備した、ゴードンナーとネオオクスーも出撃。飛行獣とドラグライナー、ゴードンナー混成チームの戦い。その最中、ゴオが不用意に発した「ミラ」という言葉に杏奈が動揺。ふいを突かれたゴードンナーとネオオクスーは、火山島へ墜ちていった。

第8話

ハイライトシーン&名セリフ集



こんな時まで妹想いの

あいつのあだ名知ってるぞ

何！

撃墜王。かっこいい名前だ



手当たりしだいナンパしまくるナイト、困った顔のゴナミ

フレイボーイっぽく、杏奈の手を取るナイトに、ゴオと怒り心頭！



身体も活性化してるぞ

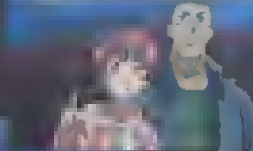
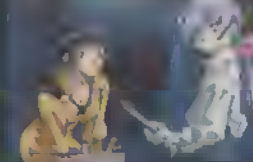
高速飛行する擬態獣を追うドラグライナー。しかし、よつとした油断のために故障してしまった。

ダンナーベースに救いを求めたが、ナイトは相変わらず……

部屋にいないナイトを探して海岸へ来た……

幻に誘われるようにナイトは……

ミラのせいで、杏奈の視線を冷たく感じるゴオ。冷静に見つめるとん子とルウ



兄は、妹の悪夢の夢だけを……



ナイトが、心の底から本当に願っているのは、義妹エリスの幸せだけ……

ミラに手を出そうとしたように見えるナイトに、ゴオは怒りを爆発させる。そんなゴオの姿を見て、杏奈は不安を募らせる。本当はミラのことを、まだ……



過去を思い出そうとしてくれ……頼む

サービスカット



イギリス美少女エリスもやってきて、にわか
に華やかになったダンナーベースだった。

◆美女のいるところ、どこにでも出
現する「撃墜王」さんのおかげで、今
回は楽しいシーンが満載。静流さん
も、3話とは違う水着でプールに現
れてくれたぞ♡



◆やっぱり静流さんといえば、
お民でしょう。今回も魅せて
くれました。まさに「私を誰
だと思ってるの」的ヒップ♡

◆無理やり活動的にするため
の、深いスリットが入ったタ
イトスカートの、静流さんの
チャームポイントのひとつ。



◆こうして見ると、杏奈はま
だまだ子どもだねえ。そして
杏奈と並んでいると、エリス
もちびっこに見えて不思議。

◆元ナイトとふたりきりの部
屋だからこそ、無防備に居眠
りするエリス。確かに寝まし
いね、ナイトくん。



GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター なんと世界には、有名パイロットが乗るロボ
ット以外にも、多数のロボットが存在していた！

◆ファットボーイ

全高19.6m。ベキンベースの対空
戦用ボーイ級ロボット。しかし飛
行獣の前ではただの地を這う虫。



◆空からの敵には鉄壁の防衛を
誇るはずが、1体の擬態獣に全
滅させられてしまった。

◆サンダーボーイ

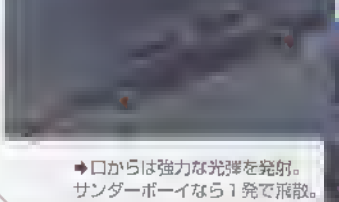
全長32.4m。ボーイ級では屈指
のスピードと攻撃力を誇るが、や
はり飛行獣の敵ではなかった。



◆ジェット戦闘機のラルエット
だが、ドラグライナーと同様に、
これでもロボットなのだ。

◆擬態獣（飛行獣）

生命体というよりも、大型戦闘機
のような姿の擬態獣。ドラグライナ
ーを凌ぐ猛スピードで襲ってくる。

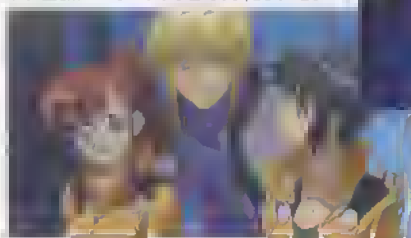


◆口からは強力な光弾を発射。
サンダーボーイなら1発で飛散。

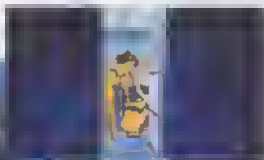
今週の森本&林

稀代のナンバ師「撃墜王」ナイトによって、ダンナーベース
のすべての女性が脅威にさらされることとなった。林さんも、
とん子ともども濡れなく肩に手を置かれたりなんかして……。
でも、おかげで林さんから優しくされたじゃないか。

◆片っ端からナンバすることで有名なナ
イト。当然、メカニック美少女たちにも。



◆いいじける森本。子ども
のようにあやす林。結局、
いちゃついているわけか。



次週予告

ゴオ「察ちやったじゃねえか
よ、自爆王！」

ナイト「撃墜王だよ。」

エリス「ここはどこ？」

ゴオ「火山島だ。どうした杏
奈？」

杏奈「ゴオちゃん、まだミラさん
のことを……。」

ミオ「キクッ！」

忍「兄さんサイテー！」

静流「最低。」

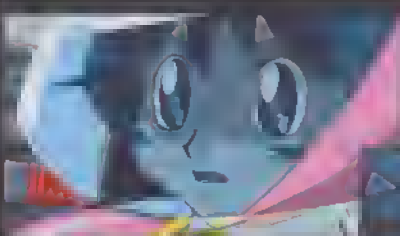
エリス「サイテー。」

杏奈「サイテー。」

ゴオ「もう、やめてくれえ！」

忍「電気ショック！」

ゴオ「うっおはあ！」

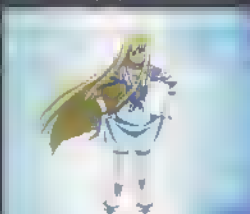


◆ドラグライナーのエン
ジンをこっそりコピ
ーした、ニュージェ
ットボーイ。ギブ・アン
ド・テイクってこと？

◆ゴオは、ミラのことをあきらめていな
い!? 杏奈は大ショックを受けた。

頼むぞ、ミラ!!

◆ナイトを翻弄し、ゴオを感
わずミラ。しかし何もなかつ
たように、水と戯れて……。



◆ゴオの不注意な発言のせいで、
作戦は失敗してしまった。



◆静流の背中を悪い予感が走った。

静流さん、杏奈さん、お願ひします……
お願ひします……お願ひします……!!

ニュージェットボーイです……

流されてサバイバル

飛行獣の体当り、ゴードンナーとネオオクサーは火山島へ墜落。ドラグライナーも飛行獣のプラズマ光弾に撃たれてしまい……。

消息を絶ったゴオたちを探するため、ダンナーベールでは救出部隊を派遣するが、飛行獣によって撃退されてしまい、消息がつかめない。

ゴオたちは強力なジャミングによって、ベースとの交信を絶たれており、さらに飛行獣によって救助隊が火山島に近づけない状況だった。ゴオたちは火山島でしばらく過すことになった。ナイトは、ゴオと杏奈の間のギクシャクした空気を感じ、杏奈が寝た後、ゴオに悩みを話してみないかと声をかける。ゴオとミラ、それに杏奈との関係を聞くナイト。しかし彼自身もまた、エリスとの関係で人知れず悩んでいた。

それぞれ温泉に入る夢を見たり、本当に温泉を見

つけたりしながら、ジェットボーイのエンジンを使って、ドラグライナーの修理をはじめたゴオたち。滑走路は、ゴードンナーがジャングルの切り開いて作るようになったが、火山が活動をはじめ、脱出を急がなければならぬ。エリスのおかげで少し気持ちを整理できた杏奈も、ネオオクサーでジャングルの伐採に参加。ギリギリのタイミングで、ドラグライナーの修理と滑走路建設が完了した。ドラグライナーは再び飛び立つ。するとそのタイミングにあわせるようにジャミングの元凶である地底獣が出現。空には飛行獣も飛来するが、激闘の末、両機獣を倒せた。そしてゴオたちは、コアガンナーで駆けつけてきた静流によって無事救助されたのだった。

第9話

ドラグライナーと名セリフ集

◆機獣に不時着させられた火山島で、ドラグライナーを油まみれになりながら応急修理。

夫婦と兄妹は違うさ……

いいんですよ、そういうキャラだから

◆ゴオが、戦闘中にミラの名前を呼んだことで、いまだにショックから立ち直れない杏奈。

◆炎き火のそばで、ゴオの悩みを聞くナイト。

◆ドラグライナーを発進させるため滑走路を建設。

◆パワー重視型ロボットならではの空戦。

◆エリスは温泉を見、杏奈を誘う。

◆「俺の女に手を出すな」ナイトの言葉にハッとする。

◆彼女たちを愛する男たちのそばで、身（バスト？）を寄せ合って眠る美少女たち。

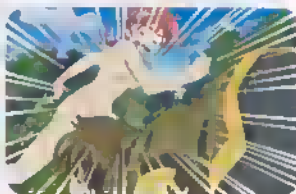
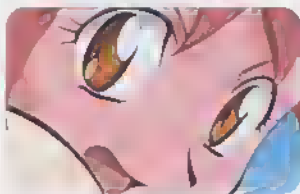
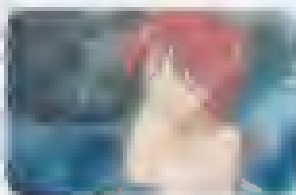
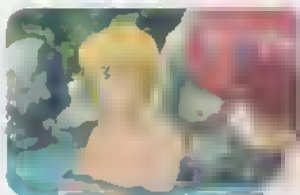
好きで好きでどうしようもないのに、その気持ちを無かったことにして生きていくのって……つらいよな

◆「ハダカの夢を見るのは、人に愛されたいから」。温泉の夢を見た杏奈。しかし、まさかそれが実現するとは……。思わず赤面。

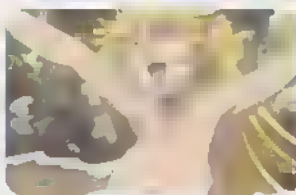
まじッスか……

サービスカット・温泉スペシャル!!

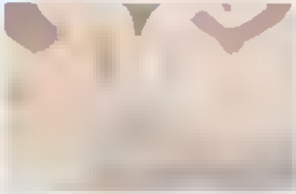
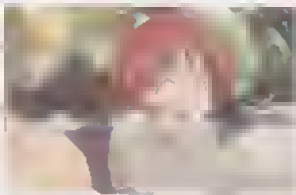
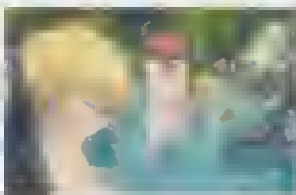
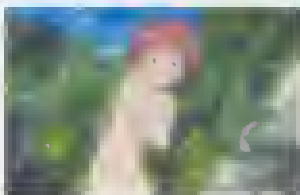
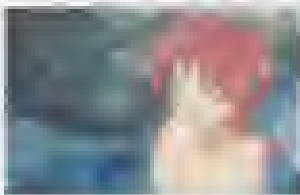
お客さんお楽しみの温泉編!! ナイスなカットも大漁!! 目の保養にどうぞ



◆まずは杏奈の夢の中の温泉シーン。エリスも、杏奈も大胆に振舞っていたのだが、そこにナイトや忍が乱入するという、おいしい展開が。



◆◆そして現実の温泉。さすがに夢のことがあったので、用心しまくりの杏奈。ナイトのお尻も可愛いぞ。



次週予告

ルウ「お願い、私に戦いかたを教えて。」
静流「だめよ、あなたは戦士じゃない。」
ルウ「お願い、私に……。」
杏奈「だめよ、女の子でしょ。」
ルウ「お願い!!」
美子「ダメだ、あんたはおとな

しくしてな。」
ルウ「お願い。」
ゴオ「だめだ!」
ルウ「話ぐらい聞いて。」
ゴオ「ダメです。」
ルウ「いじわる。」
忍「電気ショック!」
ゴオ「うはあっ!」

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター

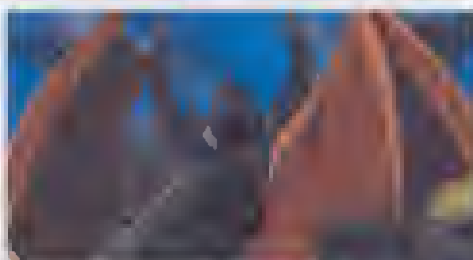
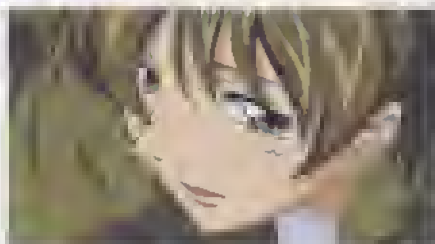
今回は、出番がないはずの人たちが友情出演。おかげで、また忍はおいしい思いをした。



◆藤村静流
パイロットスーツに身を包み、銃を片手に救出に来たという設定。杏奈が、静流に抱いている、怖くて、ちょっと邪魔者なイメージが垣間見られる。

◆猿渡忍

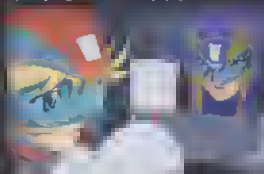
杏奈の想像する忍。ハダカの杏奈を目撃しながらも、鼻で笑って遠い目をするひどいキャラ。これでは、杏奈一筋の忍が不憫。



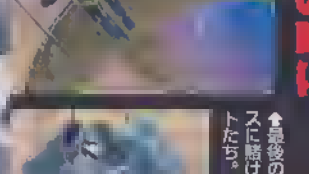
◆◆擬態獣（地底獣）
火山島の地底に巣くっていた擬態獣。強力なジャミング効果のある叫び声をあげる。飛行獣の天敵。



◆残弾がゼロになり、飛行獣との戦いに不安を感じるエリスを、笑顔で安心させるナイト。



◆ドラゴンクローのワイヤー上を滑走するドラグファイター。



ああ、俺はいつでもお前のそばにいるよ……
お前の後ろで、お前の背中を、
俺はいつまでも見守ってやる……

◆お互いの悩みを、それぞれ少しだけ解消したカップル2組が、友情を誓い合った。



◆疲れきつたエリスを抱えあげて、ドラグファイターから降り立つナイト。



その時は……命を懸けてお前を守る!

ばか……

ルウ出撃

非戦闘地域である海洋油田ベース「コーカサス」で、擬態獣と戦った黒いロボット。それはどのベースにも所属しておらず……。

ひとりで海岸へ出かけたルウは、見知らぬ飛行物体が近くの崖下へ降下していくのを目撃した。

不審に思ったルウは、飛行物体が降り立った方面へ向かい、そこで、朽ち果てた教会を発見する。そして、教会の中で横たわる、傷ついたひとりの男を見つけたのだった。ルウはその男に、亡き父の面影を重ね、傷の手当てをした。

剣と名乗るその男は、コーカサスで擬態獣と戦ったロボットのパイロットだった。しかしルウは、自分と同じような雰囲気を持った剣に親しみを感じ、剣がパイロットだと知ると、ロボットの操縦を教えてほしいと頼む。剣はルウをテストして、その根性を認め、ロボットの操縦訓練を行うことにした。

こうして奇妙なふたりの秘密訓練は、杏奈たちの目を盗んで続けられたのだった。

ある日、無人島に擬態獣が出現。それは、コーカサスを襲撃した擬態獣の仲間だった。しかも、その擬態獣はコスモベースを破壊した、ルウの仇の同一種でもあったのだ。

怒りで、我を失ったルウは、そのままコスモダイバーに搭乗、単独で出撃してしまう。ルウの単独での出撃を知ったゴオと杏奈は、ルウの後を追うが、いつの間にか、操縦が巧みになっているルウに驚く。剣に教わった操縦で、次々に擬態獣を撃破するルウだが、そこには擬態獣たちの恐るべき真が隠されていて……。



◆コミッションからダンナーベースに、メナージュ・ゼロが発令された。



◆◆剣が必要な部品を、こっそり持ち出すルウ。

◆◆剣が、みんなが追っているメナージュ・ゼロとも知らず、奇妙な関係にのめり込むルウ。

捨ててあったんでな、もらってきた

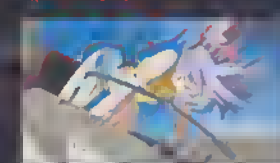


◆杏奈とゴオの気持ちも知らず、無邪気に笑うミラ。



◆「愛ってなに？」無邪気すぎる質問に杏奈は……。

私、料理は昔から得意なの！



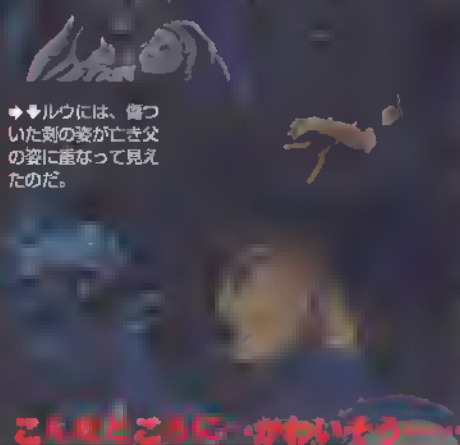
◆◆剣のテストを受けることになったルウ。

私にロボットの操縦を教えて！



◆コーカサスを襲った擬態獣の群れに、たった1機で切り込む謎のロボット、ブレイドガイナー。何かを探しながら戦っているようだ。

◆崩れた崖の中に、うち捨てられた教会があった。



これもまた、ごきげんよう！

第10話

イラストレーション&名セリフ集

■特別再録 ゴオと杏奈の密かな想い……!?

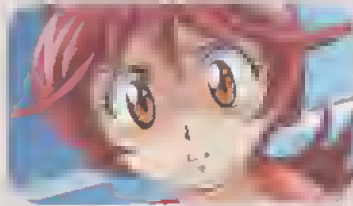
ゴオのモノローグ



なんなんだ、このシチュエーションは、なんだこのアットホームなムードは……？ おかしい……あまりに普通だ……。島から帰ってきて、ずっとこの調子だ、杏奈のヤツ。いや、深読みしすぎか？ も

う、ミラのことは許してくれたのか？ いやまて、そもそも何で5人そろってひとつ屋根の下で暮らしてるとんだ？ 忍は無害だ、それはいい。ルウもひとりぼっちで家族が必要だ、よしとしよう、っていうか、一緒にいたい。ミラだ……。問題はやっぱりミラだ……。いつの間にかミラだ。いくら記憶が無いとはいえ、元は俺の彼女だ。杏奈は俺の奥さんだ。一緒にマズイだろう！ いや、記憶がないという時点で、その設定はナシなのか？ いや、記憶がないからこそ、然るべきところで対処すべきじゃないのか？ あっ、何を言ってるんだ、俺は！ 今ある幸せのために、困っている彼女を見捨てるというのか？ ノー！ そんなことは断じてせん！ 第一、ミラが記憶を失ったのは、俺を助けようとしたからじゃないか。今、ここでこうしているのは、せめてもの償い、けっして、ただれた関係ではない！ 俺は杏奈を愛してる。待て、じゃ、ミラはどうなんだ？ 俺とミラが別れたのは、愛が終わったからじゃない、不幸な事故だ。もし、あの戦いがなかったら、俺はミラと続いていた。ううむ……おかしい、おかしいぞ 俺！ 何言ってるんだ。今、現実には杏奈という奥さんがいるじゃないか!! うわあ〜つ、俺はミラと一緒にいたいのが、いたくないのか……! もう、どっちなんだ!!

杏奈のモノローグ



な……なに？ この空気は……何？ この気まずさは？ おかしい……島から帰って、ずっとこの調子だわ、ゴオちゃん。確かにこの状況はありえないけど。新婚なのに、このメンバーはありえないけど。

忍っちは空気みたいなもんだ、アリかもしれない。ルウはひとりぼっちで家族が必要、アリでしょうとも……っていうか、一緒にいたい。ミラだ……問題はやっぱりミラだ。いくら知らなかったとはいえ、はじめに面倒みたいと言い出したのは私だ。後悔はしてない。いや、元カノという時点でその設定はナシなのか？ だからといって、今さらミラに出て行って言うの？ あ……あ……何言ってるの……私……ヒドイ、ひどすぎる！ 今ある幸せのために、子どもみたいな彼女を見捨てるっていうの!? ありえない! ありえないわ!! そんなこと! 第一、ミラがこうなったのも、ゴオちゃんを助けようとしたからじゃない。ミラの助けたゴオちゃんに、私は命を救われた。その私が、今度はミラを助ける。けっして、乱れた関係じゃないわ。まさに愛の食物連鎖ね。自信を持つよ杏奈! 私はゴオちゃんに愛されてる! 待て……じゃあ、ミラはどうなの? ふたりが別れたのは、愛が終わったからじゃない……不幸な事故だ。もしあの戦いがなかったら、ふたりは続いていた……はす? アリなの? どうなの? おかしいわ、私! 何言ってるの! 今、現実には一緒なのは私! 負けるな私!! 結婚は戦いよ!!

次回予告

ゴオ「その男から離れろ、ルウ!」
ルウ「いや、剣についてくさ!」
ゴオ「俺は許さん!」
忍「うちのお父さんみたい。」
ゴオ「お、お父さん?」
モモチ「はやく子離れしたほうが……」
ゴオ「悪いのは俺かよお!」
影丸「父親とはそういうものだ。」

ゴオ「そうなの?」
モモチ「そうかも。」
コナミ「そうです。」
杏奈「そうだった?」
霧子「ノーコメント。」
ルウ「それじゃ。」
ゴオ「ええ〜!!」

GUEST CHARACTER ゲストキャラクター

剣は何を追っているのか? 彼の夢にヒントがありそうだが……。



◆ローザ
剣の夢の中に現れた女性。どうやら剣のパートナーロボットのパイロットだったようだ。一体その後、どうなってしまったのだろうか?

◆擬態獣

コーカサス1を群れて襲撃。その後、謎のロボットによって撃退された。擬態獣18号と同じ種から進化したようだ。その目的は、やがて明らかになる。



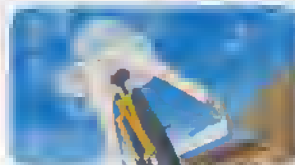
1サービスカット



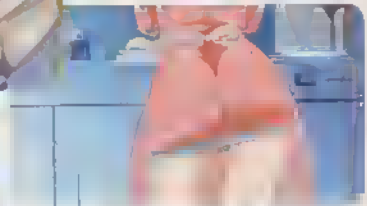
ルウちゃん登場。ちっちゃい子のパンツは可愛いね♡



◆子どもみたいだけど、身体はやっぱりオトナの女性。ゴオちゃんは、目のやり場に困る……。



◆今回の特選画像! 自転車ルウちゃん。爽やかな風が涼しいねえ。



◆料理をしながら腰を振り振り、新妻らしい、というより人妻らしい? (誰の?)

◆父の仇を前にして、冷静さを失ってしまったルウ。ゴオたちの制止の声も聞かず、突進していった。



◆父の仇の同類擬態獣に、怒りのダイバーショットを放つコスモダイバー。

◆全速力で海中を進むコスモダイバー。

**大丈夫、私は負けない……
剣が教えたとおりにやれば、
絶対に負けない!**



◆ルウは、コスモダイバーで、擬態獣を追う深海へ! しかし、それは自分の業に誘い込むための、擬態獣によるワナだったのだ……。



◆絶体絶命の大ピンチに追いつめられながら、それでもルウの目からは光が失われなかった。

汚れなき旅立ち

擬態獣の群れに囲まれたコスモダイバー。機転を利かせてどうにか脱出したルウだが、擬態獣に追いつかれてしまう。そこへ……

擬態獣に追われたルウを海中から救い出し、奇岩島で戦う剣。そこへゴオと杏奈が到着。ルウに操縦を教えたのが、コミッシヨナースからメナーージュ・ゼロと認定されたお尋ね者のロボット、ブレイドガイナーと知り、戦いを挑む。しかしブレイドガイナーは、ゴードンナーとネオオクサーを軽くあしらうようにして去っていった。ルウの気持ちを引きつけるブレイドガイナーの強さに、ゴオの心は穏やかではなかった。

剣との関係が明らかにされ、ルウには外出禁止が言い渡された。霧子はベースに運んだ擬態獣を分析して弱点を突きとめたが、同時にこの擬態獣の驚くべき特性を発見した。彼らはクロノニウム鉱石を使

って増殖するのだ。コーカサスにも奇岩島にもクロノニウムが存在していたのだ。ゴオは、第3京浜地区のクロノニウム原石貯蔵庫を心配する。

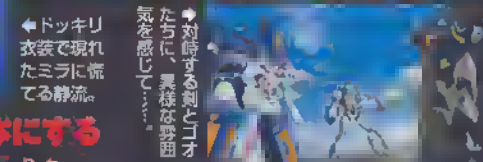
予感的中、擬態獣は、第3京浜地区を襲った。ゴオと杏奈は出撃する。次々に擬態獣を撃破していく。ルウは再びコスモダイバーで脱走し、第3京浜地区へ向かう。そのとき、擬態獣と戦うゴオたちの前に、ブレイドガイナーが出現。擬態獣のボスを倒す。再び対峙するゴードンナーとブレイドガイナー。怒りのために理性を失ったゴオは、杏奈の制止もきかず、ブレイドガイナーに立ち向かっていく。そしてゴードンナーは、ブレイドガイナーの放つ、必殺のデスストラッシュに敗れ去ったのだ……



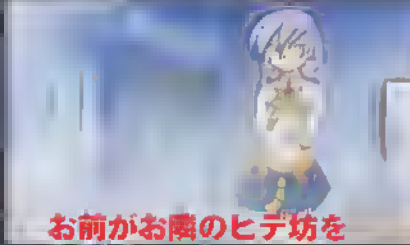
第11話

ライトニング&名セリフ集

まさか、あれがメナーージュ・ゼロ!?

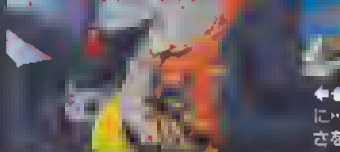


◆部屋に軟禁されたルウ。びんびんを抱え剣を思う。

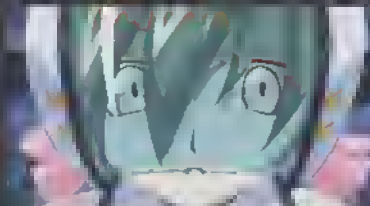


お前がお隣のヒデ坊を丸刈りにしたときは、ごんなんじゃなかつたけどねえ

なんて強さなの…
まるで神の御機嫌

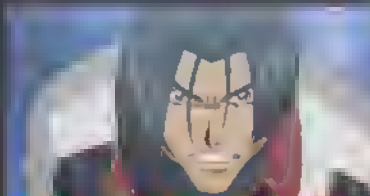


◆◆ゴードンナーと互角以上に……というより、圧倒的強さを誇るブレイドガイナー。



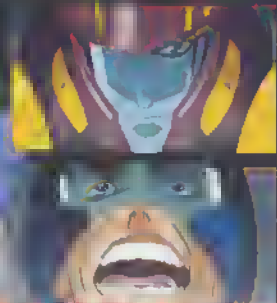
◆剣の凄まじい強さに感動するルウ。剣が儼然の存在として、ルウの中でますます大きく……

◆自分を失ったゴオに呼びかける影丸。今のゴオでは絶対に剣に勝てないことを悟った瞬間。



ゴオが……いや、ヤツの力を恐れた己自身を……

……わかった、根本にする



◆ルウの心をつかんだ剣に、ゴオはやり場のない怒りを感じた。

◆ドッキリ衣装で現れたミラに驚ける静流。



◆間一髪というところで、海中からコスモダイバーを救出したブレイドガイナー。



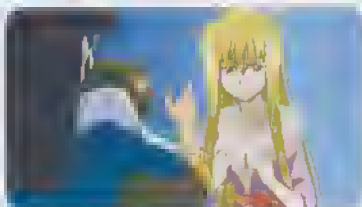
サービスカット



この回の目玉は、ミラのサイズ違い第2弾で決まり！



◆お持ちかね、サイズが合わないのに着てみたい病のミラさん。きついなら着なければいいのに、というのはきつと。大人の理屈なんだよね。



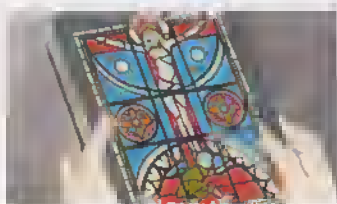
◆ルウがいなくなった悲しみを、表情に出さないようにする杏奈を正視できない忍は、かわりに杏奈のお尻をじっと見つめていた。忍っち……。

★ゴードンナー豆知識

『汚れなき悪戯』

忍が杏奈に語るように、キリストの奇蹟によつて、最終的には少年マルセリーノは天国へ召されてしまいます。ある意味、すごく残酷な物語だが、ラストで元にもまれ幸福そうに眠るマルセリーノ

作中では書籍として登場するが、有名なのは1955年にスペインで製作された映画。カンヌ映画祭の特別賞を受賞した名作。原題の邦訳は「マルセリーノ」。スペインのある村に伝えられる、「パンとワインとマルセリーノの奇蹟」を祝う祭りの由来を語る物語だ。



の姿が世界中の素を誇った。主題歌の「マルセリーノの歌」は、バフロン・ロサバルによる名曲で、映画を観たことがない人でも、一度は、どこかで聞いたことのあるメロディーのはず。

今週の森本&林

久しぶりのこのコーナー。このところ、森本&林ペアの出演シーンが激減していたのだ。しかしふたりの関係は着実に進んでいるようで、とくに林の森本に対する接し方が、すでに奥さんモード？ ミラの、嬉し恥ずかし姿を森本には見せまいとする林の行動も関係の発展を感じさせる。



◆ミラのすごいカッコウを前にして、森本の目を手でおおおう林さん。そして「見たら殺す！」の言葉。森本は可愛そうに、重要な場面を見損ねた。

次週予告

忍 「兄さんが、負けた……」
コナミ 「ロケットセンターに脱獄！ 救出だ！」
モモチー 「ダンナー！ 出撃不能です！」
静流 「私が行くわ、見ててゴオ。」
ゴオ 「ひとりじゃ無理だ、やめる静流！」

静流 「私を誰だと思ってるの!？」
杏奈 「静流さん!!」
ゴオ 「静流！ 静流！ 死ぬな〜!!」

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター ゴードンナーが敗れ、ルウが去る。怒涛の展開には、個性的なゲストが絡む!?

クロノニウム原石貯蔵庫の工員

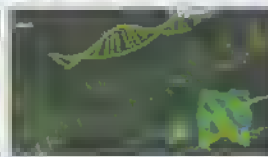
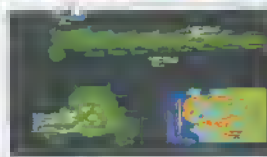


◆貯蔵庫の工員たちは、避難中に擬態獣に襲われたところを、ゴードンナーに救われた。

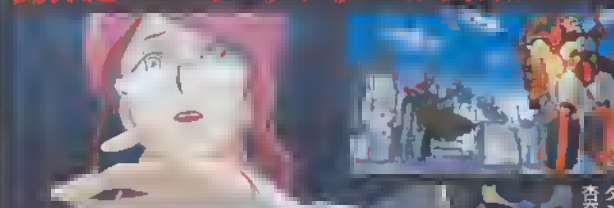
◆命の危険に晒されながらも、カッコいいロボットが助けにきただけでこの笑顔。いつも巨大ロボットは、みんなのヒーローなのだ。



◆◆擬態獣（ボス）
クロノニウムの上で座する擬態獣の群れを統括する。ボスらしく、少しは手強い。残念ながら、剣が追い求めた相手ではなかったようだ。



負けた……ゴードンナーが負けた……



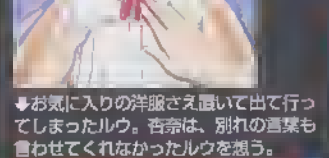
◆無敵の最強ロボット、ゴードンナーが、あっけなく敗れ去ったことにショックな開発者の様子。



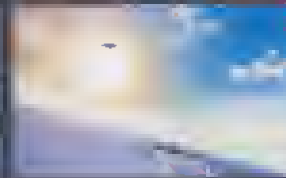
◆剣の猛攻に、ダメージを受けた杏奈「ゴオ」



◆ルウは、剣を追ってダンナーベースを去っていった。



◆気に入りの洋服さえ置いて出て行ってしまったルウ。杏奈は、別れの言葉も言わせてくれなかったルウを思う。



出てくなら、サヨナラぐらい言っでよ……
バカ……ルウのバカ……ルウの……バカ……

私は……決めた

去り逝く者たち

杏奈はベースを去ったルウのことを心配していたが、もっと身近に、心配しなければならない人がいることに気づかなかった。

ブレイドガイナーに敗れた、ゴードンナーとネオオクサーの修理は困難を極めていた。そしてゴオは、剣に負けたショックから、操縦桿を握る手の震えが止まらなくなってしまっていた。

そんなゴオの苦しみを、陰から気に掛けているのは静流だけだった。杏奈は、ゴオが、何かで苦しんでいることには気づいていたが、何も相談してくれないことにいらだっていたのだ。そんな折、種子島の宇宙センターに、擬態獣が接近しているという連絡が入る。打ち上げ間近のコスモシャトルを狙っての行動のようだ。しかし現状、ダンナーベースから出撃可能なのは、静流のコアガンナーだけ。そしてゴオの手を心配し、静流は単身出撃した。

宇宙センターを背にして、擬態獣と死闘を繰り広げるコアガンナー。もともと装甲の薄いコアガンナーにとって、擬態獣との接近戦は厳しい展開に。しかし全身が傷つきながらも、コアガンナーは擬態獣を倒し、コスモシャトルは打ち上げ最終段階に入る。コアガンナーの活躍を見ていたゴオは、手の震えが止まっていることに気づく。そんななか、さらなる擬態獣が宇宙センターを直指して侵襲開始。静流は最後までシャトルを守り通すため、擬態獣の最前面に立ちはだかった。静流の身を案じるゴオは、急いで救援に向かう。その後、コスモシャトルは打ち上げに成功するが、その場所で、無残な姿のコアガンナーが見つかって……。



第12話

ハイライトシーン&名セリフ集

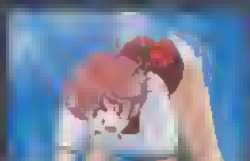
杏奈は静流の死を……



◆難しい心理的影響で、手の震えが止まらなくなってしまったゴオ。

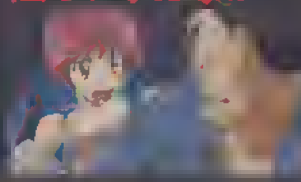


◆杏奈はゴオの異変にも気づかなかった。そして、やり場のない怒りを、罪のない男子生徒たちにぶつけていた……。悪友たちも呆れ果す。



「お前、さあ、誰に会ったのって見たことある？」

逆ギレすんな!!



◆杏奈は、ゴオが剣に負けたことを悔やんでいるだけだと思っていた。



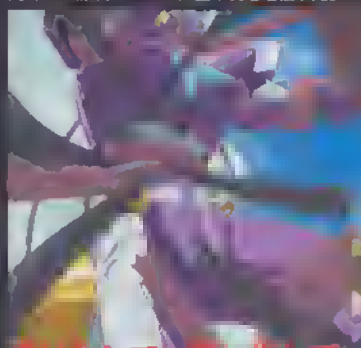
◆ゴオと杏奈のケンカが、とても熱しくて泣き出してしまった……。

◆傷ついたゴオの手を包む。手が動かない可哀想。そんな中、静流は決心する。



帰ったらおごってもらわよ!

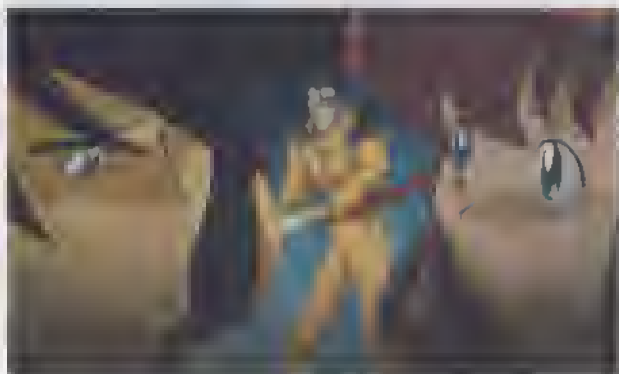
◆擬態獣の敵手に囚われながらも、まだゴオの心配をする静流に、ゴオは己の弱さを悟った。



「お前、さあ、誰に会ったのって見たことある？」

今週の森本&林

もはやふたりは、ダンナーベース公認のカップルとして認定されていた。そのせいで、愛する妻、アニタと、離れ離れのつらい日々を過ごす杉山の矛先が、いつも一緒に森本たちに向いてしまうのは仕方の無いところ。ゴードンナーの修理に追われるメカニッククルーに休みはないのだ!!



◆そりゃあ、幸せなおふたりでさえ目の下にクマ作っているくらいだから、愛を家に残したままの杉山さんは、何もかも溢れまくりなことでしょう。

次回予告

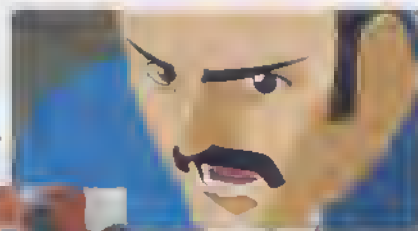
杏奈「あの大きな背中が目覚まっ
ずっとゴオちゃんの背中に守られていた
けど、ねえゴオちゃん……。
ずっと守られて……。
ずっと背中を向けて……。
涙が……。
思い出せないよ……。」

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター

5話で破壊されたコスモベースの再建のために、日々奮闘する人たちがいた。

◆宇宙センター長
コスモベース再建のために、宇宙でがんばっている仲間のために、あらゆる努力を惜しまない。口ヒゲがステキなおじさん。



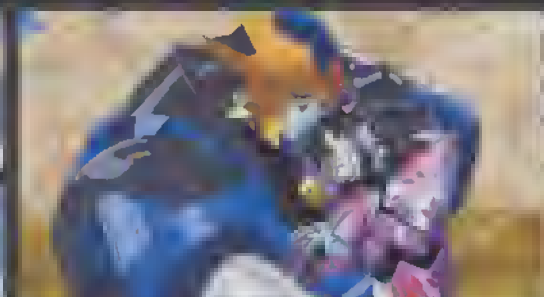
◆宇宙センター職員
自分たちの任務を果たすために、自らの命も顧みず。機械獣に破壊されるギリギリまで粘ろうとする、勇気ある職員たち。

◆擬態獣
全身を硬い殻で覆った擬態獣。立ち上がると翼から触手が伸びて、殻を取り込もうとする。



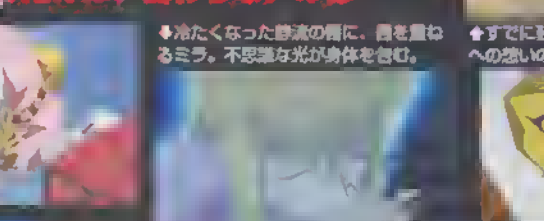
◆融合獣
コアガンナーに倒された擬態獣を捕食し融合することで、相手の能力を取り込んでしまう。

◆擬態獣
ゴッドダイナーが撃っていたカニのような擬態獣。地下に大量の卵を隠していた。



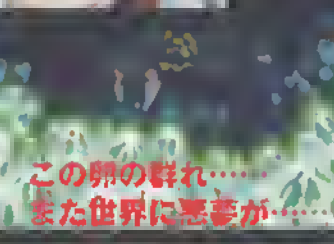
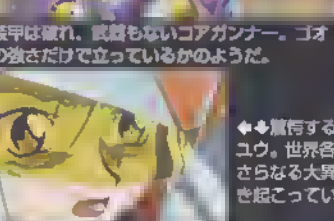
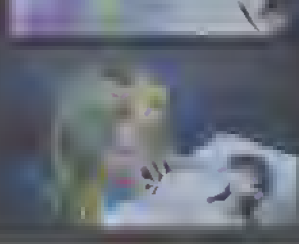
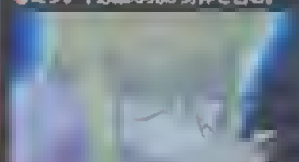
◆瀕死の状態になりながら、擬態獣を撃退したコアガンナーを助け起こすゴードンナー。

◆おどかさずのだけは、変わらないのね……



◆「おどかさずのだけは、変わらないのね……」自分の言葉を見失った杏奈は、ひとり、ダンナーベースを歩いていた……

◆冷たくなった静流の肩に、目を重ねるミラ。不思議な光が身体を包む。



私を誰だと思ってるの??

◆新たな擬態獣接近。だが、残りは188条のみ。

◆すでに装甲は破れ、武器もないコアガンナー。ゴオへの想いの強さだけで立っているかのようだ。

◆驚愕するシュクユウ。世界各国では、さらなる大異変が巻き起こっていた。

◆この卵の群れ……また世界に悪夢が……

ラスト・ファーストキス

「静流が死んだ。杏奈は自分だけが、何も知らなかったことに、気づいてあげられなかったことにショックを受け、ベースを去った。」

北の町をさすう杏奈。杏奈はこれまでのことを思い返していた。そして、そばには杏奈を追ってきた忍の姿も……。しかし、世界中で増殖を続ける擬態獣は、彼らをそんな感傷の旅に出たままには、させてくれそうにもなかったのだ……。とうとう日本にも擬態獣が出現。避難命令でこつた返す群衆のなか、ネオオクサーが必要になると思った杏奈は、ダンナーベースへ戻る決心をする。自分の悩みより、人々の平和を守る。それが杏奈が出した現在の結論だった。交通規制のためにベースへ戻る手段がなくなっていた杏奈は、親切なトラックの運転手とベースへ急ぐ。その車中、運転手は家族の大切さを杏奈に説き、夫婦は仲良くすれば良い、

「人はひとりでは生きてはいけない」と、杏奈を諭すのだった。

ようやくダンナーベースに近づいた杏奈だったが、擬態獣のために、それ以上進むことができなくなってしまった。さらに出産が近づいたびんびんのために、医者も探していた杏奈は、ゴオと初めて出会った港へ来ていた。そこへ、擬態獣が出現し杏奈を襲うが、彼女を救ったのは昔と同じ、ゴーダンナーだった。駆け寄る杏奈。だがその杏奈の前にネオオクサーが出現。ゴーダンナーと見事なコンビネーションで擬態獣を倒した。ゴーダンナーの本当の力を見せつけられた杏奈。そしてネオオクサーに乗っていたのは、あのミフだった……。



第13話

ラストシーン&名セリフ

このまま休ませてやろうじゃねえか……それが俺たちにできるせめてもの礼だ……

◆沈黙したままハンガーに乗るコアガンナー。もう動かないのか？

◆無類な愛のコアガンナーに、胸を刺さる……

◆擬態獣とひとりで戦い、ゴオが駆けつけたときには、すでに息も絶え絶えの静流。彼女の最後は二度とは戻ってこないのか？

兄さん、僕は最後までの地にいる……

◆強い女性の隣りでさえ、ときには誰かにすがって泣きたいこともある。

◆家出した杏奈を追ってきた忍。夕陽の中で再会したふたりは……

◆戻ってくるはずのない静流の命。しかしそのとき……

◆◆平穏とはいえない昨日が終わり、新たな日々に入っていく。確かに何かが変わろうとしていた。

ねえゴオちゃん、守られてばかりいるとね、背中ばかり見てるとね、ゴオちゃんの顔忘れちゃうよ……



サービスカット



トラック野郎といえば、デコトラで決まり！



↑ナイスバディで赤い髪。蓮ちゃんの前の奥さんの写真がモデルのようだ。しかし、他の誰かに似ているような気もするけど、まさかね……。

今週の森本&林

静流の死に衝撃を受けたのは、何もゴオや霧子たちばかりではない。愛する人を、突如、失ってしまうという現実には、森本は大きな不安を感じた。後悔をしないためにも、ここで一発、決めようとするが「ケ……」から先がなかなか言えず……。



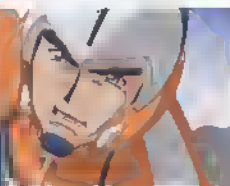
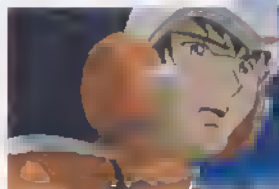
↑いつも身近にいた静流の、血液型も故郷も、なにも知らないことに突如気づかされた。人ひとりが死ぬことが、こんなに簡単なことだったなんて。

GUEST CHARACTER

ゲストキャラクター 久しぶりにヒゲの怪しい人物登場。ふたたび杏奈に救いの手を差し伸べていった。

隊長

擬態獣と戦っていたファットボーイ隊の隊長。突如現れたブレイドガイナーとコスモダイバーに助けられたが……。



レスキュー隊員

民間人を避難誘導するレスキュー隊員。杏奈にダンナーベースに帰る方法を聞かれて困っていた。

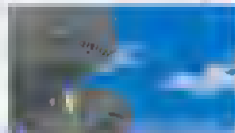


↑トラックの蓮ちゃん

この顔、この声……。これまでも何度か出会っているはず……。彼の正体は!? なぜゴオと杏奈に関わるのか!?

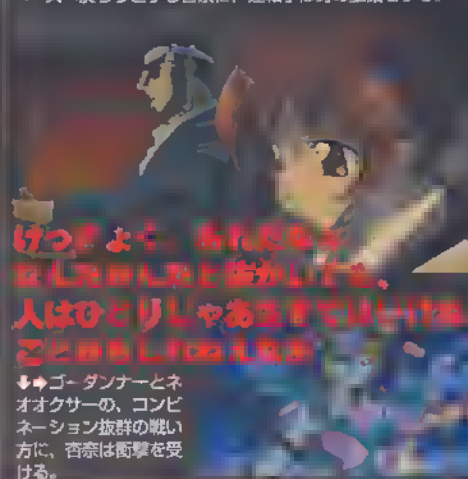
↑擬態獣の群れ

世界各国を同時に襲撃しはじめた擬態獣たち。地球規模での大侵襲作戦に、5年前の悪夢の出来事がよみがえる……。



↓親切なトラック運転手に乗せてもらって、急いでダンナーベースへ戻ろうとする杏奈に、運転手は身の上話をする。

悪夢だ……5年前の悪夢だ……



けつぎよて、あれだるや
ねんたあんなに後かいたる、
人はひとりじゃあまきではじけぬえって
ことあらしめぬえぬ

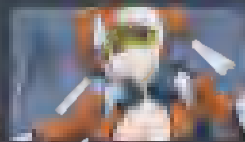
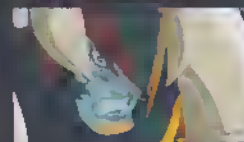
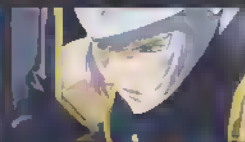
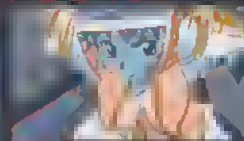
↑↑ゴ-ダンナーとネオオクサーの、コンビネーション抜群の戦い方に、杏奈は衝撃を受ける。



↑↑刺の脳裏には、悪夢のような、5年前の悲劇がよみがえっていた。



↑↑ゴオの妻としてベースへ戻る決意を初めた時の輝き。しかしその後、思いもかけない事態を目撃することになる。

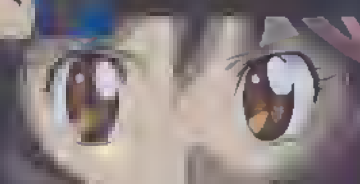


↑↑ロボットのパイロットたちは、大きな変化に気づいていた！

↑↑急激な変化に、ダンナーベースへ戻る決心をするが。



そんな……あれが……あれが……本物の……
ダンナーの……力……



狼渡……狼渡杏奈です



巨匠・渡辺宙明先生の作曲によって、水木一郎ア
ニキと、堀江美都子アネキが絶唱。『塹壕の棺』は、
まさにロボット・ヒーロー・ソングの決定盤。

エンディング・テーマ 塹壕の棺 (ザンゴウノヒツギ)

作詞：桑原永江 作曲・編曲：渡辺宙明
歌：堀江美都子 & 水木一郎

遠くで崩れ落ちた 冷たい石塊 (いしくれ) から
異形 (いぎょう) の命の叫びが 雲間を引き裂いた
嘆きを恨みに変え 憎しみを怒りに変え
祈りを侵 (おか) した者さえ 敗え無く消えるか

☆血の匂い滲む指で 目を潰してもなお
撃ちてし止まぬ 定めが君を 岩を突き動かすなら

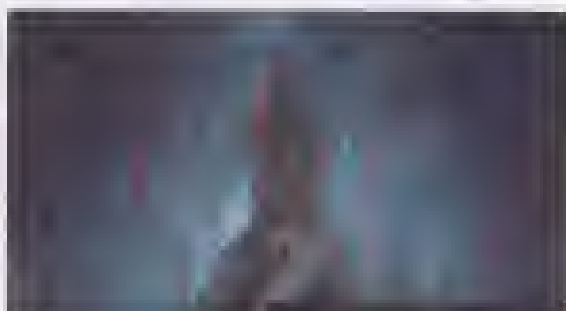
塹壕の棺へと あゝ私を堕として 生き延びなさい

煙瓦の焦げた皮肉を 不亂にこそぐひとの
肩越し幼い戦士の 涙が頬を切る

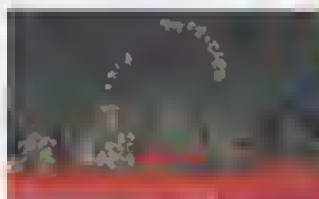
降り出す雫えた (すえた) 雨は 世界を泥で汚し (よごし)
挟れた (えぐれた) 胸に封じ込んだ 名譽も爛れる (ただれる)

塹壕の棺へと あゝ記憶を焼き捨て 生き抜くがいい

☆repeat



↑ゴオらしき男が女を抱いている。しかし、女は一体誰なのか？

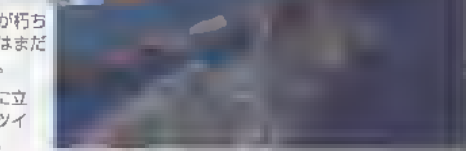


↑長い髪をなびかせた女性が荒野をさすらっているようだ。

↑鹿嶋に立つ少女の姿。このシルエットは、ルウなのか？

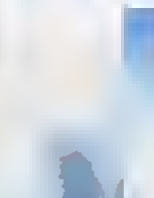


↑背を向けている男は、髪型からは、影丸のようにも見えるが……。



↑ネオオクサーが倒れている。しかし、その瞳にはまだ光が……。

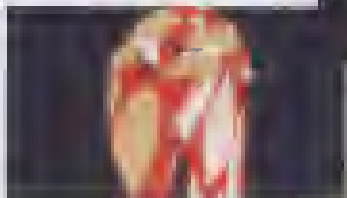
↑血だらけの手を合わせる男女。この手が意味するものは？



↑ゴードンナーが朽ちている。だが瞳はまだ輝いていて……。

↑ロボットの残骸に立つゴードンナー・ツインドライブモード。

↓血塗られた翼を立てるかのように、固く握り合う手と手。



日本音楽著作権協会 (出) 許諾第0402905-401号

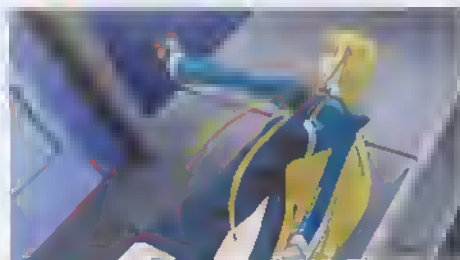
スペシャルカット 『神魂合体ゴードンナー!!』 特選画像!

ここで紹介する連続写真は、テレビ放映に先駆けて発売された『神魂合体ゴードンナー!!』プロトタイプDVDからの特選カット。さらにテレビ放映時では、5話までのオープニングでも使用されていたという、お宝映像なのだ。

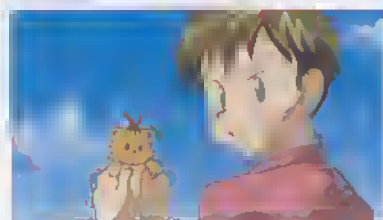


セカンドシーズンへ……

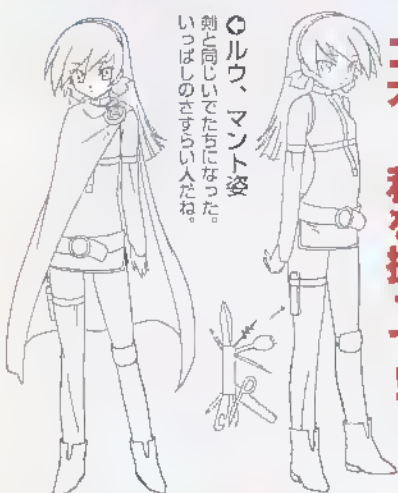
俺を殺してくれ!

◆復帰したミラ。
ゴオとの関係は
どうなる?

それが愛の証なら……

にやあ ◆びんびんにそっくりな猫田少年
と、びんびんにそっくりな仔猫。

びんびん……?

○杏奈ウェイトレス姿
バイトをするというこは、結
局ベースへ戻っていないのか?○ルウ、マント姿
剣と同じでたちになった。
いっしょのさすらい人だね。

ゴオ! 私を握って!!

○パチンコ屋の
バイト杏奈は、いろんなバ
イトに精を出すようだ。
やっぱり自立?◆生き返った韻流さん。
セカンドシーズンでも
魅せてくれますね!

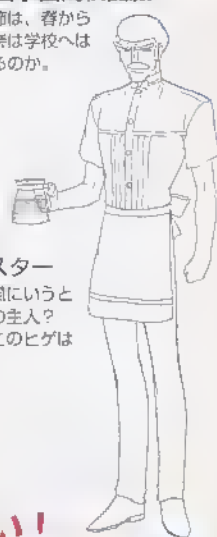
うっ…ううっ……私を誰だと思ってるの……



○芽花学園高校夏服

物語の季節は、春から
夏へ。杏奈は学校へは
戻っているのか。

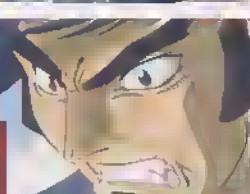
○マスター

林さん風というと
喫茶店の主人?
でも、このヒゲは
……?

○ゴーオクサー

オクサーの後継ロボ登場。はたし
て杏奈が乗るのか、それとも?僕も……兄さん
みたいになりたい!◆忍の目に決
意がみなぎる。
いよいよ忍口
ボも登場?◆誰? でも、
どこかで見たこ
とあるような…
…?ダンナーベース
出撃準備!!◆発進って、お母
さん。基地が発進
してどうするとい
うんですか?

OK!!



撃てえ! 光司い!!

◆おっ! 光司くん復活。今度
こそ正統派ヒーロー復活か!?ゴーオクサー、
発進!!



神楽雪姫
イダナ
 GODANNAR

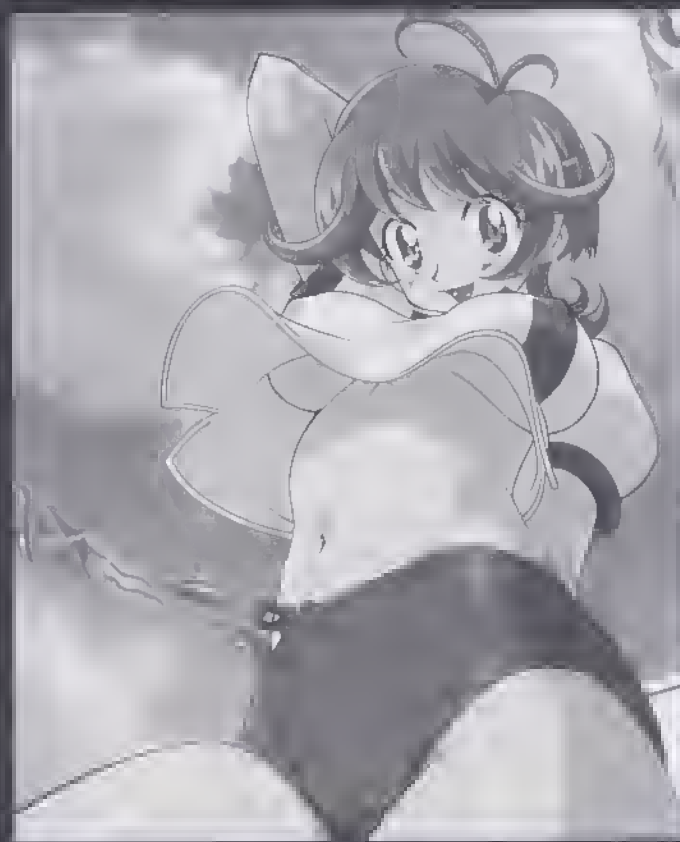
Illustration Gallery
 イラストギャラリー♥

設定資料集



Chapter.05
Data File

キャラクター設定
キャラクター表情集
メカニック設定
擬態獣設定
美術設定
関連商品/イラストクレジット紹介
キャスト&スタッフリスト



キャラクター設定

CHARACTER

ここでは基本設定以外の、メインキャラクターの衣装設定ほかを紹介。作品を見ている上では、気にすることもない部分まで、綿密に設定されていることがわかる。そのほかキャラクターの表情設定もまとめて紹介。

ダンナーベース内の私服

デニム地の超ミニ&ヘソ出しキャミソール。ベース内は涼しいので、ゴオの制服をはおっている。



猿渡杏奈

藤村静流

制服の中

登場することはなかった、制服の上着を脱いだところ。けっこう大胆なスリットだ。



高校の制服

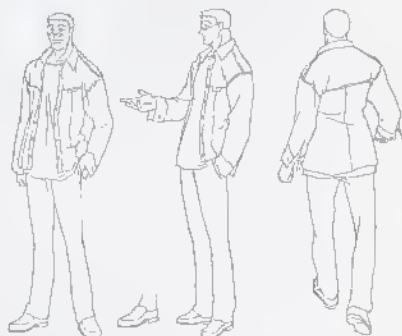
制服の仕組みを図解している。2話では、この設定をもとにした猿渡家の朝のシーンがある。



高校の上ばき

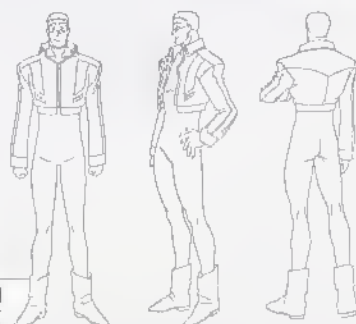
芽花園学園高校の指定上ばき。ほとんど画面に映ることのない靴底の模様も詳細に設定された。

猿渡ゴオ



私服

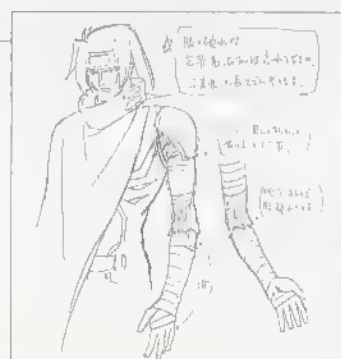
ダンナーベース内でのゴオの普段着。部屋の中では、上着を脱いだ姿でいることが多い。



制服

公式の場以外ではあまり着用していない。上着は杏奈が着ていることが多い。

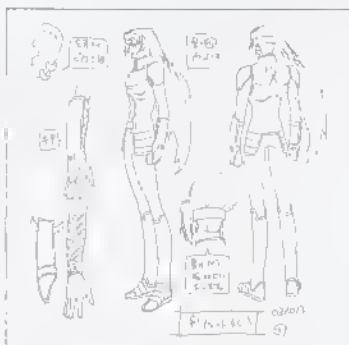
左腕の包帯



◀10話でルウに巻いてもらった包帯の設定。場が完結した後は、設定の袖丈の長さに戻った。

5年前のゴオ

わずか5年でこの変わり様。現在とくらべて、髪形が変わったこと以外に、眉もキリリとしていた。



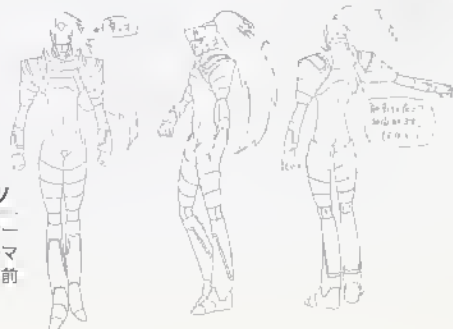
マントの中

剣のいわば普段着。手甲の仕組みや、長い髪の毛の出し方なども設定されている。

剣

パイロットスーツ

剣がブレイドゲイナー搭乗時に着用。肩アーマー部分は、肩の動きで前後にずき間ができる。



ルウ・ルー

私服

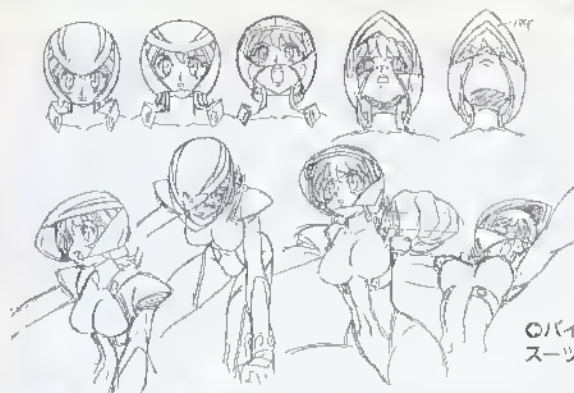
6話以降、おもにベース内で着用。11話のラストで杏奈が持っていたものでもある。この上にベストを着用することもある。



キャラクター表情集

CHARACTER

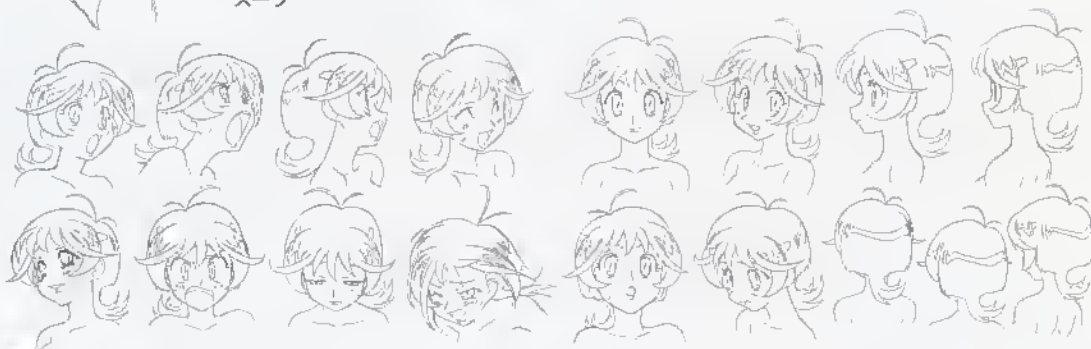
表情ばかりではなく、演出上でありえる、あらゆる角度からのキャラクターの姿を設定。どこまで表情を崩せるかということも、ここで密に設定される。キャラクターの性格設定も兼ねているといえる。



○パイロットスーツ

猿渡杏奈

ヒロインだけに、もっとも多くの表情が作られた。とくにパイロットスーツ姿では、アクションを含めて設定されている。



藤村静流

基本的に無表情なことが多いが、実はかわいらしい表情もたくさん設定されていた。セカンドシーズンに期待したい。

猿渡ゴオ

3枚目な部分も演じるため、表情豊か。また5年前のゴオの表情は、現在のゴオの表情に合わせて描かれている。



○パイロットスーツ

ルウ・ルー

うつむき加減で、寂しげな表情がメインの設定画。笑顔がひとつしかないのもルウらしい。



○5年前のゴオ



猿渡忍

目を潤ませたり、びっくりしたり、あせている表情が忍らしい設定画。



葵霧子

アップ時メガネの処理についても設定された。陽気な性格が出ている表情集だ。



○パイロットスーツ

ミラ・アッカーマン

幼児退行時と、通常時の表情では、眉や口元などが微妙に違うが、同じ人物に見えるように設定。

■笹暮小波

特殊な髪型が角度によって、どう処理されるかを詳細に設定。髪を下ろした場合の設定もある。



■桃園桃子

コナミの表情にあわせてデザインされているが、仕草によって大きな胸がどうなるかも設定された。



■影丸

司令を出したり、苦悩する表情がメインの設定。冷静沈着な状態が多いことがわかる。



■林

巨面相キャラらしく、多彩な表情が描かれた。なで肩もさりげなく設定。



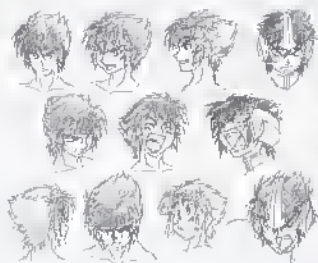
■柊冬子

元氣少女らしい表情集。林と比べると、かなりのいかり肩。角度による胸の谷間が重要。



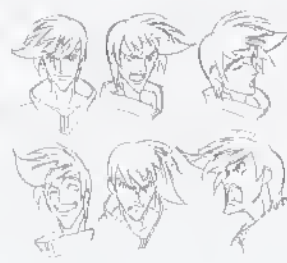
■光司鉄也

1話で登場した後、2話では包帯男になってしまったが、かなり多くの表情が描かれた。



■森本

細身の熱血で陽気な若者らしい表情集。アゴの線と制整のなびき方が大きな特徴。



■芝草

メカニックのボスは、なんといつてもアゴと、おでこのトサカ。口が四角いのも特徴。



■ロウ・ルー

登場シーンも少ないためか、多くの表情は描かれていない。身長は露子と同じくらい。



■杉山

アップ時のメガネの処理が設定されている。ゴォに似て背が高く、あわせて首も長い。



■柳沢

少々暗めな性格なので、うつむき加減で明るい表情はなく、笑顔も抑えられた。



■剣

パイロットスーツ時の表情集。戦闘中のためか、主にヘルメットの処理について設定された。



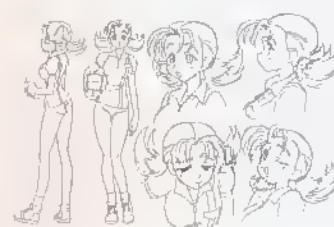
■さくら

3人娘の中で一番明るい性格で、表情も豊かに描かれた。



■ひな

まるく大きな胸に、口は小さめで設定された。



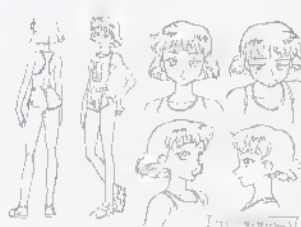
■神父

顔がヒゲに覆われているためか、ほとんど表情は読み取れない設定になっている。



■けい

控えめバストな設定。つりあがり気味の目が個性的。



■池山田

清水

土田

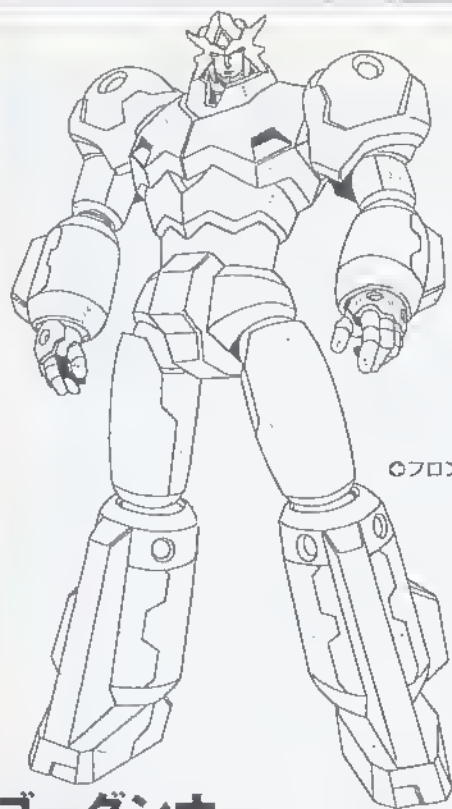
堀井



メカニック設定

MECHANICS

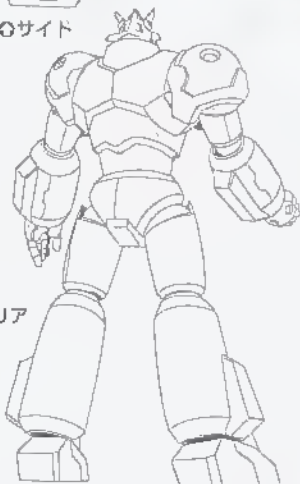
タイトルになっている『ゴードンナー』をはじめとしたロボットこそ、この作品の主役！ 彼らをリアルに、しかもカッコ良く魅せるためのメカニック設定は、ち密な設定と細心のこたわりで創られたのだ!!



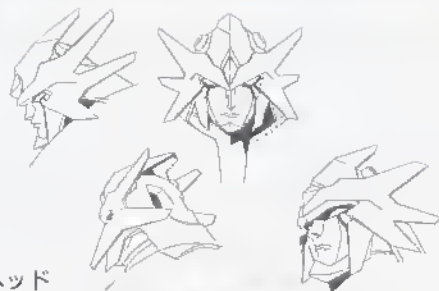
○フロント



○サイド



○リア

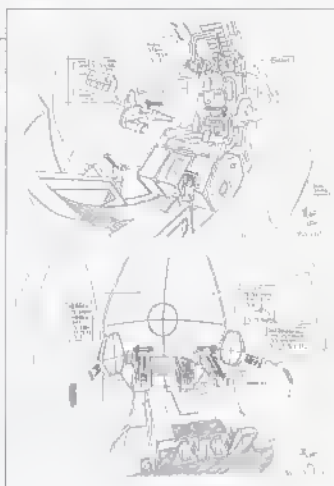


ヘッド

主役ロボットらしい、冷静な表情の精悍なマスク。ロボットなので呼吸しないが、鼻の穴まで精巧に作られている。

コックビット

格闘戦用の死角が少ない全天候型モニター内に設置されている。



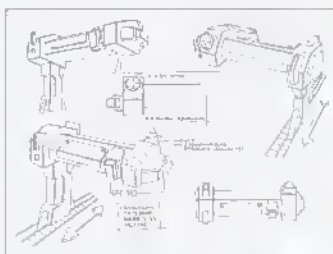
ゴードンナー

ゴオが乗るロボット。パワフルさが自慢の機体。ネオオクサーとの合体でツインドライブモードになったときのメインフレーム。



足の裏

ダイナミックなジャンプシーンが多い、ゴードンナーならではの設定。

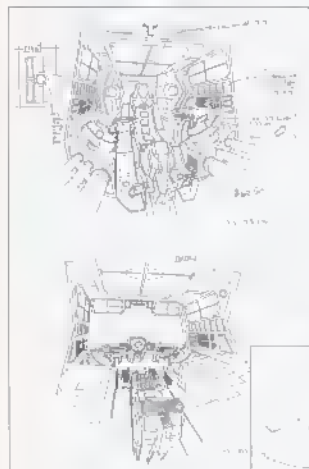


ダンナー・Gガンナー共通レバー

左右対称のグリップは前後にスライド。親指部分にアナログコントロールスイッチ。

ダンナー仕様スナイパーエンジン

8話で最悪獣との空中戦を挑んだときに使用。コアガンナーのスナイパーエンジンを仕様変更したもの。



コックビット

ダンナー支援用に計器を備えている。合体すると、天井スクリーンパネルが開いてダンナーへ移動。

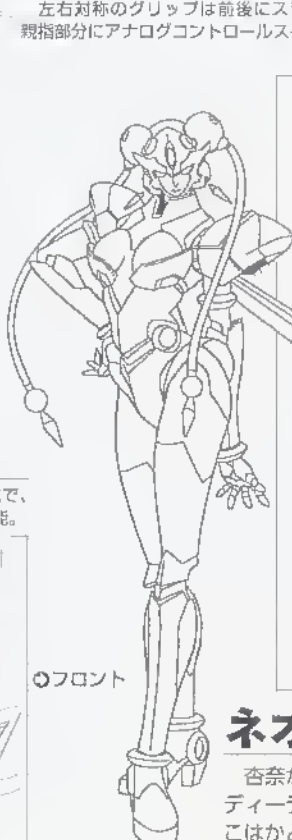
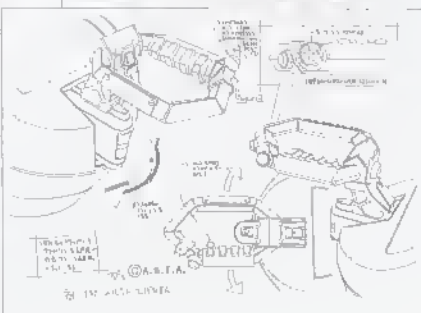


ヘッド

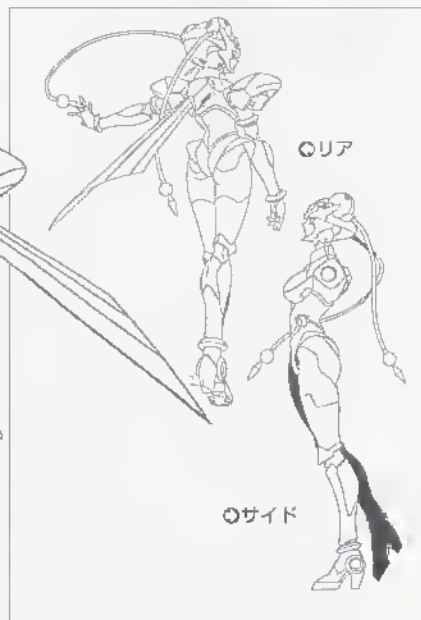
固い表情な印象もあるが、頭部のお団子パーツが可愛らしさを表現。

コックビット操縦桿

グリップの操作はドラム部分の回転式で、直線的なダンナーよりも繊細な動きが可能。



○フロント



○リア

○サイド

ネオオクサー

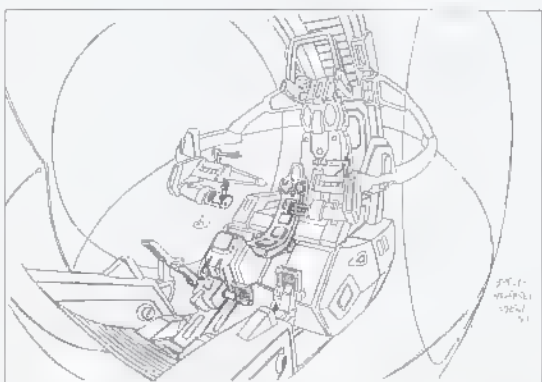
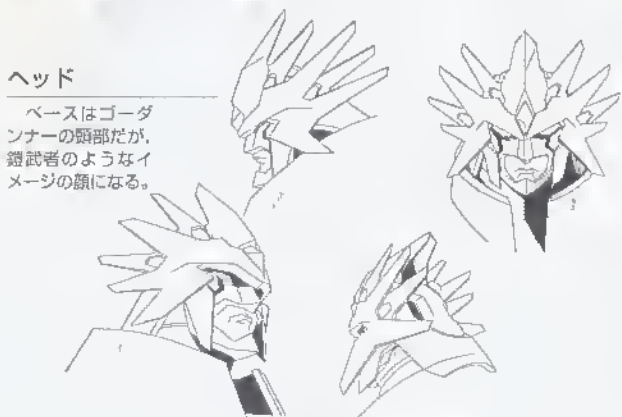
杏奈が乗るヒロイン・ロボット。流れるようなボディーラインが女性的。ロボットでありながら、そこはかたないエロチックさまで感じさせる名機。

ゴードンナー ツインドライブモード

ゴードンナーとネオオクサーが合体した姿。それぞれに搭載されたシングルプラズマドライブの力を合わせることで、極限のパワーが発動する。

ヘッド

ベースはゴードンナーの頭部だが、鎧武者のようなイメージの顔になる。

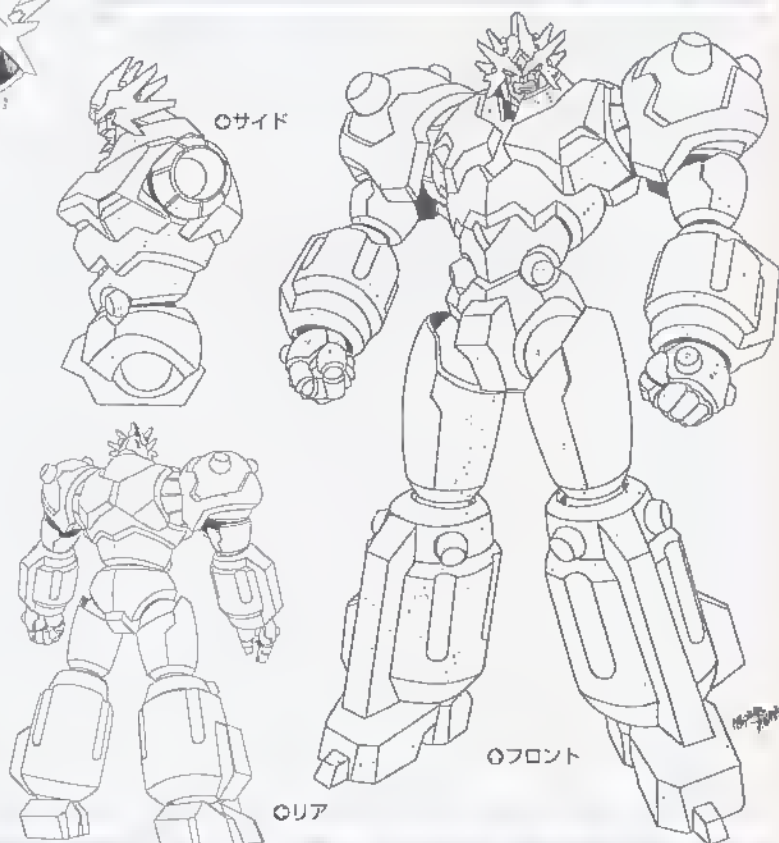


コックピット

ダンナー操縦者がロボットの操縦系全般を担当。オクサー操縦者の重要な役目は、必殺技、ハートブレイカーのトリガーを引くこと。

ゴードンナー ツインドライブモード 合体プロセス

合体用に両機のシングルプラズマドライブをチェンジ。ネオオクサーと合体する。脚部と腕部のリボルバーをオープンさせると、機体色がレッドになりプロセスが完成する。



コアガンナー

藤村静流が搭乗するロボット。本来は、武装パーツを装着してGガンナーのコアとなる機体。Gガンナー大破後、単独で稼動することになったため、いくつかの武装が追加された。

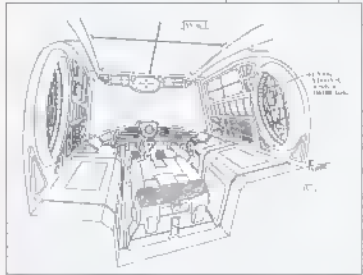
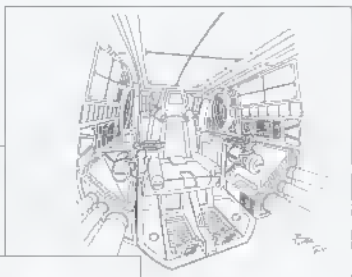
ヘッド

もともと遠距離攻撃が得意な機体であるため、超高感度なカメラアイを搭載している。



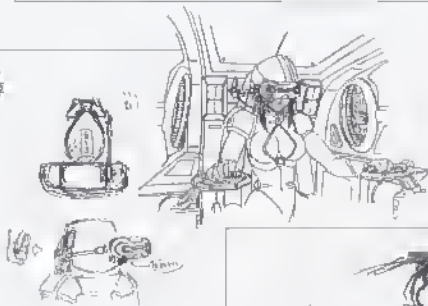
コックピット

瞬発力重視の操縦系を持つ。モデルとしても比較的新しいため、シートも座りやすいデザインになった。



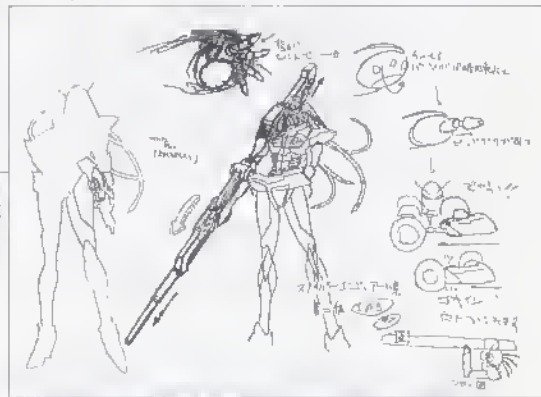
ゴーグルスコープ

スナイパーエンジンで、照準を合わせるための専用スコープ。



スナイパーエンジン

スナイパーエンジンの固定補助に左腕を使用。両腕を運動させることで、高精度の照準が可能に。

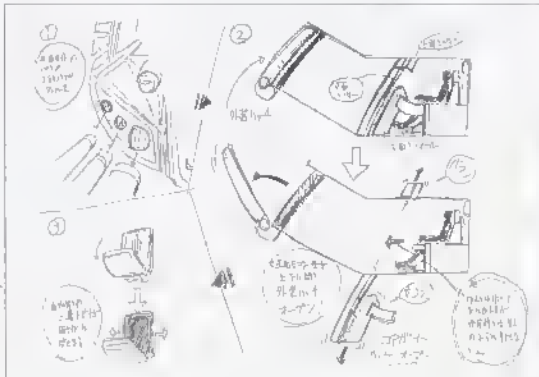


スナイパーエンジン搭載型

コアガンナーの特質を活かした武装強化バージョン。専用のオペレーションシステムによって、超遠距離からの正確な狙撃が可能。

コックピット操縦桿

前後左右、自由自在にスライドできる操縦桿。オウサーやダンナーに比べて、小回りがきく設計。



ハッチオープンプロセス

1話で静流が脱出するシーンのために描かれた設定プロセス。ほかのロボットも似たような設定だと思われる。



スナイパーエンジンで瞬発力重視な16号を狙うコアガンナー。正確無比な狙撃で機体を撃破。

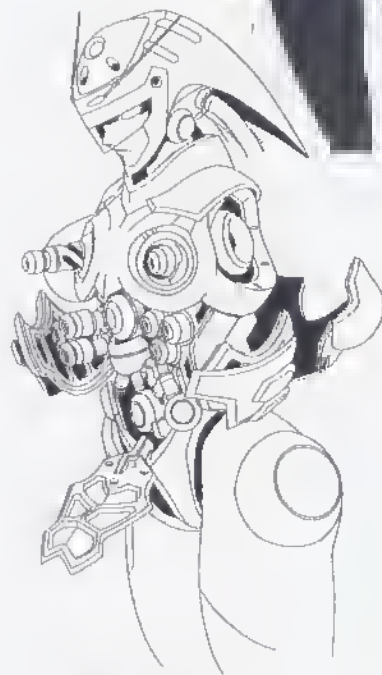
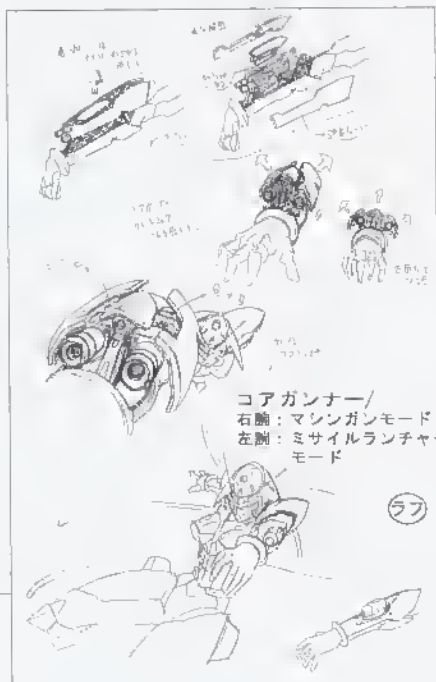
コアガンナー スクランブルダッシュ (ラフ)

コアガンナーの基本武装。左右腰部に内蔵されたジャンプブラスターによって、地上・空中を問わない自在な動きが可能。



右腕マシンガンモード 左腕ミサイルランチャーモード

コアガンナーの基本武装。右腕装甲内に2門のマシンガンを搭載。また左腕には、ミサイルランチャーを1門搭載している。

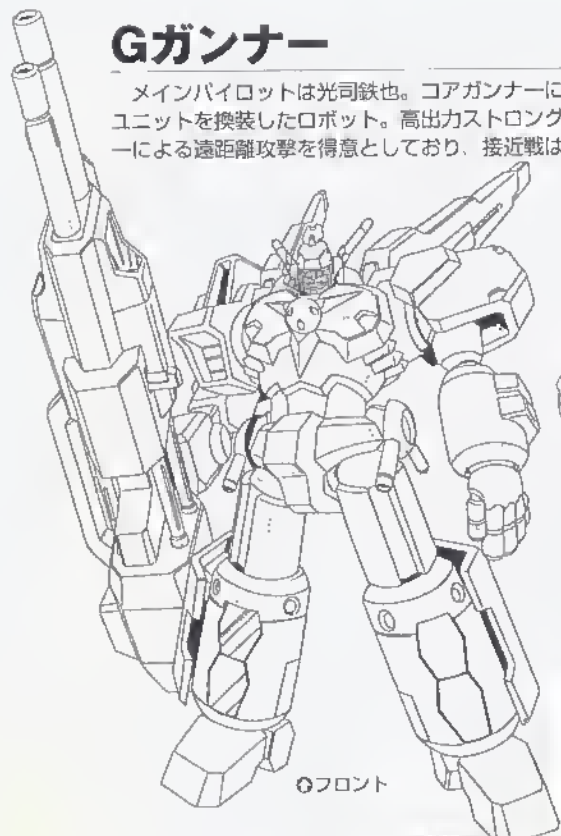


スパイラルスティンガー 搭載コアガンナー

もともと試装面で貧弱だったコアガンナーに搭載された究極の武装。全身のあらゆる部分からの鎮撃を可能にした。

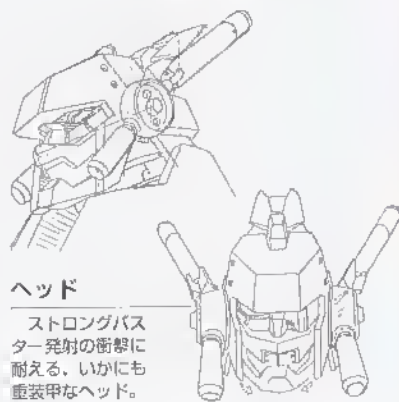
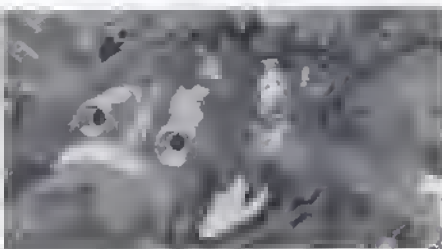
Gガンナー

メインパイロットは光司鉄也。コアガンナーにバトルユニットを換装したロボット。高出力ストロングバスターによる遠距離攻撃を得意としており、接近戦は苦手。



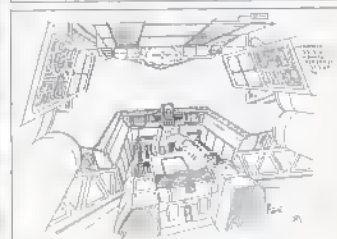
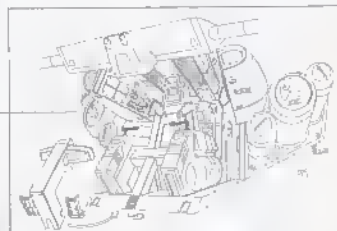
バトルユニット強制解除

独立した動力系統なので、Gガンナーが動けなくても、コアガンナー単体で行動可能。



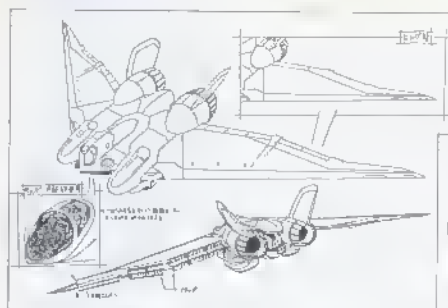
コックピット

コアガンナーとは別系統の動力で稼動する1人用のシート。



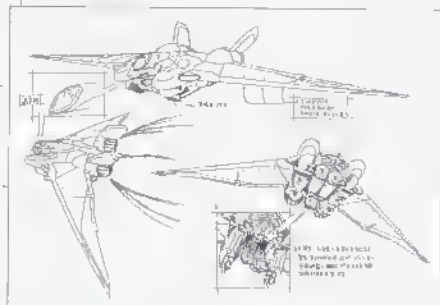
ジェットボーイ

ダンナーベースのロボットをサポートする無人ロボット。おもにダンナーなどの輸送に使われるが、戦闘中に使用されることも多い。



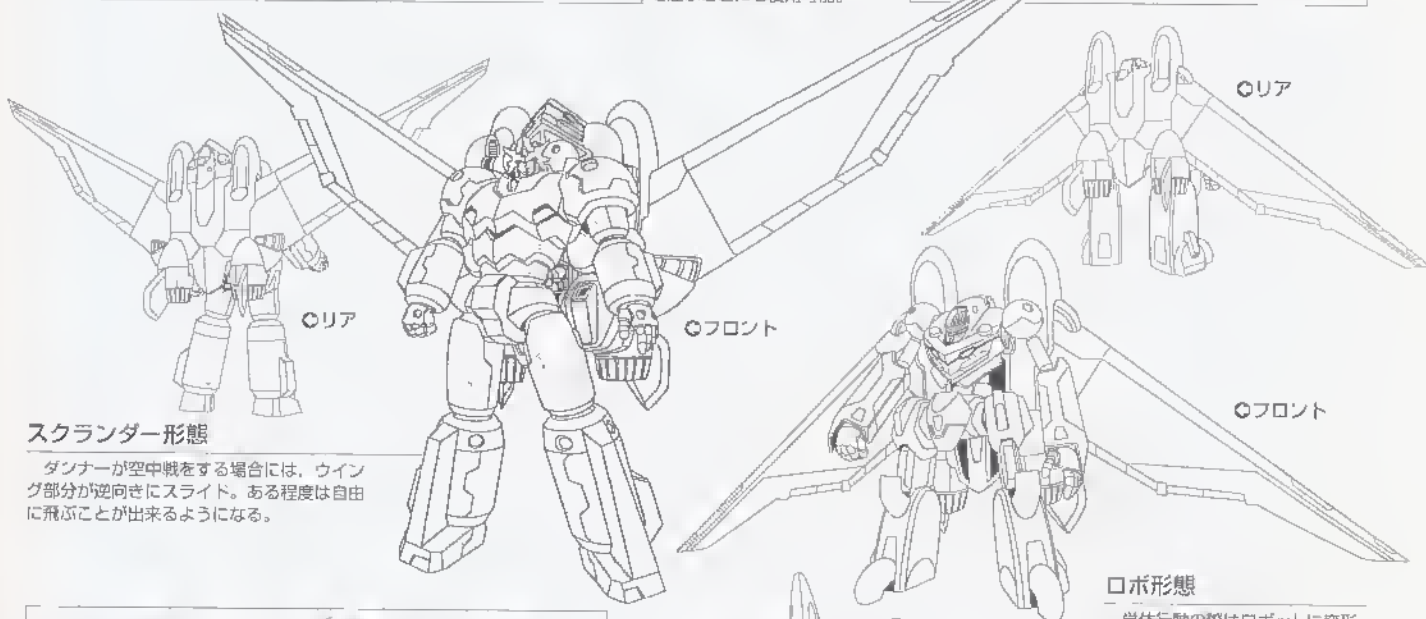
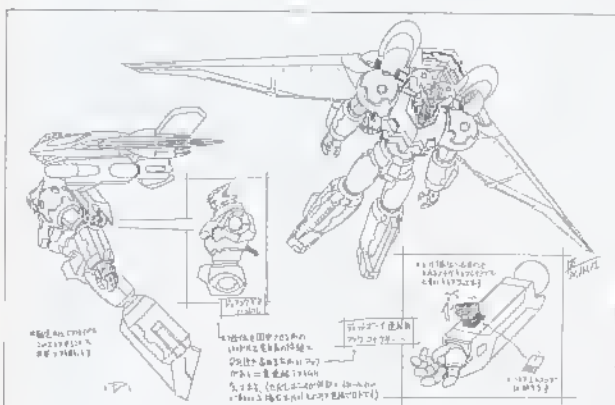
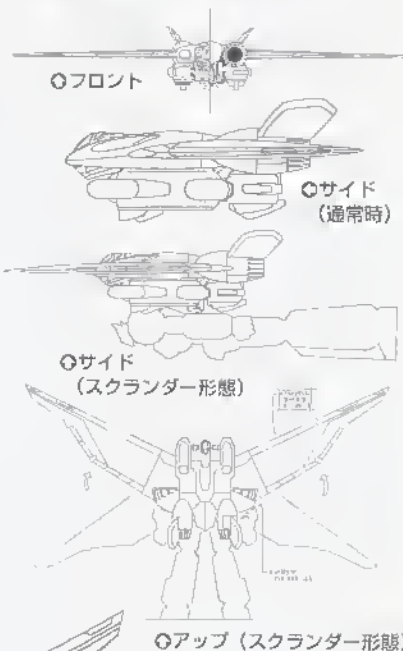
ステルス形態

戦闘中はこの形態をとり、上空で待機している。ショックウェーブによる体当たり攻撃が唯一の武器。



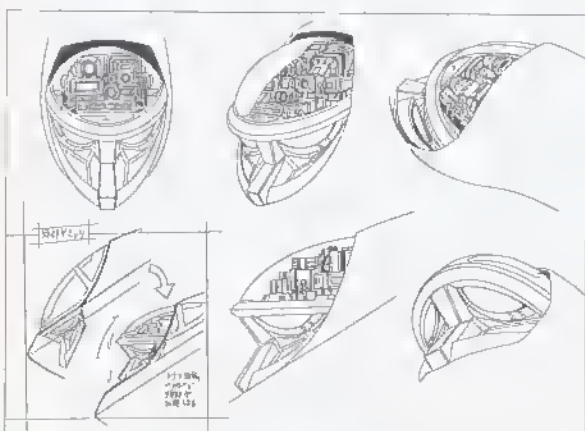
輸送形態

ロボットを戦場地域まで輸送。なお、連結するためのアームは、YP爆弾などを運ぶことにも使用可能。



スクランダー形態

ダンナーが空中戦をする場合には、ウイング部分が逆向きにスライド。ある程度は自由に飛ぶことが出来るようになる。

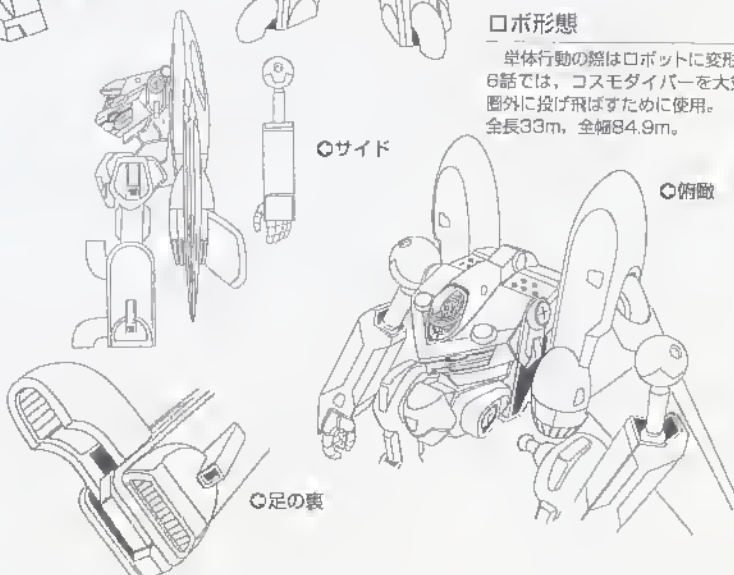


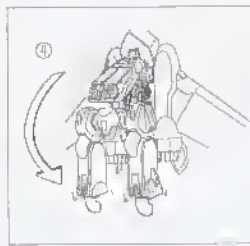
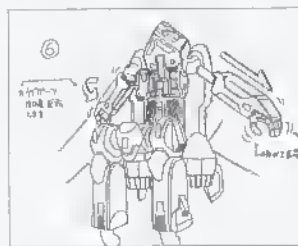
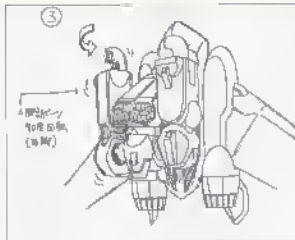
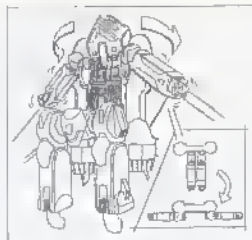
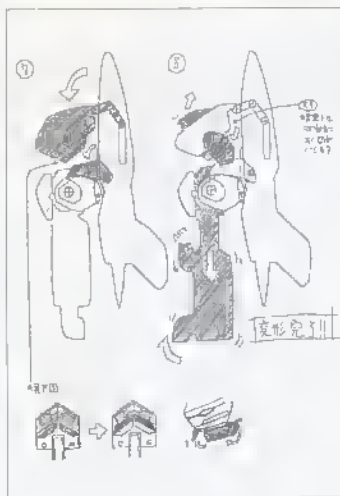
ヘッド

頭部には各種センサーやカメラアイなどが搭載されている。人間では行けないような場所でのデータ収集など、多様な局面で使用できる。

ロボ形態

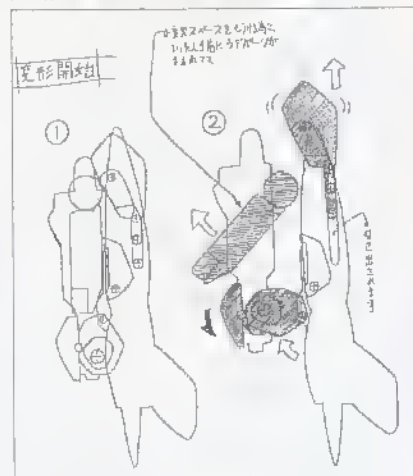
単体行動の時はロボットに変形。6話では、コスモダイバーを大気圏外に投げ飛ばすために使用。全長33m、全幅84.9m。





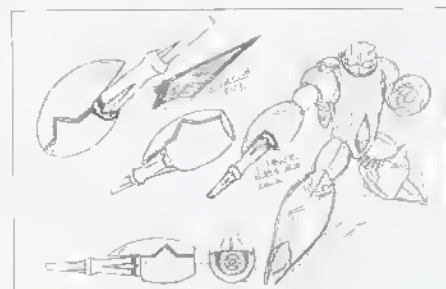
ジェットボーイ変形ギミック

ステルス形態からロボ形態への変形ギミック。ステルス形態へ戻るときは、この反対の手順で完成。



ヘッド

子どもロボといわれるだけあって、目が大きく、童顔な感じ。その大きな眼はライトになって、間を照らす。



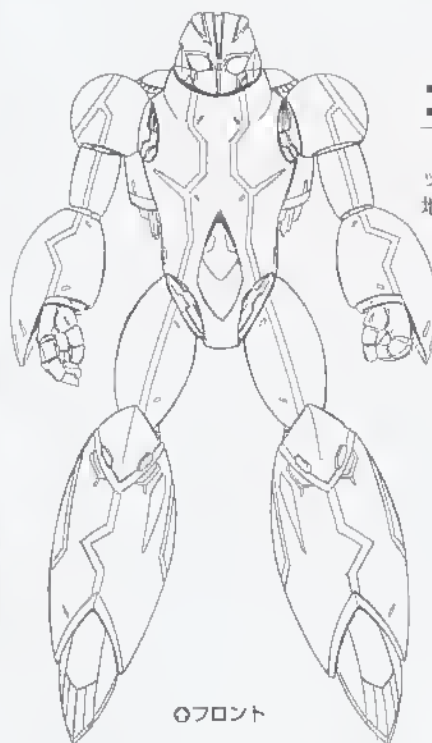
ダイバーショット

コスモダイバーのメイン武装。手首部分を収納後、ビーム砲をスライドさせる。片方だけでも装備可能。



コスモダイバー（親子合体ロボ）

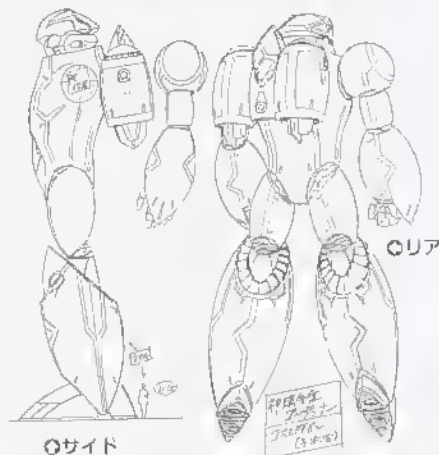
ロウ・ルーが搭乗。バックパック部分はコスモダイバー（子どもロボ）。ヘッド部分両側に、回転式ビーム砲を装備している。



○フロント

コスモダイバー

ロウ・ルーが搭乗するコスモベース所属のロボット。宇宙空間で稼働できる。水圧にも強いため、地球上では、深海底などでも戦闘行動可能。

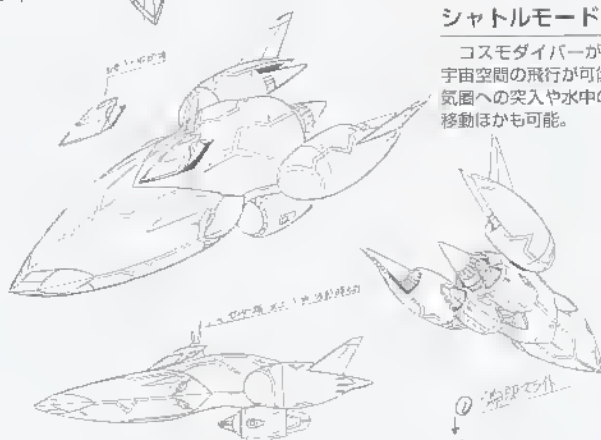


○サイド

○リア

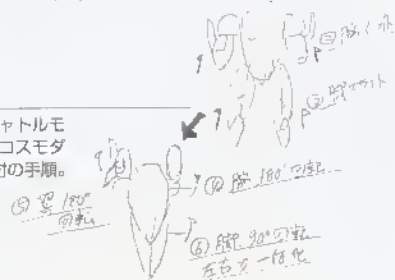
シャトルモード

コスモダイバーが変形。宇宙空間の飛行が可能。大気圏への突入や水中の高速移動ほかも可能。



変形ギミック

コスモダイバーからシャトルモードへの変形ギミック。コスモダイバーに戻るときは、反対の手順。

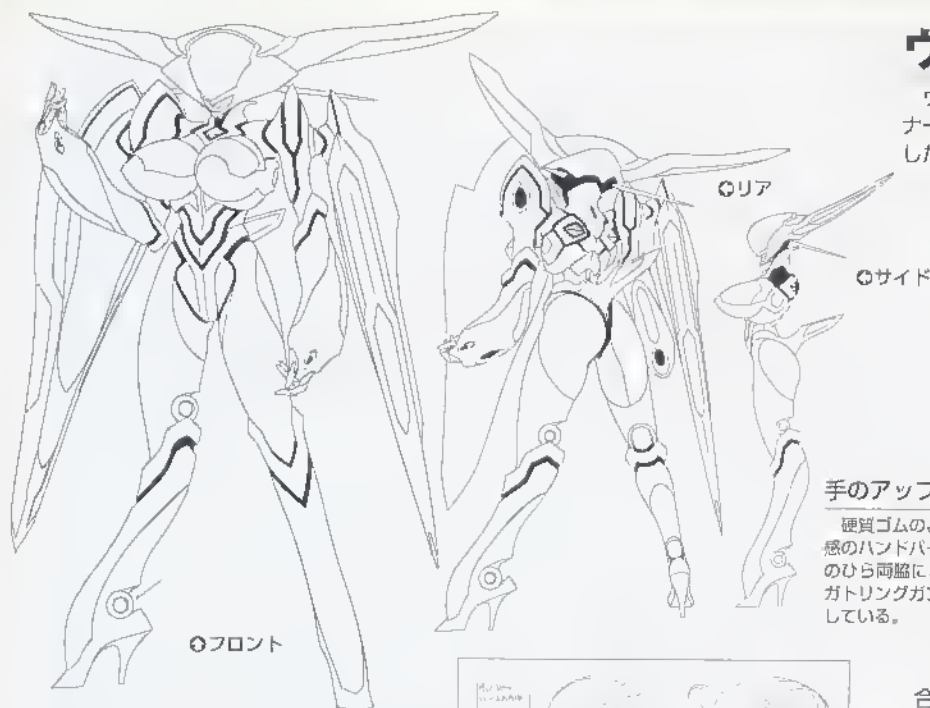


コックピット



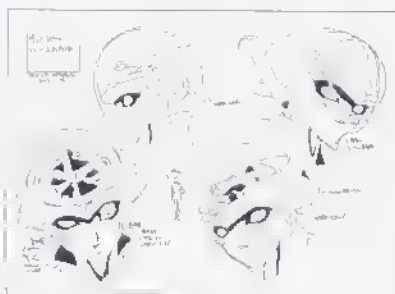
ヴァルスピナー

ヴェガベース所属。エカテリーナのヴァルスピナーと、クラチョフのスレイプウィングが合体した姿。光のムチ、ホットリッパーを操る。



ヘッド

合体前よりも目の形が鋭くなる。光ったときだけ、ヘルメットを通して目の中が見えるようになる。



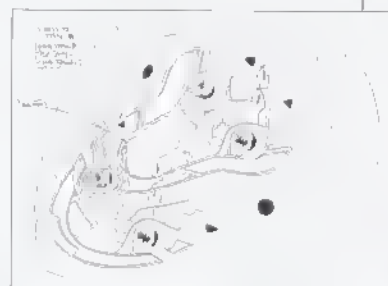
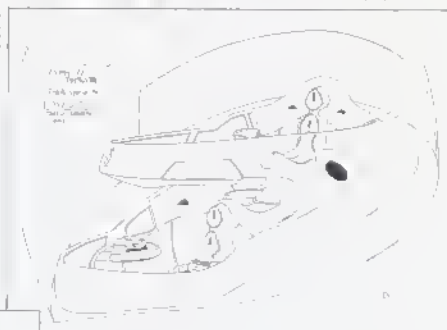
ヘルメットの内側

ヴァルスピナーのcockpitは頭部にある。基本的には、ヘルメットで厚く装甲されている。

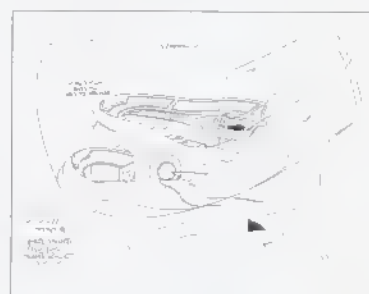
合体後のcockpit

クラチョフの操縦席の頭上にエカテリーナのシートがある。戦闘時の運動量は圧倒的にクラチョフが多い。

全体



上面



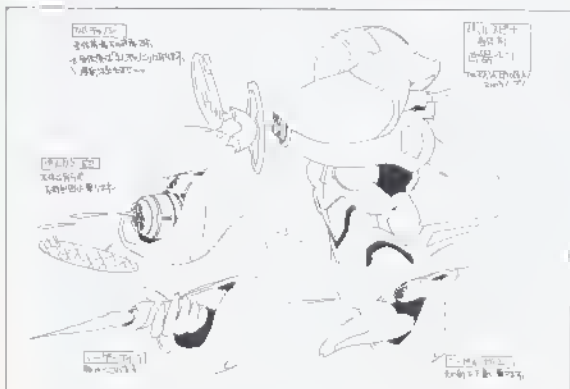
サイド



前面

合体後の武器

両耳部分からのビーム・ブーメランや腕部からのホットリッパー、胸部キャノン砲や、ダブルニードルガンなど多くの武装を備える。



レバー

ひじキャノン／バルカン砲／レーザーナイフ／ニードルガン

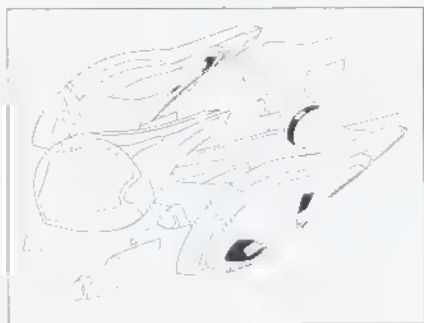
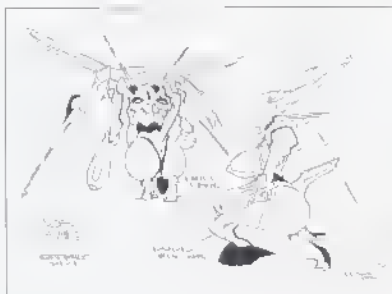
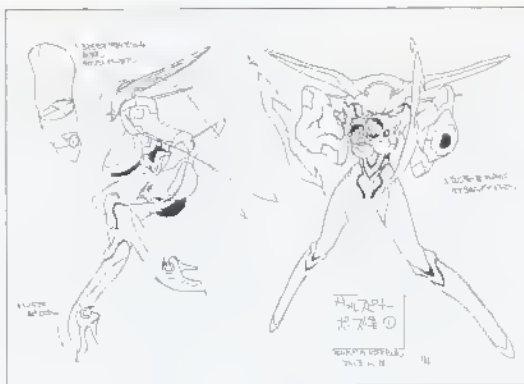
腕にほとんどの武装が集約されている。合体前の最大武装であるひじキャノンは、合体後は胸部キャノン砲として使用可能。



後面

ヴァルスピナーアクションポーズ集

アクションシーン作画にあたっての設定。胸部は自在に変形可能で、ボディラインはS字が基本。

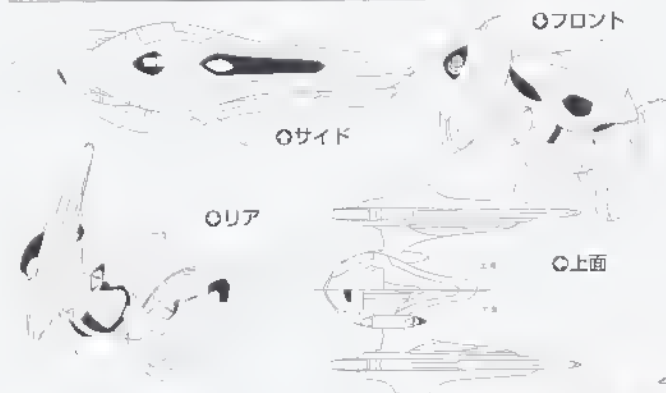


スレイブウイング

ククラチョフが乗る。合体するときには、ヴァルスピナーの上半身パーツに変形する。

エカテリーナ機

エカテリーナが搭乗する機体。合体後に比べると、少し丸みを帯びたような印象がある。



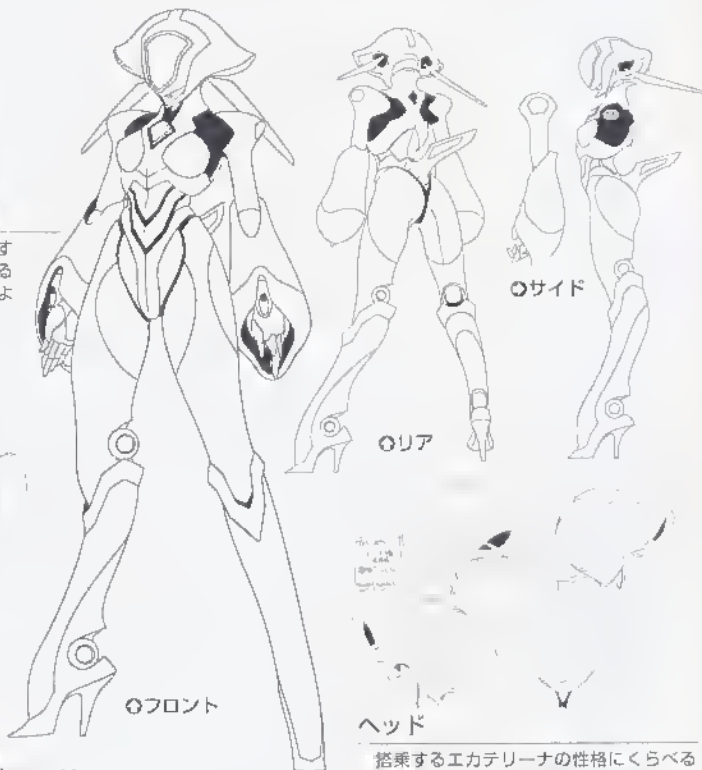
○フロント

○サイド

○リア

○上面

○フロント



○サイド

○リア

ヘッド

搭乗するエカテリーナの性格にくらべると、かなり大人しい雰囲気のある顔部。



スレイブウイング着地モード

着地する際には、機体中央から支柱を出して、3点で支える仕組みとなっている。

スレイブウイング変形

合体する場合は、ウイング部分が回転して、ヴァルスピナーの腕パーツに変形する。

ヴァルスピナー
コックピット

全天球型モニターを備えたコックピット。操縦桿はトリガータイプを装備している。

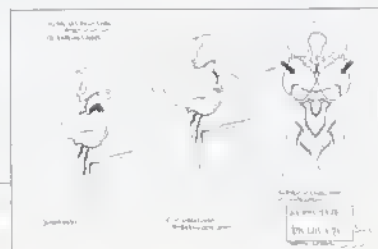
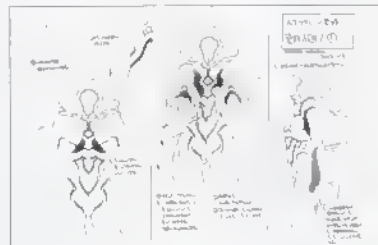
スレイブウイング
コックピット

基本的に、エカテリーナ機と似た構造だが、少し簡素な作りになっているようだ。



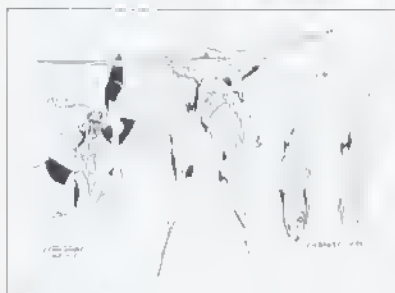
エカテリーナ機変形

腰や脚部など全体が伸びることで合体後のボリュームを確保。さらに、腕部分が胸部パーツに変形する。

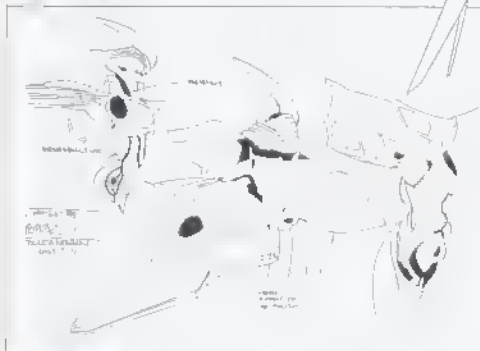


ジェネシスター

シリコンベース所属ロボット。ジェネシャドウとルナシスターが合体。武装はライトニングニードルなどで、遠距離攻撃が得意。



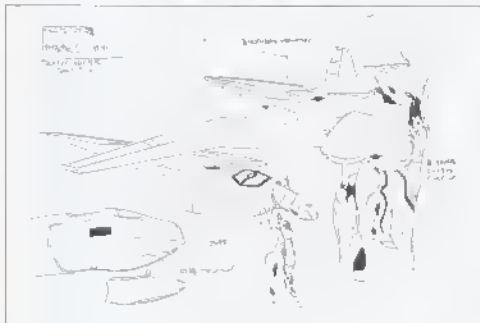
背面／左腕



背中詳細部

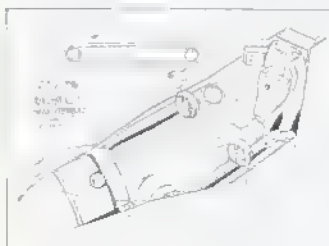
翼アップ

ルナシスターがジェネシスターの翼になる。ライトニングアロー発生器となっている。



変形プロセス

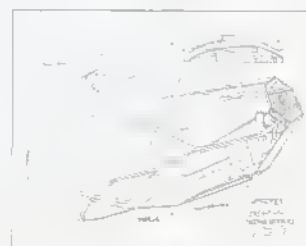
ジェネシャドウが上半身、ルナシスターが下半身とウイング部分に変形して合体する。



コックピットモニター



コックピット背面



コックピット全景



Qリア

Qフロント

手

左手はライトニングニードルの弓部分のため、右手のみの設定。爪状の部分は弓を張くため。

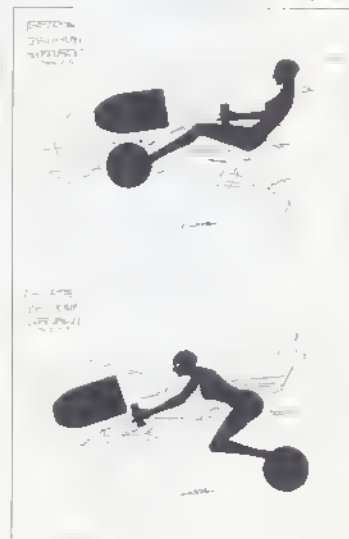


左腕武器変形プロセス

通常時は、バルカン砲装束の楯状だが、ライトニングニードル射出時には弓状に変形する。

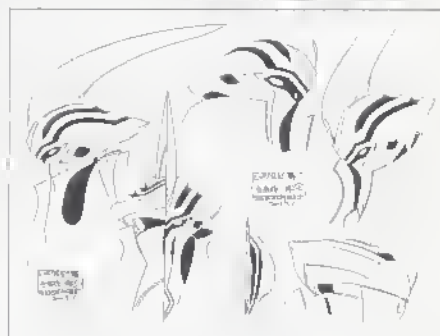


コックピット横面



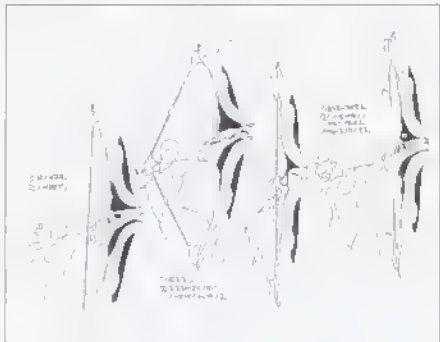
ヘッド

頭頂部の長い角が大きな特徴。あまり人間の顔に似せないとこは、アメリカ製らしい機能重視の合理的設計。



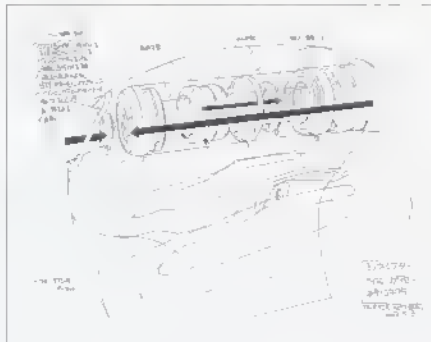
ライトニングニードル発射ポーズ

ロボットではなく、人間をモデルにして、ライトニングニードル発射のアクションを解説。



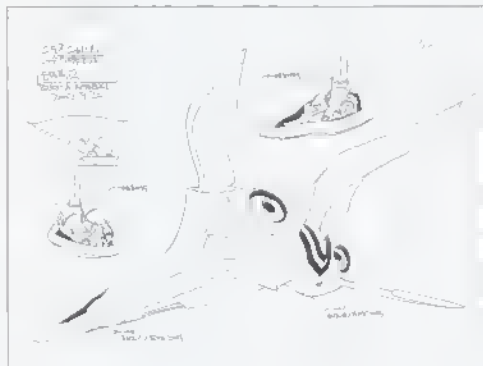
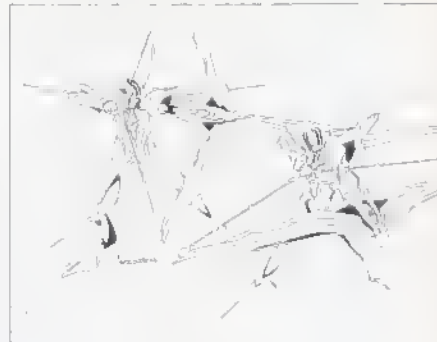
発射コネクター

ライトニングニードルの発射システムの図解設定。複雑な仕組みで発射されているのがわかる。



ライトニングニードル

光の針を連射できる。また状況に応じて、縦撃ちや横撃ちなど自在に撃ち分けることができる。



ジェネシャドウ

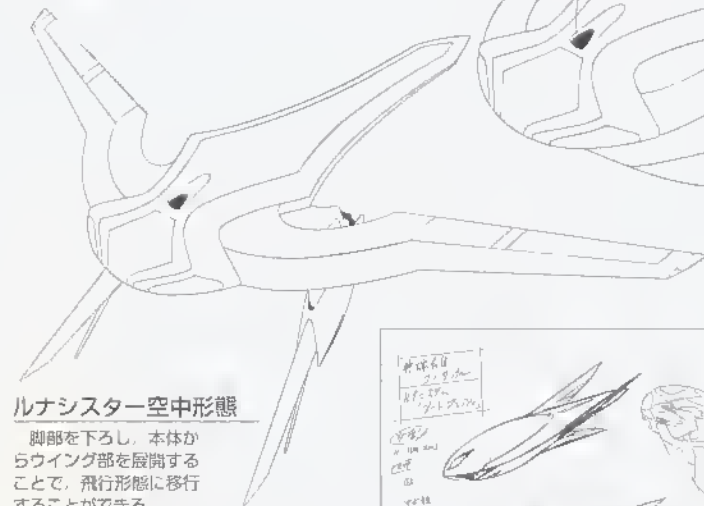
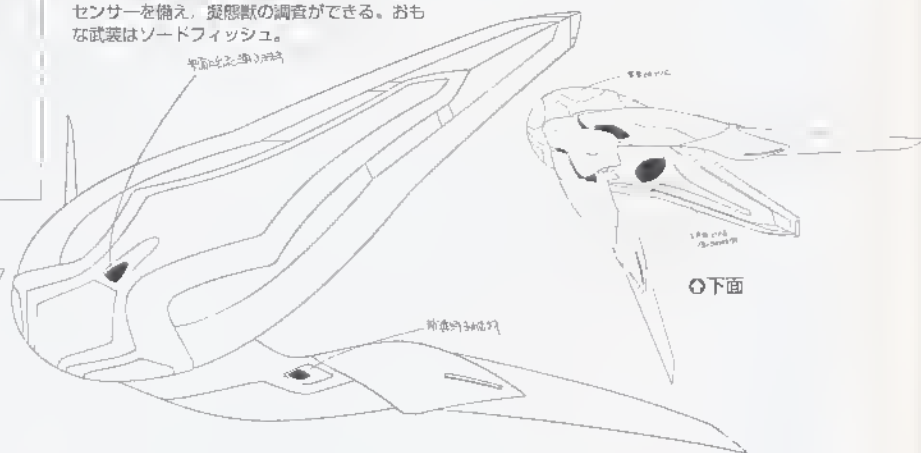
シャドウが乗る機体。空中戦が得意な機体。ジェネシスターの下半身ユニットになる。おもな武装はヒートクロウ。



上・下面

ルナシスター

ルナが乗る機体。水中戦ができる。また各種センサーを備え、変態獣の調査ができる。おもな武装はソードフィッシュ。

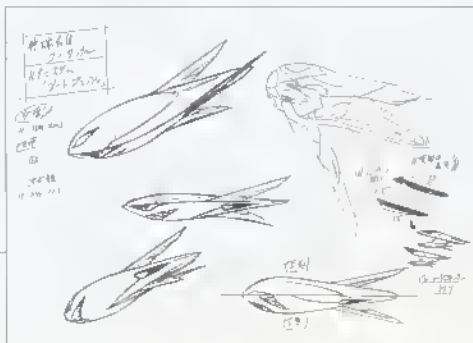


ルナシスター空中形態

脚部を下ろし、本体からウイング部を展開することで、飛行形態に移行することができる。

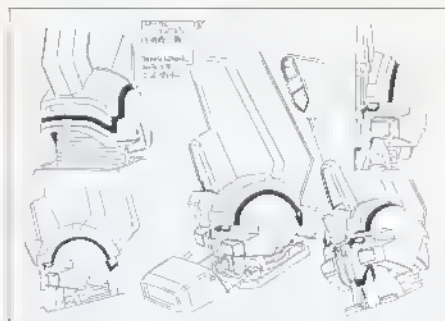
ソードフィッシュ

ルナシスターの機体下部から射出される魚雷。ロックオンした標的を追いかけっていくことができる。



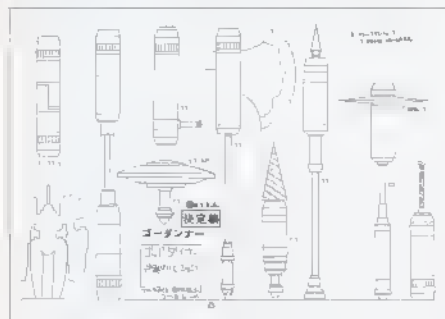
脚の動き

水中では脚部が本体の動きにあわせて左右に動する。



ヘッド

アメフトのヘルメットのような頭部。まっすぐに伸びた巨大な角が力強さを表している。



ゴッドダイナー武器バリエーション

ロングホーンは、内蔵しているギミックによって、さまざまな武器に変えることができる。

ゴッドソニック

シュクユウが乗る機体。空中から、ツインバスターなどで敵を攻撃する。



○リア

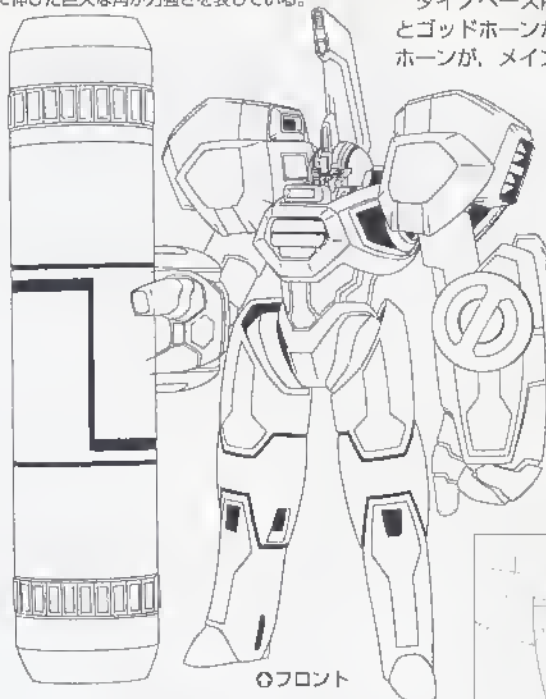
コックピット

曲線で構成された優雅なコックピット。円盤タイプの操縦桿で、身軽な操作性が特徴的。

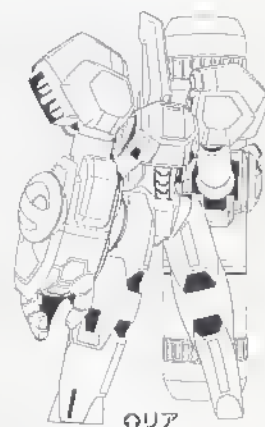


ゴッドソニック変形プロセス

ウイング部分を反転させることでゴッドダイナーの下半身ユニットに変形する。



○フロント



○リア

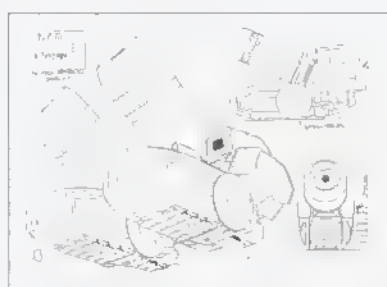
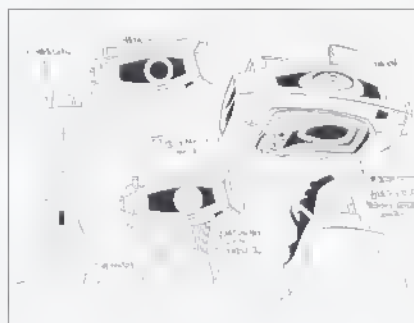


合体後コックピット

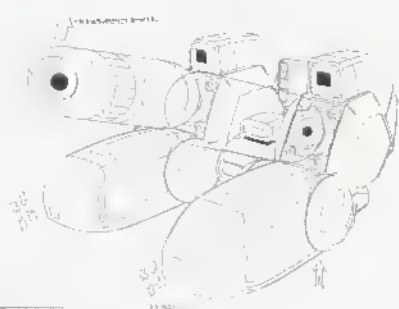
ナビゲーター的な部分を上部のシュクユウが担当。戦闘は主に、モウカク側で行うようになっている。

合体プロセス

ゴッドホーンが変形した上半身ユニットに、ゴッドソニックの下半身ユニットが合体。

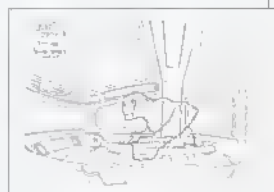


○下・横



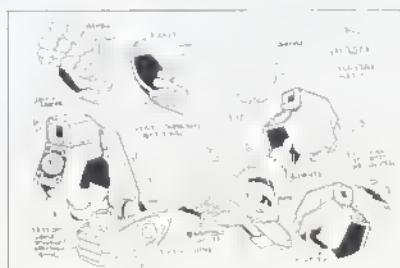
ゴッドホーン

モウカクが乗る機体。キャタピラー移動による地上からの迎撃タイプ。強力なロングホーンシュートを放つ。



コックピット

身体のまわりをぐるりと囲んだ、大きなハンドルを使う。特殊な操縦桿が大きな特徴。



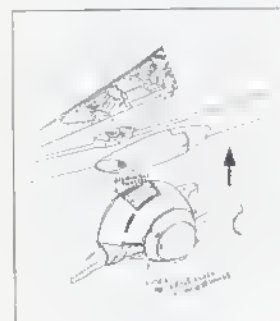
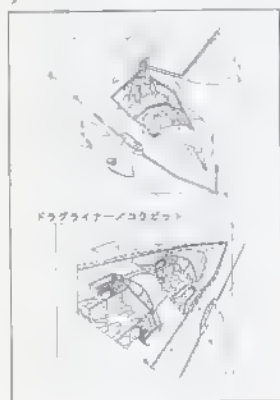
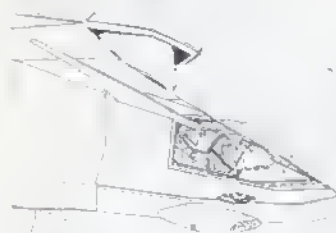
コックピットパネル

ゴッドホーン変形プロセス

巨大なロッドをいったん削り出してから変形。腕を出して上半身ユニットになる。合体すると頭部が出現。

コックピット

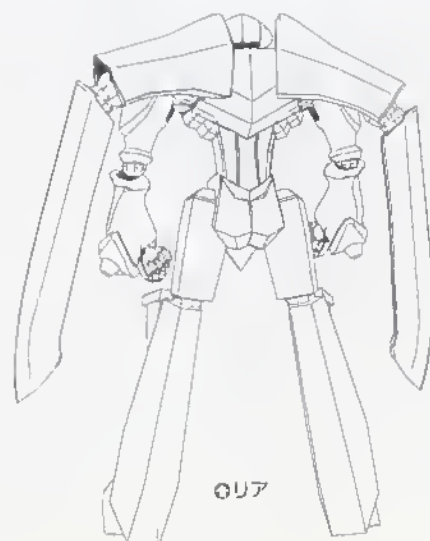
エリスが前、ナイトが後ろに座る複座式コックピット。スーパーノヴァ発射トリガーは前部シートにある。



ドラグファイター武器



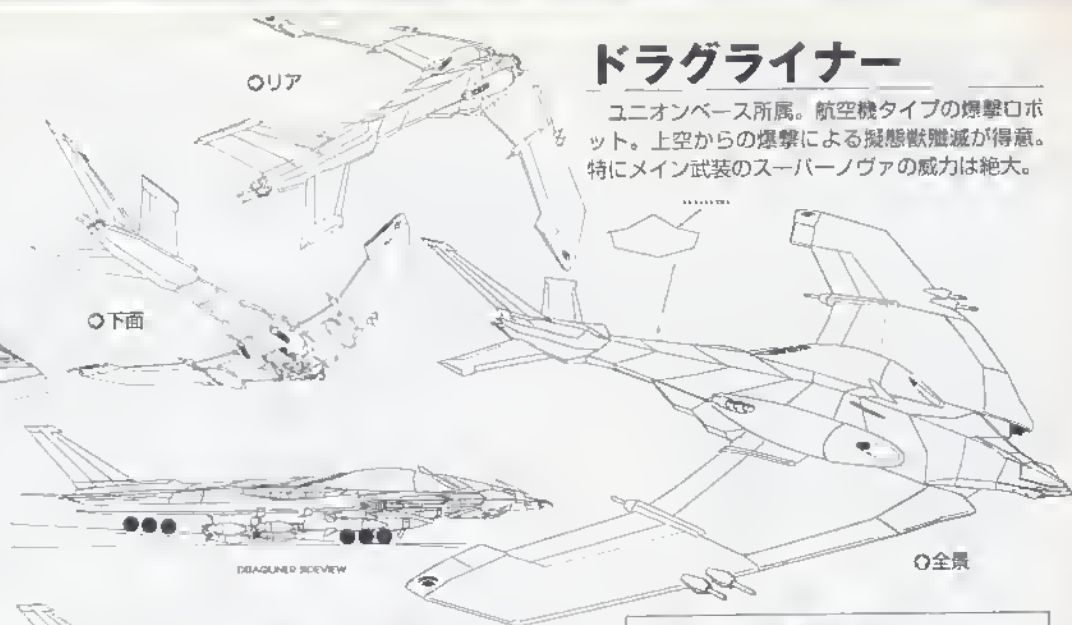
○サイド



○リア

ドラグライナー

ユニオンベース所属。航空機タイプの爆撃ロボット。上空からの爆撃による擬態獣殲滅が得意。特にメイン武装のスーパーノヴァの威力は絶大。



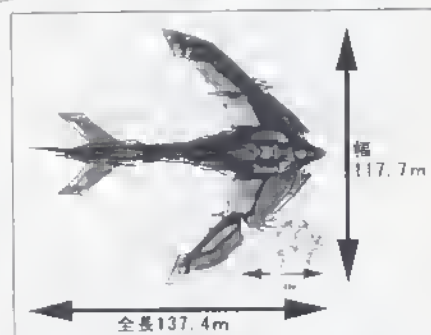
○下面

DESIGNED VIEW

○全景



○サイド

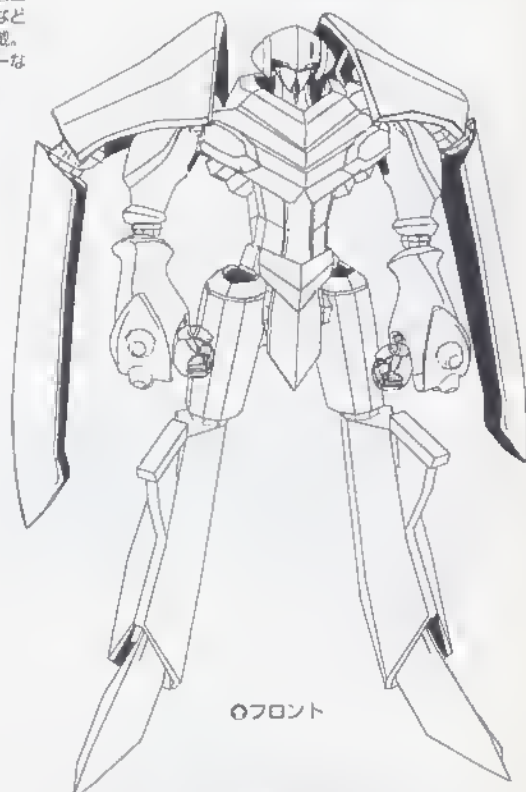


ドラグライナー比較図

ドラグライナーとドラグファイターの比較図。トップライナーくらいの大きさならば難なく収納できる。

ドラグライナー武装

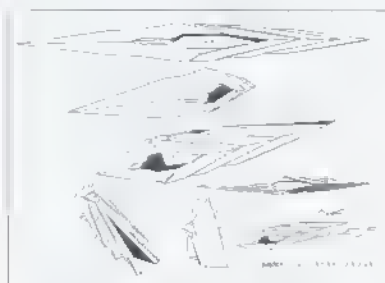
スーパーノヴァなど各種ミサイルを搭載。またドラゴンローなども装備している。



○フロント

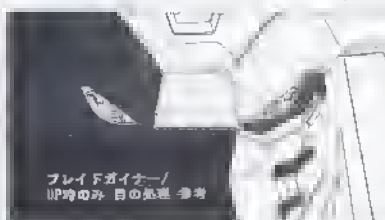
ドラグファイター

ナイトが乗るロボット。ドラグライナーから分離して格闘戦をすることができるロボット形態。強力な武装はないが、敏捷性の高い機体。



ブレイドガイナーの苦無

ブレイドガイナー基本武装のひとつ。3本を指の間に挟んで同時に射出。苦無はそれぞれジェット噴射機能を装備。



ブレイドガイナー/
UP時のみ、目の処理 参考

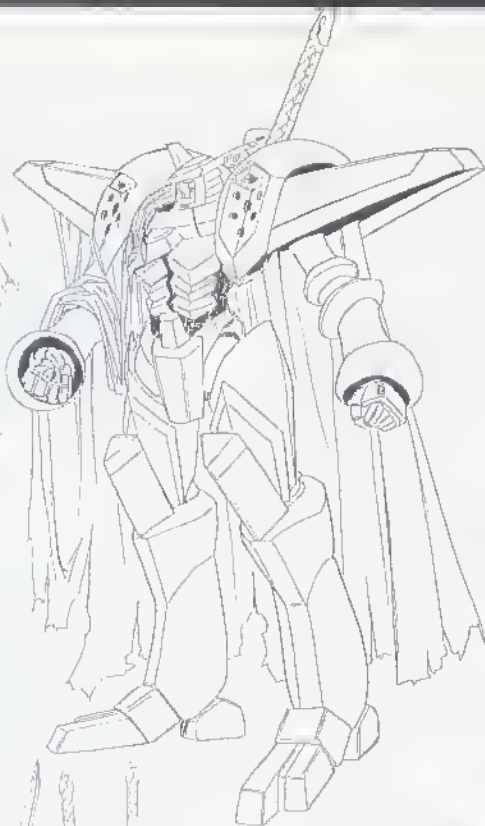


プラズマドライブ

ブレイドガイナーはゴードンナーと同じく、胸部にあるふたつのシングルプラズマドライブで稼動する。

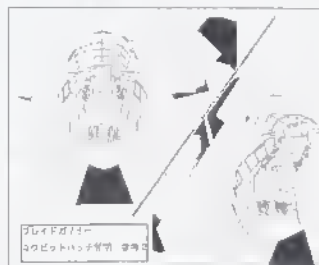
刀の握りかた

左利きなので、刀の握りかたも、右手が柄下になる。これはゴードンナーが右利きのに描かれることの対比だろう。

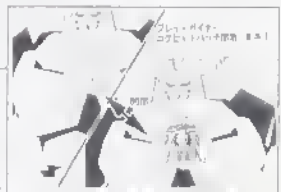
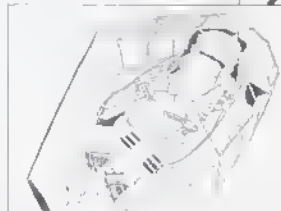


ブレイドガイナーの刃

通常の手持ち武器。ヘルスウィンドーで敵の動きを封じての必殺技、デストラッシュでも使用。

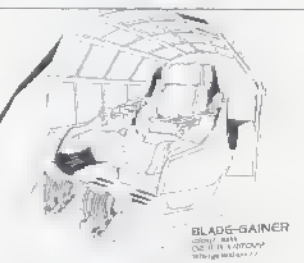


ブレイドガイナー/
2のビットハッチ開閉 参考

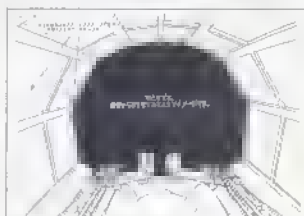


コックビット開閉

ブレイドガイナーの胸部外装が開閉し、内部からコックビットごと、せり出すようになっている。



BLADE-GAINER
COPY RIGHT © 1997
SHINJI KAWAMOTO

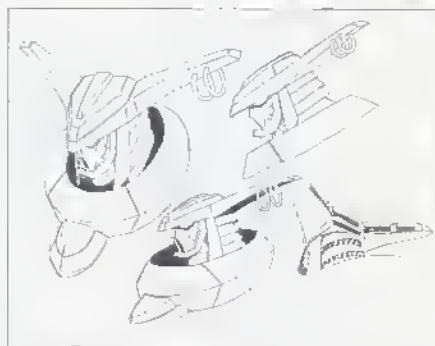


コックビット

刀の柄風にデザインされたグリップをしている。シートも、他のロボットのものに比べて座り心地の良さそうなり。

ブレイドガイナー

剣が乗るロボット。どこのベースにも所属していない。パイロット同様、詳細は不明だが、シングルプラズマドライブを搭載している模様。



ヘッド

頭部にある2本の突起部は、ヘルスウィンドー吸入口になっていると思われる。ピアス状の飾りの用途は不明。

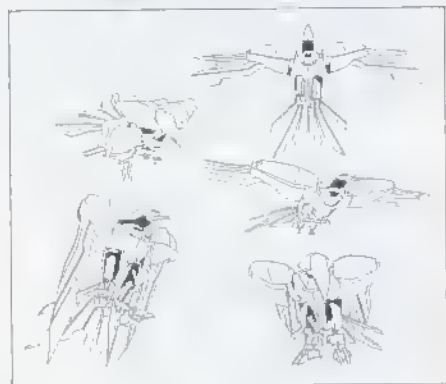
アクションポーズ参考

右肩部分はすっぽりとマントに覆われて、左肩部分にはかかっていない。これはブレイドガイナーのアクションが、人間でいうと左利きの的に描かれるため。



ジェットクロウ

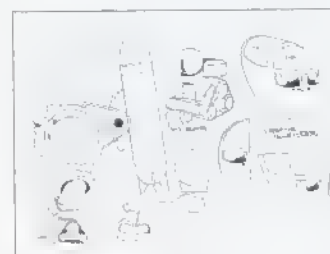
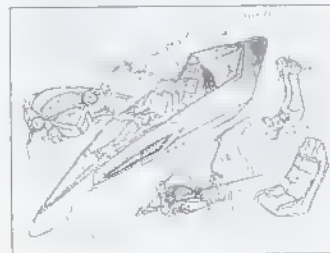
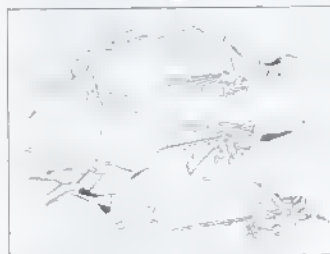
ブレイドガイナーのサポートロボット。ブレイドガイナーの空中輸送に使われる。また、翼をたたんで肩にとまらせておくこともできる。



○フロント

コックピット

複座式のシートが設置されており、ある程度の弾薬も搭載できるので、単体での攻撃も可能。



○各部

○○サイド

→全長25.75m。ブレイドガイナーの肩にとまっている姿は、まさしく鳥そのもの。

○フロント

○リア

ファットボーイ

○下面

○上面

○リア

サンダーボーイ

○サイド

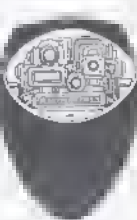
デザートボーイ

○フロント

ジェットボーイ(ロボット形態)

ボーイ級ロボット

パイロットが乗るロボット、いわゆる有人式人型巨大兵器をサポートするために造られた無人式の巨大兵器。用途によってさまざまなタイプが造られた。総称して「ボーイシリーズ」ともいう。高性能A1を搭載しており、作戦や戦況による自立した判断ができる。



ボーイシリーズ共通 頭部の内部メカ

本来人間が乗るコックピット部分。カメラアイなどの感覚器官のほかに、A1など各種精密メカが搭載されている。ただしボーイ級の一種と思われるジェットクロウには、コックピットが乗せられている。





ファットボーイ

ベクンベース所属の対空戦用ボーイ級ロボ。ミサイル2門と8門のマシンガンを装備している。



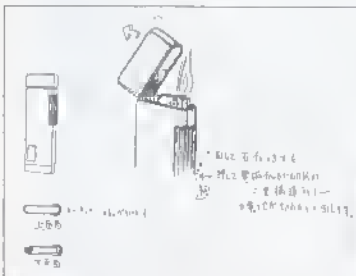
サンダーボーイ

空中戦専用に開発されたボーイ級ロボ。ドラグライナーに次ぐスピードを誇る。



指輪

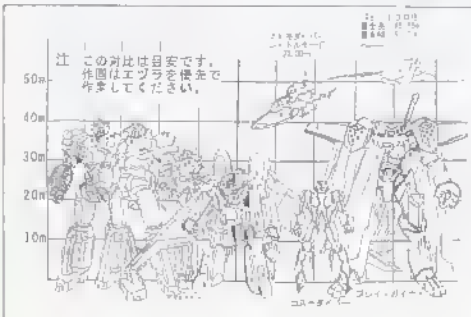
パートナー同士の絆を結ぶ指輪。ゴオと杏奈のものは、「ゴーファイト!」の掛け声でパイロットスーツ姿に変身できる。



霧子専用ライター

一見、ローラータイプに見えるが、実は電磁式。しかし電池切れのときにはローラーで石炭火可能。

ブレイドガイナー



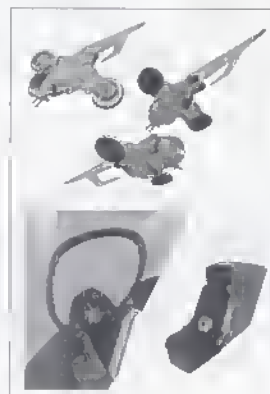
クラブマリナー

マックスが乗っていた。水中行動可能なロボット。単体でシールドをはくことが可能。



Gアロー

救助や、人員輸送などに使用される。垂直離着陸が可能。武器は搭載していないが、かなりの速度で航行可能。



Gジャイロ

主に索敵を任務とした航空機。両翼の可動式ホバーによって自在な飛行が可能。2門のマシンガン装備。



スクーター

ふたり乗り可能で、マフラーも2本出しのスクータータイプバイク。ナビゲーションシステムも搭載。



↑ブルー塗装のスクーターが2話で壊れたため、12話ではイエローの同型に乗っている姿が見られた。

オープンカー

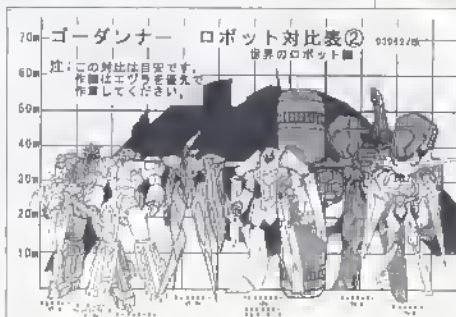
ゴオの愛車。独特のエアロフォルムをしている。右ハンドルで、ナビゲーション兼用モニターは助手席側に設置。



携帯通信機

ダンナーベース関係者は全員が持たされている。専用の携帯電話。

○世界のロボット



○ダンナーベース

ゴードンナー ロボット対比表①

注：この対比は目安です。作図はエツラを優先で作成してください。



ロボット対比表

ダンナーベース所属のロボットでは、Gガンナーがもっとも巨大だった。世界のロボットではゴッドダイナーの巨魁が目玉だが、やはり一番巨大なのはドラグライナーだろう。この比較図では全体を表示させることさえ不可能だった。ブレイドガイナーは、大きさでもゴードンナー以上。



擬態獣・融合獣

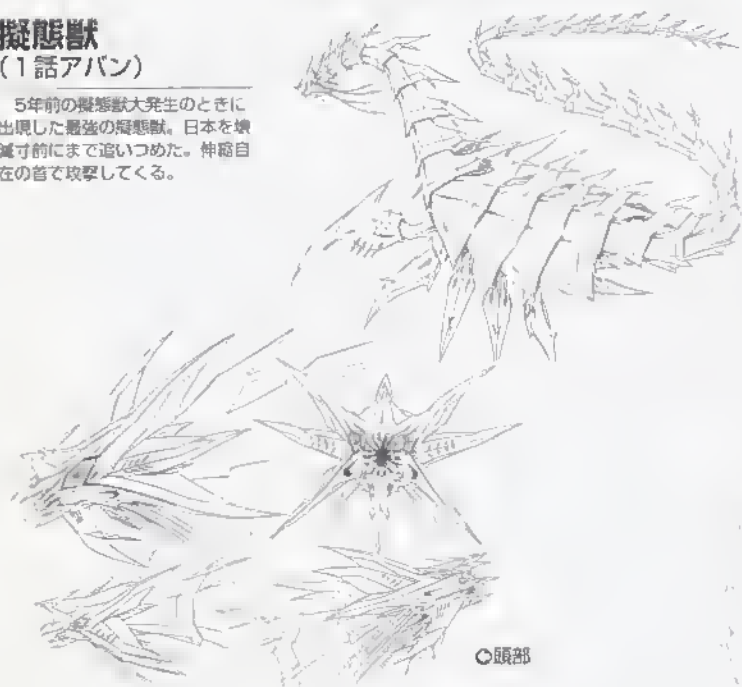
地球上の生命体とは異なる進化から生まれた、謎の生物。あらゆるモノに寄生し、擬態する特性がある。融合獣は擬態獣が複数合体、進化した。

擬態獣12号

クラブマリナーに寄生して成長を遂げた擬態獣。クラブマリナーの能力を使った戦い方でGガンナーを破壊し、コアガンナーを苦しめた。

擬態獣 (1話アバン)

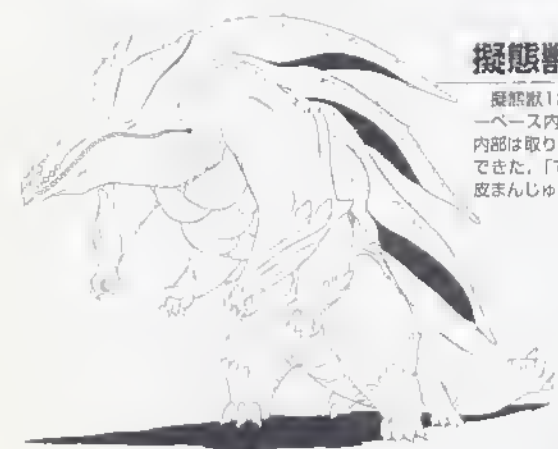
5年前の擬態獣大発生の際に出現した最強の擬態獣。日本を壊滅寸前にまで追い付めた。伸縮自在の首で攻撃してくる。



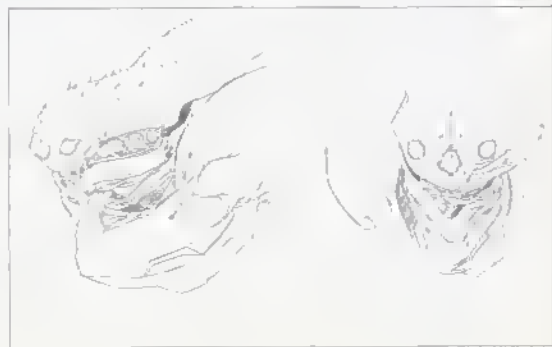
○頭部

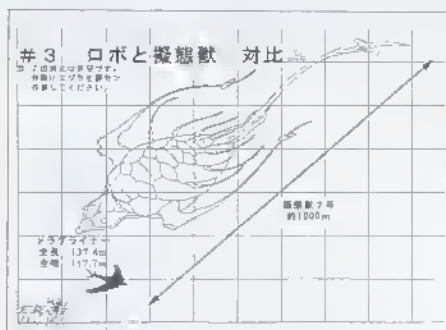
擬態獣13号

擬態獣12号の一部がダンナーベース内で成長。そのため、内部は取り込んだ石質と金属でできた、「でっかいアンコ」的構造。



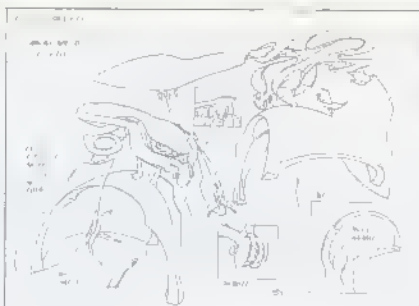
○頭部





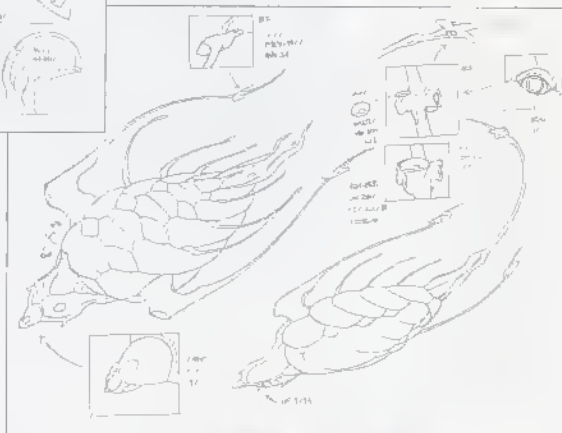
対比

全長1,000m以上という、ロボット最大のドラグライナーと比較しても、巨大ぶりがうかがえる。



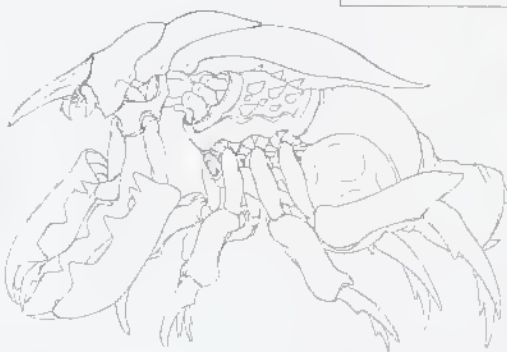
本体

7号の頭部が、実はこの擬態獣の本体そのもの。すばやい動きで、指先からウォータージェットを発射。



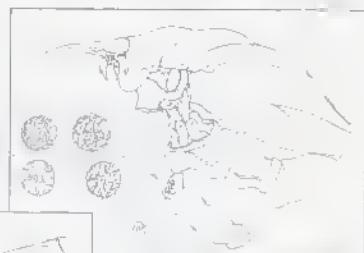
擬態獣7号

全長1,100m、推定重量1,500t、しかも毎時6.5cmで成長を続ける。しかし、ほとんどは本体を偽装するための擬態。



擬態獣16号

オアシスベースを壊滅させた。胸部の発光体によって、損傷箇所の修復機能を活性化させることができる。



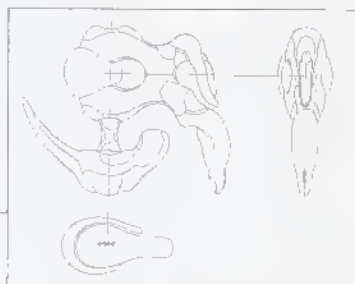
特徴である胸部の発光組織の詳細図。この図によって、実は球体であることがわかる。

頭部

角度による表現の仕方はもちろん、眼や口腔のディテールについても設定している。

頭部

狭いコスモベースの中で育ったため、眼のかわりに触覚が発達した。

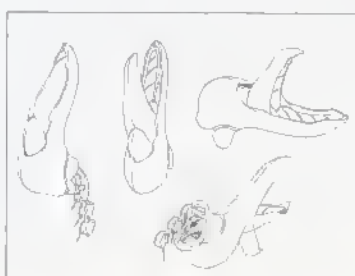


擬態獣18号

コスモベースを壊滅させた。シャトルによってコスモベースに運ばれ、宇宙空間で特殊な進化を遂げた。

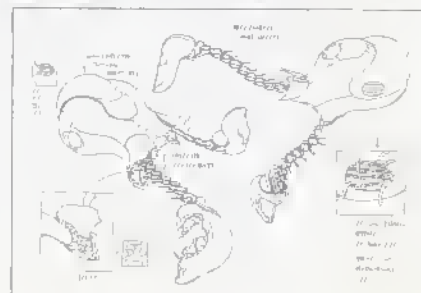
ハサミ

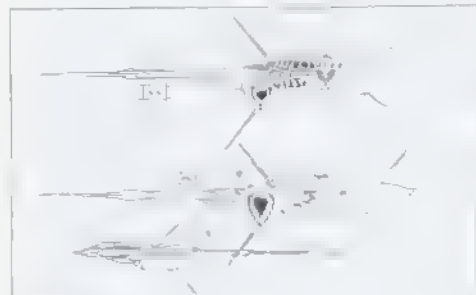
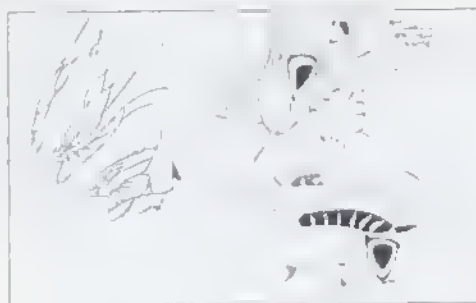
腕の先にはハサミがあり、先端からプラズマを発射。モノをつかんだり切り裂いたりもできる。



腕・触手

体節の片側には伸縮する2本のハサミ腕。また各体節下部の触手が、ベース全体に張り巡らされていた。

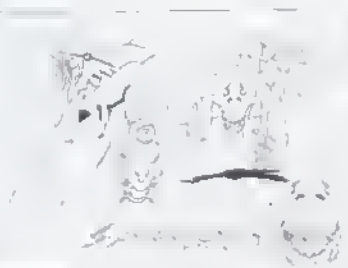




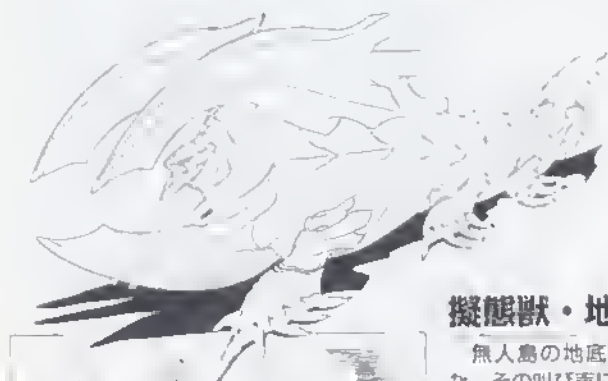
○頭部ほか

擬態獣・飛行獣

超音速で飛行する。そのスピードはドラグライナーを凌ぐほど。口からはプラズマを発射。



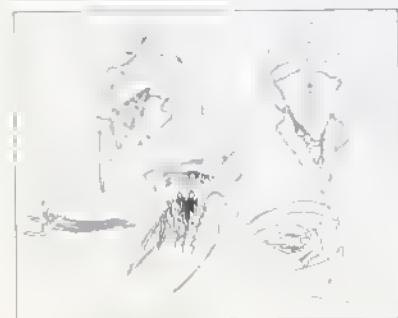
↑↓1匹のボスを中心にした群れで活動する。ボスは、頭部に角があることで見分けられる。



○ボス

擬態獣・地底獣

無人島の地底に潜んでいた。その叫び声には強力なジャミング効果があり、一切の通信などを遮断する。口からは逆乾性の液体を噴射する。



○顔部



擬態獣 (11話)

擬態獣18号とは、単一の個体から生まれた同一種。クロノニウムを使って産卵、爆発的に増殖する。

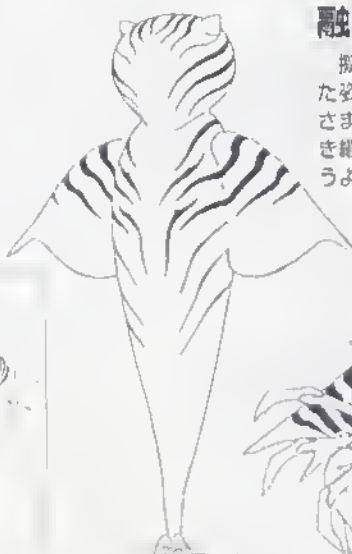


融合獣

擬態獣がさらに進化を遂げた姿。これまでに出現した、さまざまな擬態獣の特性を引き継ぎ、それぞれの弱点を補うような構造をとる。

○擬態獣 (12話)

○融合獣 (13話)



↑↑上の擬態獣7体が宇宙センターを襲撃。コアガンナーに倒された別の擬態獣を取り込んで、右の融合獣となった。



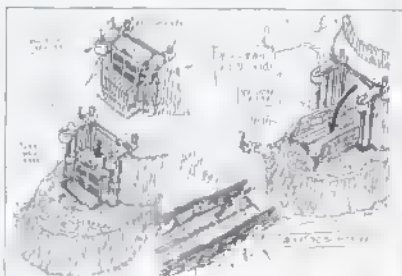
ダンナーベース

日本を侵略獣の脅威から守るために建造されたロボット基地。自然の崖を利用した発進口が、海に向かって突出しているのが印象的。



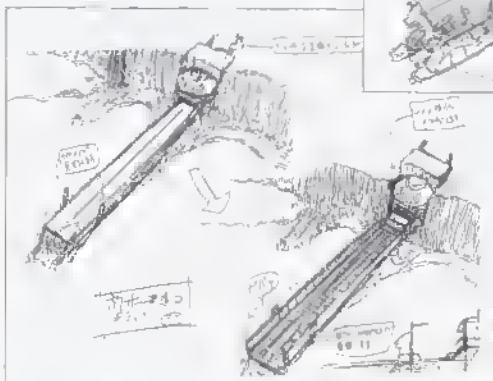
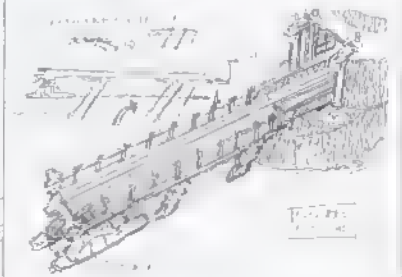
各機発進口イメージ

ジェットボーイを使った所属ロボットの、それぞれの発進口。ほかにも、湖と海からのダンナー、オクサーそれぞれのサブ発進口の場所がある。



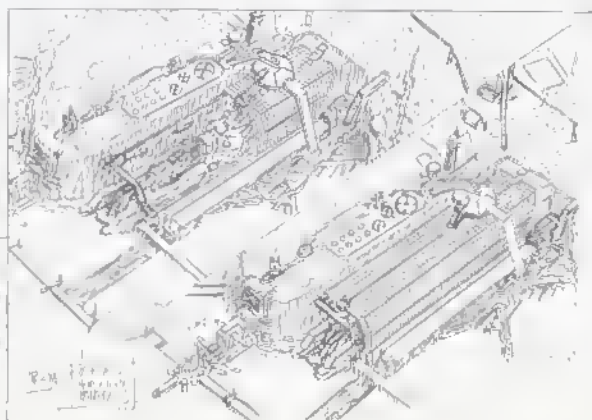
ダンナー発進口ギミック

ゴーダンナー出撃シーンで毎回描かれている、発進口のギミック詳細設定。ふだんは海中に沈められているカタパルトがせり上がり、基地施設の一部が地下に収納される。



オクサー発進口ギミック

ダンナー発進口とは違って基部そのものは常設されている。カタパルトを展開して、ハンガー出口を開けると、ネオオクサー出撃準備が完了する。



中央ブロック 開閉イメージ

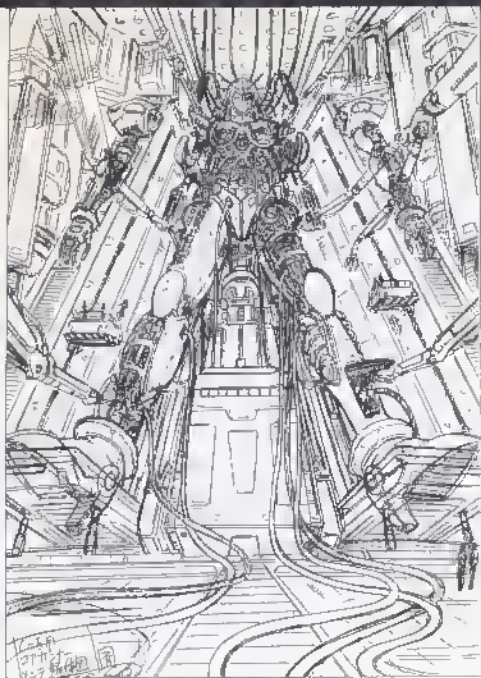
通常はカバーで全体を覆われているダンナーベース。必要があれば、カバーをスライドさせて収納し、ベース全体を露出させることも可能。

美術設定

BACK GROUND DESIGN

魅力のキャラクター、そして主役ロボットたちが活躍する舞台……。世界観も、この作品の重要な主人公といえるだろう。ここではダンナーベースを中心にした美術設定の数々を紹介しよう。



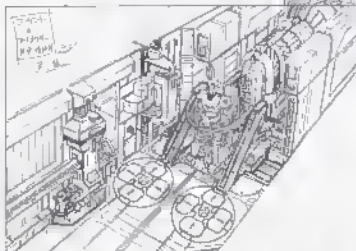


Gガンナー発進口内部

各ロボット共通。天井にジェットボーイ用ハンガーがあり、ブーストックで射出。

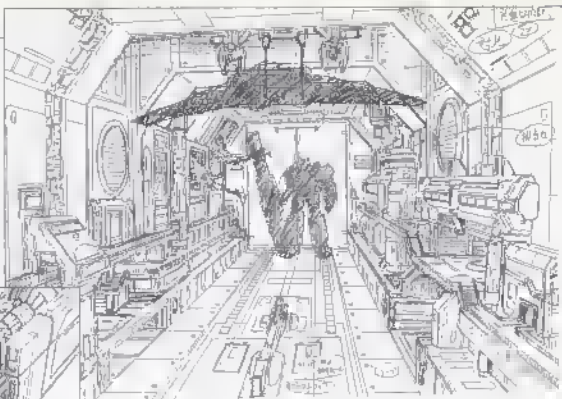
コアガンナーメンテ解体修理

コアガンナーの全面改修イメージラフ。3話ではスナイパーエンジン搭載改造も行われた。



ダンナー・オクサー共通格納庫

プラズマドライブ起動エンジン。サブフライホイールと起動シャフトドライブでロボットを起動。



メンテナンスホール

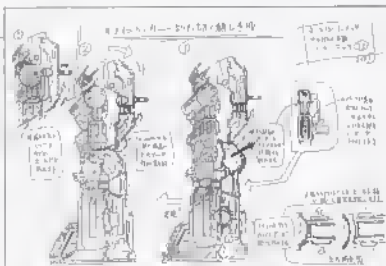
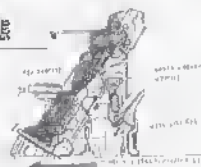
簡単なメンテナンスをする。各ロボットを、ハンガーごとダンナー・ブル上でメンテできる。

ゴードンナーのメンテナンス

芝草や林たちメカニックたちの活躍の場といえば、ロボットのメンテナンスや改造作業。ここにも細部のディテールにこだわった設定がある。

ハンガーナメ状態

機体各所のボルトやロックはそのままナメにする。簡単な作業は、この状態で行う。

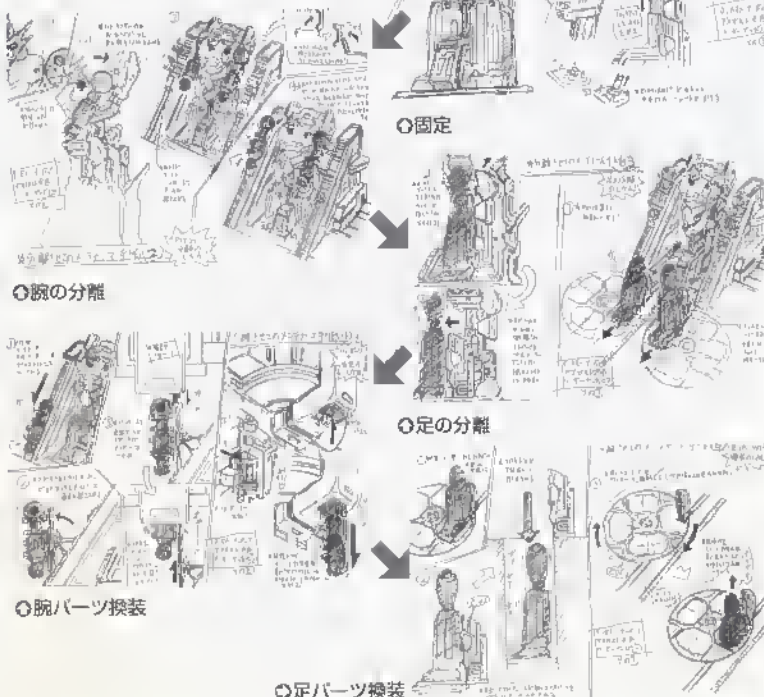


メインハンガーの切り離し手順

プラズマドライブ起動・出撃シーンのハンガーアウト設定。ゴードンナーは、肩、もも、ふくらはぎの3箇所ではハンガー固定。

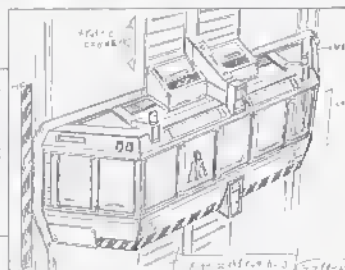
分離させてのメンテナンス手順

ロボットを全面改修メンテする場合の、各部切り離し作業と、腕・脚パーツの換装手順が描かれている。各パーツの予備は、いくつが用意されているようだ。



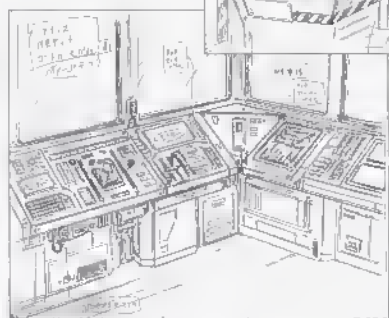
メンテナンス作業デッキ

森本や柳原たちメカニックがクレーンや、ハンガーを移動させるときに作業する。ハンガー全体を見渡せる。



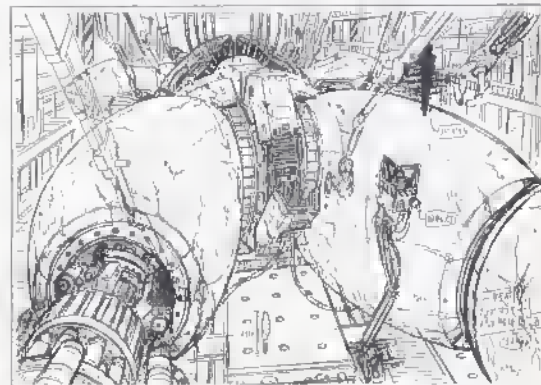
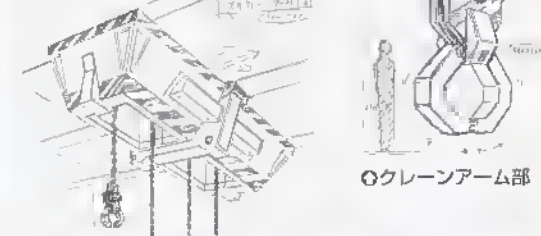
○カゴ

○コントロールパネル



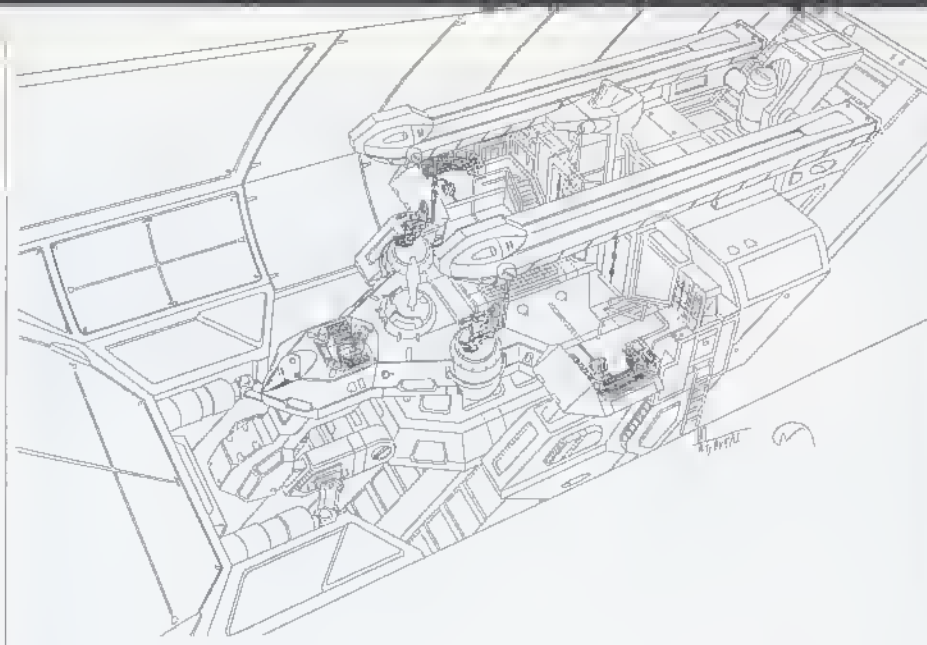
○天井クレーンアーム

○クレーンアーム部



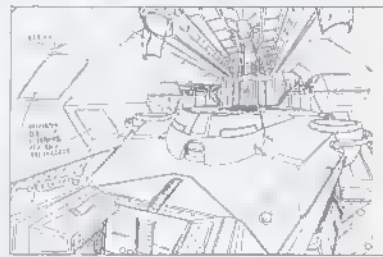
クラブマリナーメンテ解体図

2話、擬態獣に寄生されたクラブマリナーを、ダンナーベースに回収した様子を描いた設定。



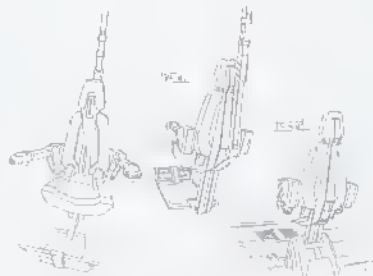
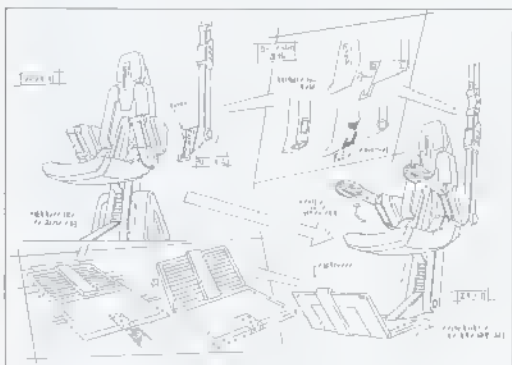
ダンナーベース 司令セクション

ベース所属ロボットへの司令や、担当エリアの擬態状況情報をすべて管轄。ほかにも、日本中の各自治体への住民避難勧告なども直接発令できる。



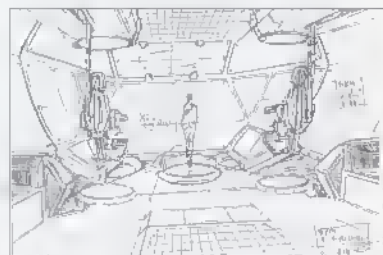
司令所

隊長の影丸や、オペレーターのコナミとモモチーが常駐している。重要な作戦会議も、ここで行われることが多いようだ。



オペレーターのクレーンイス

コナミとモモチーが座る椅子。スライド式のクレーンアームで吊り下げられている。



司令所モニター

擬態獣との戦闘データの収集や、各ベース間での連絡など、あらゆる情報を一括して表示させることができるマルチモニター。

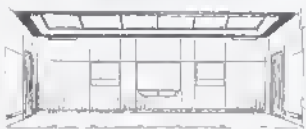
ダンナーベース 各種設備

ダンナーベースは、ロボットとそのパイロットのための、ひとつの町としての機能を持っている。各種訓練設備も、彼らパイロットのために最高のものがそろえられているのだ。



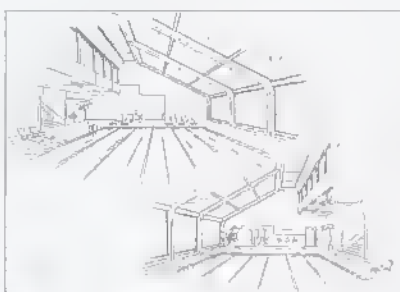
射撃訓練場

危機に対して、職員の武器携帯が許可されることも。射撃はパイロットでなくとも必須訓練だ。



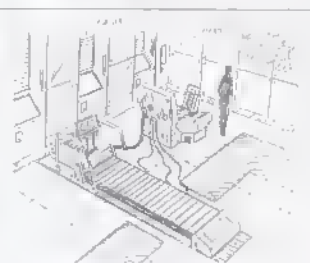
トレーニング ルーム

あらゆるエクササイズ用トレーニング機器を取り揃えている。パイロット以外でも利用できる。



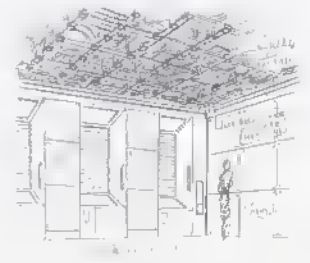
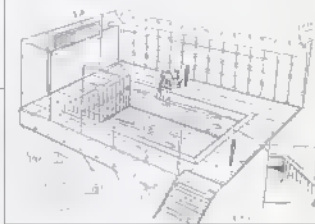
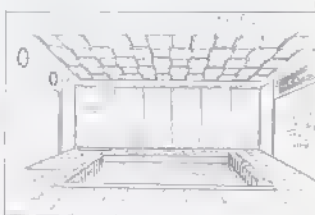
プール

四季を問わず水泳ができる温水プール。ここは、パイロット以外のベース職員も、水泳を楽しめるようになっている。



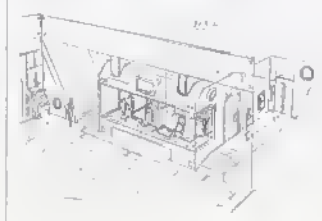
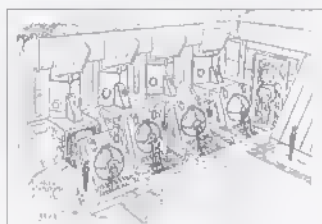
トレーニング プール

人工的に水流を起こすことができる特殊プール。ここで、パイロットのさまざまな身体データの測定が行われる。



ランニングマシンルーム

長距離走から短距離走まで、あらゆるスタイルに合わせた訓練ができる。コントロール盤では、被験者の身体データを収集。



シミュレーション ルーム

ロボットによる戦闘シミュレーション用ボットが4基ある。コントロールルームから訓練をモニターできる。



ゴオと杏奈の部屋

パイロット夫婦なので、ベース内に新居を構えた。ダイニングには、わざわざ畳敷き用に1段高くした場所がしつらえてある。

猿渡家の食器

新婚の日常風景もこの作品の見どころのひとつ。というわけで、食器もいろいろ設定された。



静流の部屋

パイロットの静流も独身用居住スペースで暮らしている。彼女の性格からか、余分なものが置かれていない、まるでホテルの1室のような雰囲気。



○バスルーム



○間取り



○ベッドルーム



それぞれの食器

食事風景もよく描かれるので、3人3様の食器も設定。実際に手にした大きさも描かれている。

芽花園学園高等学校

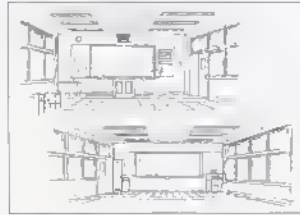
杏奈と忍が通う高校。4階建て本校舎を中心に各設備が充実。ダンナーベースとは、岬の灯台を挟んだ反対側の海岸沿いに建っている。



○校門



○グラウンド ○全景



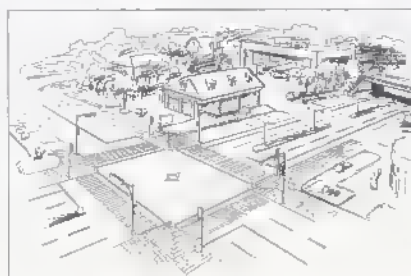
○教室



○廊下

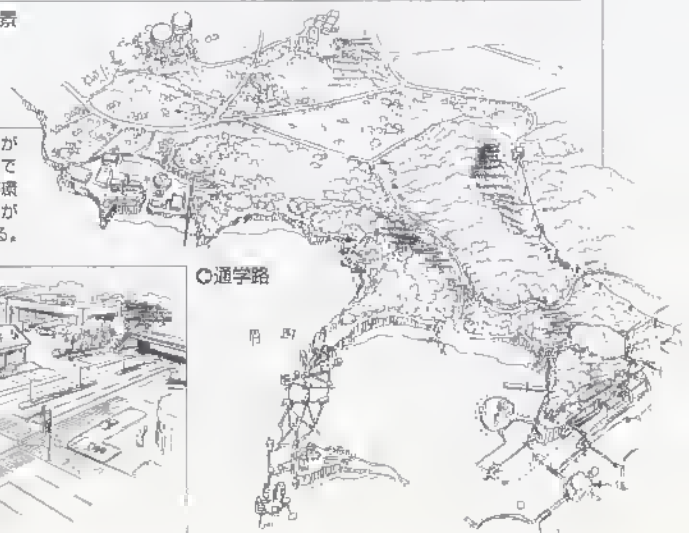
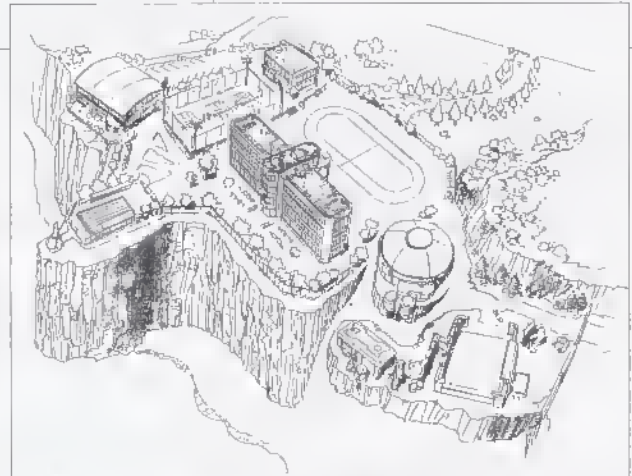


○教室からダンナーベース方面を見る



学校付近

市街地に隣接しながらも、大自然を満喫できる素晴らしい教育環境。通学路には生徒が憩うファミレスもある。



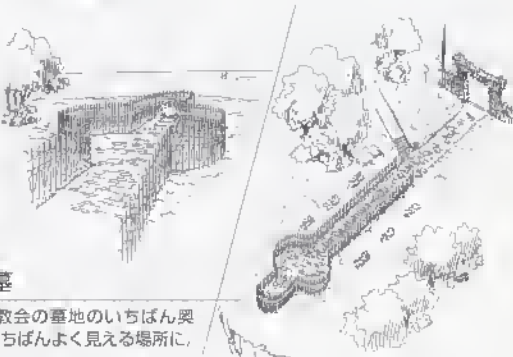
○通学路

教会

1話でゴオと否奈の結婚式が行われた教会。ミラの墓も、この敷地内にある。じつは、旧ダンナーベース上に建てられており、墓の下にはネオオクスーが封印されていた。



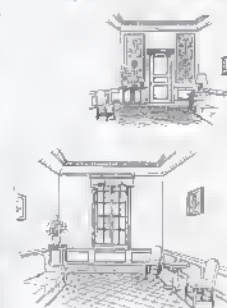
○教会表の墓地



ミラの墓

特別に教会の墓地のいちばん奥で、海がいちばんよく見える場所に、作られた。

○礼拝堂



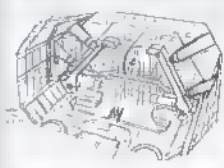
○控え室

○全景

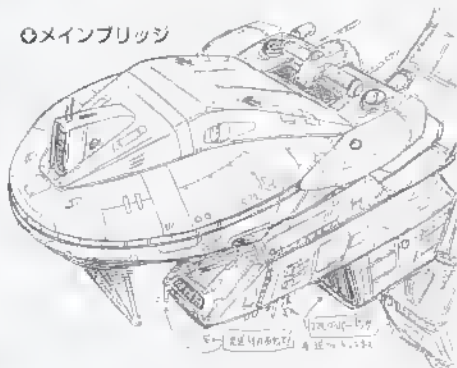


ネオオクスー 旧格納庫

5年前の擬態獣との戦いでパイロットを失ったネオオクスーは回収・修理された。そしてダンナーベース移転に伴って、旧格納庫内に永久封印されていた。



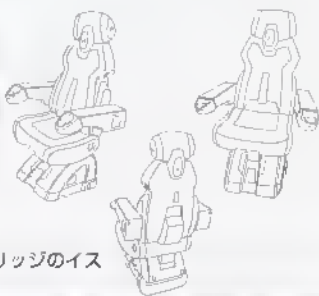
○メインブリッジ



コスモベース

ロウ・ルー隊長が指揮する。世界の擬態獣を監視。しかし、擬態獣18号によって破壊された。

○ブリッジのイス

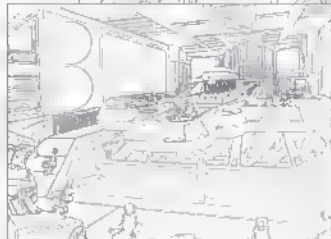
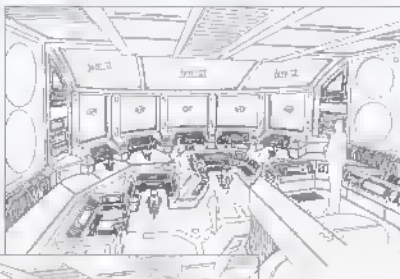
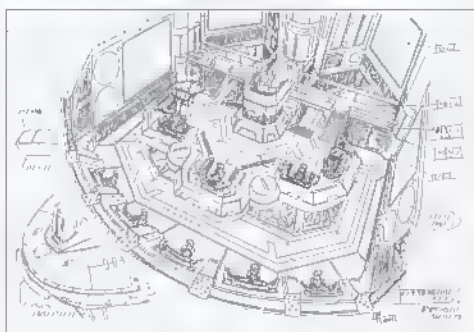
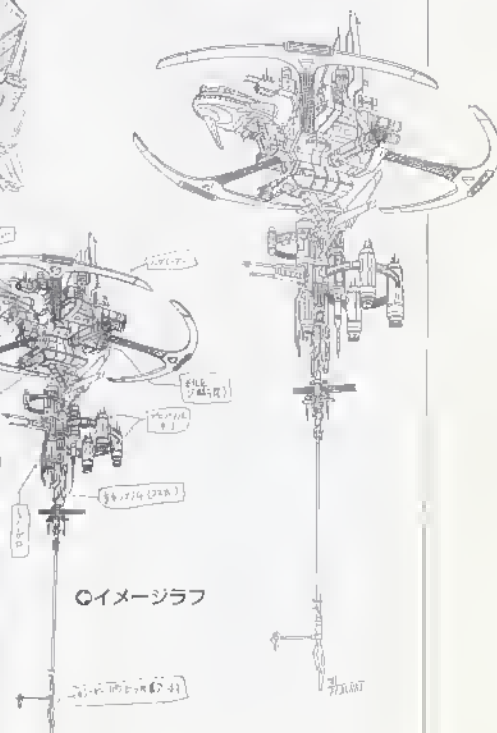


コスモシャトル

コスモベースと地球の間を結ぶ宇宙船。5話では、ルウの叔父ハルが機長だった。その際、コスモベースの交代要員を運んできたが、擬態獣18号によって乗員ごと機体が破壊されてしまった。



○イメージラフ



司令室

地球上あらゆる地域の擬態獣情報を収集。すべてのベースとの直接回線によって、迅速に対処できるようになっている。ルウは、上段の、向かって左側のオペレーターシートに座っていた。

DISCOGRAPHY

本編DVDはもちろん、プロトタイプDVDや、CD、小説、コミックほか、関連商品を一気に紹介！（なお、商品は2004年3月15日現在までのラインナップになります。）

DVD

全6巻発売／ジャケットイラスト●まさひろ山根・木村貴宏描き下ろし
発売●IMAGICAエンタテインメント 販売●タキコーポレーション
レンタルビデオ：発売●IMAGICAエンタテインメント
販売●クロックワークス



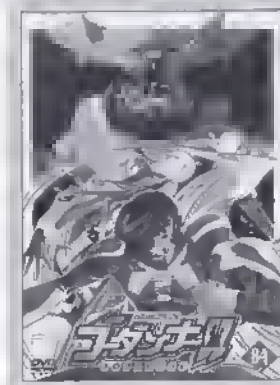
01 発売中
¥5,800（税別）



02 発売中
初回限定版 ¥7,000（税別）
通常版 ¥5,800（税別）



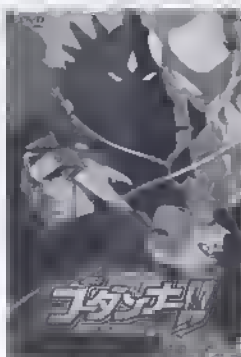
03 発売中
¥5,800（税別）



04 発売中
¥5,800（税別）

05
4月23日発売
¥5,800（税別）

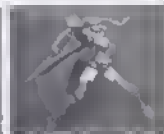
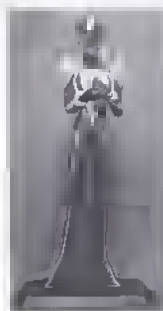
06
5月21日発売
¥6,800（税別）



プロトタイプ
¥2,800（税別）

カプセルトイ

発売中／¥200（税込）
発売元●バンダイ
原型製作●CM'sコーポレーション



完全変形モデル

完全変形ゴーダンナーTDM
制作●スタジオハーファイ
2004年夏発売予定

CD



主題歌シングル

発売中／¥1,260（税込）

発売●コロムビアミュージック
エンタテインメント



オリジナルサウンドトラック

発売中／¥2,940（税込）

発売●コロムビアミュージック
エンタテインメント

発売中



第1巻 発売中
¥2,800（税別）



第2巻 発売中
¥2,800（税別）

月刊コミック

電撃大王

（毎月21日発売）にて連載中

作画●せたのりやす／メディアワークス発行



COMIC

NOVEL

MF文庫Jより第1巻発売中（全4巻発売予定）
著●宇本京平
イラスト●木村貴宏 & まさひろ山根／メディアファクトリー



PS2版ゲーム

6月発売予定
販売元●バンダイ



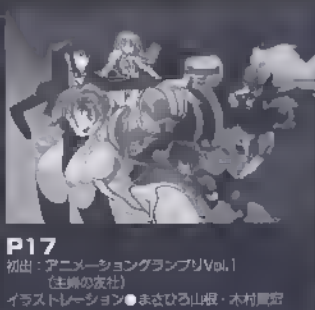
P02
初出：電撃アニメガVol.7
（発行メディアワークス）
イラストレーション●木村貴宏



P03
初出：電撃アニメガVol.8
（発行メディアワークス）
イラストレーション●金子ひさく
背景●スタジオチャーリー
仕上げ●Studio ab



P03
初出：ドラマCD第2巻『嵐を呼ぶGカップ』
（フロンティアワークス）
イラストレーション●木村貴宏



P17
初出：アニメーショングランプリVol.1
（主婦の友社）
イラストレーション●まさひろ山根・木村貴宏



P17
初出：メガミマガジン2003年10月号
（学習研究社）
イラストレーション●木村貴宏

掲載イラスト 初出一覧

各話スタッフリスト

話数	サブタイトル	脚本	絵コンテ	演出	キャラクター作監	メカ作監	美術監督
1	戦場のウェディングベル	長岡康史 玉井☆豪	長岡康史	長岡康史	木村貴宏	まさひろ山根	前田実
2	炎のバージンロード	長岡康史 玉井☆豪	長岡康史	西村大樹	大貫健一	宇佐美皓一	前田実
3	バトルロイヤル・ハネムーン	川崎ヒロユキ	谷口悟朗	泉明宏	永田正美	西井正典	前田実
4	静流、再び	川崎ヒロユキ	久城りおん	久城りおん	金子ひらく	寺田嘉一郎	前田実
5	空から来た少女	長岡康史 玉井☆豪	森本正木	山内東生雄 川島宏	木村貴宏	田村勝之	前田実
6	夢の終わり	川崎ヒロユキ	後藤圭二	三宅雄一郎	森前和也		前田実
7	追憶二死ス	川崎ヒロユキ	高岡淳一	古川順康	大貫健一	まさひろ山根	前田実
8	華麗なる撃墜王	川崎ヒロユキ	森本正木	加藤顕	工藤征輝	森田岳士 西山忍	前田実
9	流されてサバイバル	川崎ヒロユキ	ワタナベシンイチ	満洲康人	中井準	永田正美	前田実
10	ルウ出撃	川崎ヒロユキ	大畑晃一	元永慶太郎	木村貴宏	西井正典	前田実
11	汚れなき旅立ち	川崎ヒロユキ	山中崇治	三宅雄一郎	渡辺純子	西山忍 森田岳史	前田実
12	去り逝く者たち	川崎ヒロユキ	玉川達文	古川順康	高岡淳一 (Aパート) 大貫健一 (Bパート)	西井正典	前田実
13	ラスト・ファーストキス	川崎ヒロユキ	平野俊貴	久城りおん	木村貴宏	まさひろ山根	前田実



P64

初出：ドラマCD第1巻
『スパ・リゾート・ホリディ』
（フロンティアワークス）
イラストレーション●木村貴宏



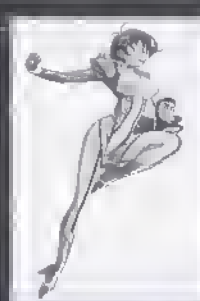
P65

MF文庫J
『新撰合体ゴータンナーII』 第1巻
（メディアファクトリー）
イラストレーション●木村貴宏



P65

初出：メガミマガジン
2003年12月号
（学研研究社）
イラストレーション●ことぶきつがひ



P66

初出：月刊コミック電撃大王
2003年12月号
（発行メディアワークス）
イラストレーション●木村貴宏



カバー折り返し

遠征戦隊海空まっしライスト（IMAGICAエンタテインメント）
イラストレーション●木村貴宏

掲載イラスト
初出一覧

STAFF

監督 長岡康史
シリーズ構成 川崎ヒロユキ
キャラクターデザイン 木村貴宏
メカニックキャプテン まさひろ山根
サブメカニックデザイン ことぶきつかさ
擬態獣デザイン 反田誠二・秋 恭摩
デザインワークス 森木靖泰・赤樹竜磨・村田護郎
美術監督 前田実
色彩設計 鈴城るみ子
3Dディレクター 渡辺哲也
撮影監督 中島秀剛
編集 櫻井崇
サブチーフアニメーター 高岡淳一・西井正典
助監督 川島宏
音響監督 明田川 仁
音楽 渡辺宙明
アニメーション制作 OLM・AIC
オープニング・テーマ「神魂合体ゴダンナー!!」
作詞：桑原永江
作曲・編曲：渡辺宙明
歌：串田アキラ
エンディング・テーマ『慥療の棺〈ザンゴウノヒツギ〉』
作詞：桑原永江
作曲・編曲：渡辺宙明
歌：堀江美都子&水木一郎
製作 Project GODANNAR

CAST

猿渡ゴオ	近藤孝行
猿渡杏奈	中原麻衣
藤村静流	かかずゆみ
ルウ・ルー	清水香里
猿渡 忍	皆川純子
ミラ・アッカーマン	久川 綾
葵霧子	本田貴子
影丸	山口太郎
笹喜小波	渡辺明乃
桃園桃子	能登麻美子
芝草	堀川 仁
林	加藤奈々絵
森本	川田紳司
杉山	小野大輔
柳沢	藤田圭宣
終冬子	細川聖可
林	加藤奈々絵
さくら	南里侑香
光司鉄也	檜山修之
ナイト・ヴァレンタイン	緑川 光
エリス・ヴァレンタイン	田村ゆかり
シャドウ	甲斐田裕子
ルナ	川上とも子
モウカク	小杉十郎太
シュクユウ	山崎和佳奈
エカテリーナ	山田美穂
ククラチョフ	川田紳司
マックス	石川英郎
剣	大川 透
ロウ・ルー	小谷津央典
神父	石丸博也
池山田	大水忠相
清水	小野大輔
堀井	桐井大介



P33
宣伝用イラスト
イラストレーション●まさひろ山根
木村貴宏



P33
MF文庫J
『神魂合体ゴダンナーII』 巻1巻
[メディアファクトリー]
イラストレーション●まさひろ山根



P48
宣伝用イラスト
イラストレーション●木村貴宏



P49
初出：メガミマガジン
2004年1月号
イラストレーション●木村貴宏
仕上げ●原田亜貴子



P64
初出：電撃アニマガVol.8
『発行メディアワークス』
イラストレーション●木村貴宏
色彩設定●伊藤麻実
仕上げ●日比宮幸子



Dセレクション
神魂合体ゴダンナー!!
公式ガイドブック

2004年4月20日 初版発行

編集…………… 電撃アニメガ編集部

監修協力…………… AiC/A.S.T.A.

Project GODANNAR

(MAGICAエンタテインメント

タキコーポレーション

クロックワークス

NTTデータコンテンツプランニング

日商岩井

OLM

デザイン…………… YUMEX

構成・執筆…………… 斎藤義久

発行者…………… 佐藤辰男

発行所…………… 株式会社メディアワークス

〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8

TEL 03-5281-5217 (編集部)

発売元…………… 株式会社角川書店

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3

TEL 03-3238-8605 (営業部)

印刷・製本…………… 大日本印刷株式会社

©2003 Project GODANNAR

Printed in Japan

ISBN 4-8402-2664-4 C0076

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

〔凡〕本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転写（コピー）、
 複写（転写）を禁じます。本誌から複写を希望される場合は、日本
 複写権センター（TEL03-3401-2382）までご連絡ください。
 ※本書の内容に関する電話での問い合わせは一切受付けておりま
 せん。ご了承ください。

表1イラスト

イラストレーション●まさひろ山根

表4・ピンナップイラスト

イラストレーション●木村真宏